

取扱説明書

NTTFAX

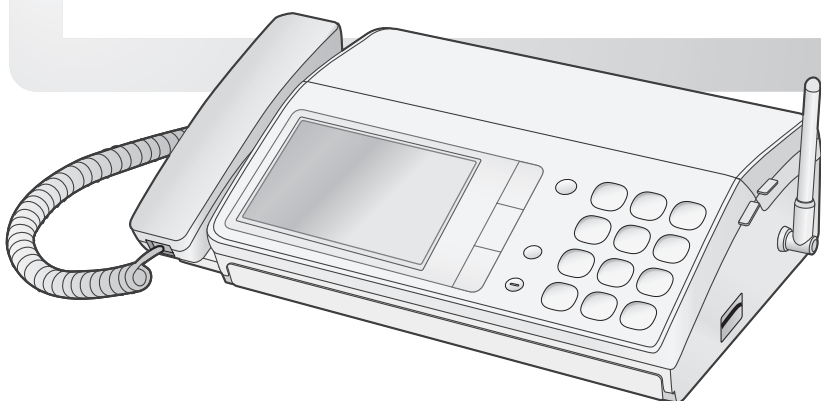
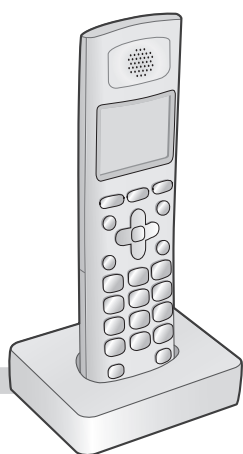
P-268SDw/P-268SD

NTT東日本エリア

北海道、東北、関東、甲信越地区

NTT西日本エリア

東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区



このたびは、NTTFAX P-268SDw/P-268SDをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください」(※ 2～11ページ)を必ずお読みください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

ND ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

こまったときは

本商品が正しく動かないなど
お困りのときは、

166～193ページをご覧ください。

「NTTFAX P-268SDw/P-268SD」
技術基準適合認定品



もくじ

ご使用前の
前に

電話・
電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・
ディスプレイ

こまったときは

ご参考に
さくいん

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷した場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本商品は、お買い求め時には、国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 当社の電話交換局から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 電話網と本商品の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、接続される通信機器によっては電話網の仕様と完全に一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品に保存されている内容は、本商品の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申しつけください。

⚠ 危険

- 充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中や水の中に投入したり、加熱しない
 - ・ 直接はんだ付けしない
 - ・ 赤（プラス）と黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない
 - ・ 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない
 - ・ 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグ、電話用コンセントに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラプラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。
- 万一、内部に水やペットの尿などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- インクリボンの交換や原稿づまり、お手入れなどで、操作パネルを開けたときに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。異物を落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、取り除いてご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。

警告

- 本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグ、電話用コンセントに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源プラグ、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- AC100V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。
- 電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

警告

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器は、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグ、電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグ、電話機コードが電源コンセント、電話用コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

警告

- 本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグおよび電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。
 - ・ 親機と子機間、子機と別の子機間は約3 m以上離してご使用ください。
 - ・ 同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
 - ・ 隣接する電話回線2本以上に、それぞれコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを1セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。
- 親機の背面部と側面部には通風孔がありますので、必ず壁から10cm以上離してください。通風孔をふさぐと親機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

警告

- 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用をしないでください。
- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペットやソファなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。
- 子機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電池パックを外すか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。
- 子機をねじったり、重いものをのせたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・けが・やけどの原因となることがあります。
- 電池パックは定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電池パックの破損による漏液の原因となることがあります。定期交換については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 点検・清掃(お手入れ)は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて(記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから)始めてください。また、水滴がついたときは、乾いた布でふき取ってください。感電・やけどの原因となることがあります。
- 歩行中に子機を絶対に操作しない(見ない)でください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。
- 電子レンジに入れたり、電磁調理器などに置いたりしないでください。発熱・発煙・火災・破裂の原因になることがあります。

注意

お使いになる前に 設置環境

- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- キャスター付きなどの台に設置されるときは、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 親機のまわりには物を置かないでください。原稿づまりや記録紙づまりの原因となることがあります。
- 本商品の底面部にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。

お使いのとき

- 長期不在時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、子機の電池パックも取り出してください。
- インクフィルムの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に手を引っかけたり、開閉部で手をはさむなど、けがの原因となることがあります。ご注意ください。
- 記録紙をセットするときや紙づまりの処理をするときは、紙の端で手を切ったりしないようにご注意ください。
- 紙づまりの処理などで本商品内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が本商品内部に触れないようにしてください。やけど・感電の原因となることがあります。
- 給紙ローラや記録紙ローラのお手入れには、中性洗剤を使用しないでください。ローラ類を傷める原因となることがあります。

注意

お使いのとき

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
- 小さなお子様が原稿挿入口や記録紙排出口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 小さなお子様で電池パックの交換を行わないようご注意ください。
- 年に一度くらいは内部の清掃を当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災や事故の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 表示部（画面）へ物を落としたり、強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので押さないでください。破損・けがの原因となることがあります。
- 本商品の温度の高い部分に長時間触れないようご注意ください。低温やけどの原因となることがあります。

充電器の取り扱いについて

- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

SDカードの取り扱いについて

- SDカードは乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

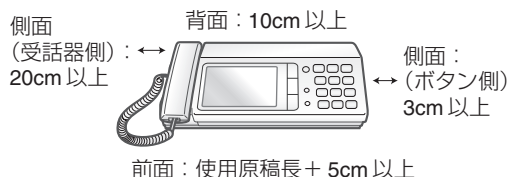
STOP お願い

置き場所について

- 温度が急激に変化する場所、冷え切った部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となることがあります。
- 高温、多湿、低温の場所には置かないでください。いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 5 ～ 35℃ 湿度 45 ～ 85%
・ 温度が 35℃ のときは湿度 70% 以下、湿度が 85% のときは温度 30℃ 以下でご使用ください。
- 金属製家具などの近くは避けてください。
・ 電波が飛びにくくなります。
- 以下のようなところには置かないでください。
・ クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接当たる場所
・ ほこりや振動が多い場所
・ 換気の悪い場所
・ 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- トラックや車、オートバイ、電車が近くを通ったとき、雑音が入ったりする場合があります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。
・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・ 放送局や無線局などが近く雑音が大きいつきは、親機の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎる場合は子機が使用できないことがあります。

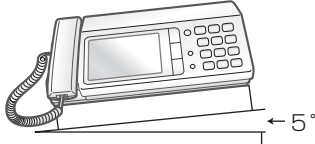
STOP お願い

- 本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本商品の影響によると思われる場合は、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・ 本商品をテレビなどから遠ざける。
・ 本商品またはテレビなどの向きを変える。
- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
・ 親機と子機間の内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。
- 本商品を 2 セット以上お使いになるときは、お互いの距離をとって設置してください。電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。アンテナの状態が悪いと、電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。
・ 接続などの準備のあと、親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。
・ 子機では、操作をする前に、電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、お話しは、なるべく電波の強い場所で行ってください。
- 本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



STOP お願い

- 本商品は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

取り扱いについて

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラプラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 落したり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品の上に重い物をのせたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- コネクタに異物を差し込んだり、端子面を触らないでください。故障の原因となることがあります。
- 通信やコピーなどの動作中に、電源プラグを抜いたり、本商品の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 親機および充電器の電源プラグを抜いたままにしないでください。

親機

- ・ 電話をかけたり受けたりすることも、ファクスを送受信することもできません。
- ・ 留守番機能や子機、ドアホンが使えません。
- ・ ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイを利用した機能が使えません。

充電器

- ・ 子機が充電できません。
- ・ 子機のクイック通話が設定されている場合は、充電中に充電器の電源プラグが外れると子機はお話中の状態となります。
- 子機を汚れやすいところに置かないでください。

STOP お願い

記録紙について

- 記録紙およびインクフィルムは当社指定品をご使用ください。指定品以外の記録紙やインクフィルムをお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- 直射日光に当てない、また、窓際に置かないようにしてください。変色の原因となることがあります。
- 高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となることがあります。
- 薬品・油などを付けしないでください。変色、印字消えの原因となることがあります。
- 粘着テープ、のり、接着剤などを付けしないでください。変色の原因となることがあります。
- 青焼紙と重ねて保管しないでください。変色の原因となることがあります。

その他

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 法律によりコピーが禁止されているものもあります。コピーの禁止についてをよくお読みの上、ご使用ください（P.115 ページ）。
- 本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使つての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話の際には、親機のご利用をおすすめします。
- 本商品は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
 - ・ 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
 - ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
 - ・ 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - ・ 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
 - ・ ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。

STOP お願い

- キャッチホンをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
 - ・ ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
 - ・ また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんのでご了承ください。
 - ・ キャッチホンⅡをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと、通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
 - ・ 通話中にキャッチホンが入ってきたときは、必ずキャッチボタンを押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。
- しわ、折れ、破れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- 残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。
- 紙づまりのとき、記録紙は破れないように慎重に取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本商品の中に残さずすべて取り除いてください。

廃棄（または譲渡、返却）されるときは

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を、下記の操作で消去または変更願います。

操作等	参照ページ
子機の登録内容を初期化する	195
親機の登録内容を初期化する	195
インクリボンの廃棄	38

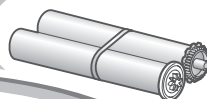
知りたいこともくじ

よくお使いになる機能やお問い合わせの多い内容をまとめました。
通常のもくじは13～14ページをご覧ください。

別売品一覧

⇒ 194ページ

使えるインクリボンの品番は？



ファクシミリ用P型
A4 インクリボン (12)

使える子機の電池パックの品番は？



電池パック-107

ナンバー・ディスプレイを使って

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を本商品のディスプレイに表示させるサービスです。

ナンバー・ディスプレイサービス（有料）を契約したいときは

局番なしの116番 へお問い合わせください

ナンバー・ディスプレイでできること ⇒ 152ページ

迷惑電話がかかってきたら

○かかってきた迷惑電話を切るために…

かかってきた **迷惑電話をお断り**
⇒ 55～56ページ



この電話は、お受けすることはできません…

○迷惑電話を受けないようにするために…

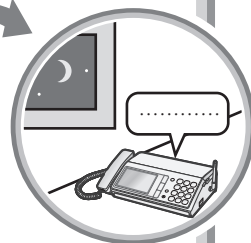
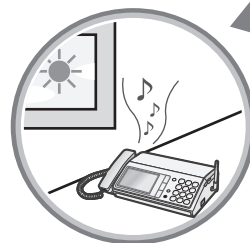
特定の番号からの電話を受けないようにしたい！（特定番号お断り）
⇒ 164ページ

非通知の相手や公衆電話からの電話を受けないようにしたい！
⇒ 163ページ

おやすみ時間など、特定の時間だけ
着信音や動作音を鳴らさないようにしたい！（おやすみモード）
⇒ 133ページ



相手側



安全に正しくお使いいただくために
必ずお読みください…………… 2

知りたいこと もくじ ……………	12
もくじ ……………	13

ご使用の前に

特長 ……………	15
付属品の確認 ……………	16
ご使用の前に知っていただきたいこと ……………	17
取扱説明書の見かた ……………	20
親機各部のなまえ ……………	21
子機各部のなまえ ……………	23
液晶ディスプレイ ……………	24
基本的な操作のしかた ……………	26
親機の準備 ……………	28
電話回線（ダイヤル／プッシュ） の種別を手動で設定するときは ……………	34
インクリボンを確認する／交換する ……………	35
操作ガイドを使う ……………	39
子機の準備 ……………	40
日付と時刻を設定する ……………	44
自分の番号・名前を登録する ……………	45
音の設定を変える ……………	47

電話・電話帳

電話をかける・受ける・かけ直す ……………	50
迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）…	55
親機と子機、子機と子機の間でお話する （内線通話） ……………	57
電話をとりつぐ／3人で電話でお話する （3者通話） ……………	58
電話帳の登録／修正／消去 ……………	63
親機の電話帳を音声でお知らせする （おしゃべり電話帳） ……………	66
文字を入力する ……………	70
電話帳で電話をかける ……………	74
ワンタッチダイヤルを使う ……………	76
親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する…	78
電話の詳細メニューについて ……………	79

留守番電話

留守に設定する／解除する ……………	81
録音されている内容を再生／消去する ……………	84
応答メッセージを選ぶ ……………	87
外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）…	89
留守番電話の応答回数を変更する （留守時応答回数） ……………	91

ファクス

ファクスを送る ……………	92
ファクスの受けかたを選ぶ ……………	98
電話に出た後からファクスを受ける ……………	101
ファクス自動受信を設定する ……………	103
受信したファクスをディスプレイで見ると （見てからプリント） ……………	105
F ネット（ファクシミリ通信網サービス）を 利用する ……………	111

印刷・コピー

記録紙のセットのしかた ……………	112
メモリー受信したファクスを印刷する ……………	113
コピーする ……………	115
登録した内容を印刷する ……………	116

SD カード

SD カードを取り付ける／取り外す ……………	117
SD カードへ原稿を保存する（スキャン機能）…	120
SD カードにファクス／録音データを 保存する ……………	121
SD カードに電話帳のデータを保存する ……………	122
SD カードから携帯電話の電話帳を読み込む …	123

便利な機能

固定電話から携帯電話への通話サービスを 利用する ……………	124
携帯通話設定機能を利用する ……………	125
1つの電話回線で複数の番号を使う （モデムダイヤルインサービス） ……………	128
着信音や動作音を鳴らさないようにする （おやすみモード） ……………	133
子機を増設する ……………	136
不在時の着信をお知らせする ……………	137
電話番号のメモを取る（ダイヤルメモ） ……………	138
画面に手書きしてメモを取る（ちょっとメモ）…	140
伝言などを録音する（メモ録音） ……………	142
通話内容を録音する（今から録音） ……………	143
通話内容をさかのぼって録音する （戻って録音） ……………	144
親機をもっと便利に使う ……………	146
子機をもっと便利に使う ……………	147
ドアホンと話す（ドアホン通話） ……………	148

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	150
ネーム・ディスプレイを利用する	153
キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ	154
着信を音声でお知らせする（誰からコール／誰あてコール／どこからコール）	155
着信記録（着信履歴）を見る	159
着信記録（着信履歴）を使って電話をかける	161
着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）	162
非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を拒否する（着信お断り）	163
特定の番号からの着信を拒否する（特定番号お断り）	164
通話後に電話番号を登録する（着信らくらく番号登録）	165

こまったときは

電話がかけられない	166
ファクスを送れない	168
ファクスを受けられない／着信音が鳴らない	169
相手の声が聞こえにくい	170
コピーや印刷ができない	171
印刷した画像が汚い	172
子機が使えない	173
留守モードが正しく働かない	174
SD カードが使えない	175
ナンバー・ディスプレイが使えない	176
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	178
その他 こまったときは	179
タッチに正しく反応しないときは	181
記録紙に白や黒の線が入るときは	182
お手入れのしかた	184
原稿や記録紙がつまったときは	186
エラー表示／エラー音について	189
故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）	193

ご参考に

別売品／消耗品	194
登録や設定・電話帳の内容を初期化する	195
特別設定について	196
区点コード一覧表	199
仕様	201
登録／設定早見表	203
用語集	212
リモート操作手順カード	213
さくいん	215
保守サービスのご案内	219

お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん（215～218ページ）をご覧くださいになると見つかる場合があります

Datalight is a registered trademark of Datalight, Inc.
FlashFX™ is a trademark of Datalight, Inc.
Copyright 1993-2004 Datalight, Inc., All Rights Reserved
U.S. Patent Office 5,860,082/6,260,156

●お知らせ

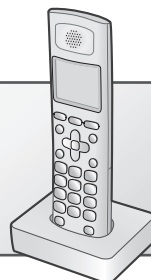
- 本商品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店までご連絡ください。
- お客様または第三者が本商品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合または本商品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記録内容が変化・消失する場合があります。

大画面でさらに使いやすく 4.9型※タッチパネル液晶

- 液晶画面上に表示される文字やボタンをタッチするだけで、かんたんに操作できます。
 - 受信したファクスを大きな4.9型の「くっきりホワイト液晶」で確認。必要なものだけ印刷（見てからプリント）できるので用紙代やインクリボン代を節約できます（※105～110ページ）。
 - 受信したファクスを、ディスプレイに表示した部分だけプリントします（見たままプリント）。小さな文字部分などを拡大して表示している場合は、プリントも拡大されて見やすくなります（※114ページ）。
- ※ビューエリアのサイズです。

漢字デカ文字液晶で使いやすい 新デザイン子機

- 暗いところでも操作しやすい、青く光るダイヤルライト付きです。
- 置くだけでちゃんと充電できる「すっきり充電」（無接点充電方式）を採用しています。



ファクスも留守録もたっぷり保存できる SD/SDHCメモリーカード対応

- SDHCメモリーカードを使えば、ファクスを最大1200件、通話録音や留守録などを最大1200件まで録音できます。
- 携帯電話の電話帳データをSDメモリーカード経由で親機に取り込むことができます。

※SD/SDHCメモリーカードは付属しておりません。お使いになるときは、別途お買い求めください（※117ページ）。

誰からコール機能 ※155～158ページ

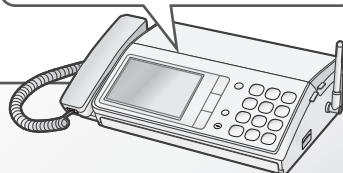
- 電話の近くにいないでも相手がわかる「誰からコール」。
- 電話をとった瞬間が省ける「誰あてコール」。
- 電話帳に登録していない相手からは「どこからコール」。

※ナンバー・ディスプレイの契約が必要です（※151ページ）。

迷惑電話をお断り、暮らしに便利な安心サポート セキュリティ機能

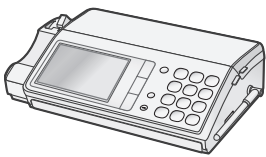
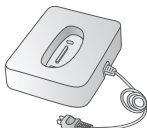
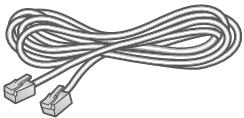
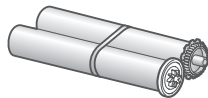
- 通話内容をのがさず録音「今から録音」「戻って録音」（※143～145ページ）。
- 受けてしまった迷惑電話に「迷惑電話お断り」（※55～56ページ）
 - ・チャイム音を流して電話を切るきっかけを作る「チャイムでお断り」
 - ・自動でお断りメッセージを流す「メッセージでお断り」
 - ・通話内容を15秒間自動的に録音して再生する「録音でお断り」

この電話は、お受けすることはできません…



付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合や違うものが入っているときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください。

親機 1台 	受話器 1個 受話器コード 1本 	子機 P-268SD : 1台 P-268SDw : 2台 	充電器 (子機用) P-268SD : 1個 P-268SDw : 2個 
電池カバー (子機用) P-268SD : 1個 P-268SDw : 2個 	電池パック (子機用) P-268SD : 1個 P-268SDw : 2個 	電話機コード (約2m) 1本 	インクリボン (33m) 1本 ●インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。 
●インクリボンは、必ず当社指定品をお使いください (☞ 194ページ)。 ■ファクシミリ用P型A4インクリボン (12) (33m×1本入り) ●SDメモリーカードは付属していませんので、ご使用になるときは別途お買い求めください (☞ 117ページ)。			
取扱説明書 (本書) ※ 1冊		保証書 1部	
NTT通信機器お取扱相談センタシール 1枚		記録紙 (A4普通紙) 10枚	

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

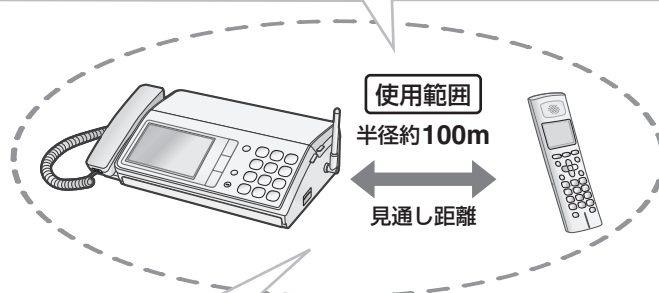
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

ご使用の前に知っていただきたいこと

本商品の取り扱いについて

■ 親機と子機の間には障害物のある場所で使わない

親機と子機の間には障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラス、断熱材など）があると、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離が短くなることがあります。



■ 子機の使用範囲を確かめる

電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。内線通話（☎57ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。親機と子機を別の階や別棟に設置したときは、子機の電話につながりにくくなったり、通話中の雑音や途切れの原因になることがあります。

■ 親機のアンテナは、立ててお使いください

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立てて、お使いください。



■ アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

■ 本商品を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。

- 電子レンジ ●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
- ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局 ●工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム ●マイクロ波治療器
- 2.4GHzコードレス電話機

その他、BluetoothTM対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

また、同じ室内に複数台の2.4GHzコードレス電話機を設置しないでください。電波干渉によって、子機の通話に雑音が入ったり、通話中に音声途切れたりすることがあります。

ご使用の前に知っていただきたいこと

■子機の電波について

子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避できません。

変調方式：FH-SS方式 与干渉距離：80m

本商品には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

■本商品の使用周波数に関わるご注意

本商品の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- 電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- アマチュア無線局（免許を要する無線局）
 - ・本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・万一、本商品から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

■子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

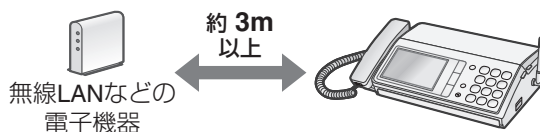
■“傍受”にご注意ください

本商品は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

■電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本商品を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに本商品を設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の着信音が鳴らないことがあります。これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。

使用範囲



■子機に雑音が入ることがあります

- 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声が途切れたり、通話できなくなることがあります。
- アンテナの近くに、ACアダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声が途切れたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- 本商品の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声が途切れたり着信音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- 親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の音が途切れることが多くなります。
- 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声が途切れたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ 子機の取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありますが、故障ではありません。

■ タッチパネルの取り扱いについて

親機の液晶ディスプレイはタッチパネルになっています。以下の内容を守ってお使いください。

- 先端のとがったものや硬いもの、爪で操作しないでください。傷が付くことがあります。操作するときは、指で触れてください。
- 強く押さえないでください。破損することがあります。
- 指紋などが付いたときは、眼鏡ふきなどの乾いた柔らかい布で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

本商品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

商標について

- 本商品にはシャープ株式会社が液晶画面で読みやすくなるように設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。



取扱説明書の見かた

タイトル

項目のおおまかな内容を表しています。

機能説明

機能の内容を説明しています。

中見出し

説明している操作などの具体的な内容を表しています。

操作手順

基本的な操作を説明しています。
特に指定がない場合、待受画面（何も操作をしていない状態の画面）から説明のとおり最初から順番に操作してください。イラストは、操作をしているときに表示されるディスプレイの画面例を表しています。

項目の最後に「次ページへ」と書かれているときは、操作手順は次のページへ続いています。続けて次ページをご覧ください。

補足説明

操作に関する補足事項を説明しています。

 お知らせ

制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

不在時の着信をお知らせする

留守中などにかかってきた電話※1やドアホン着信※2をかたんに確認することができます。

※1：ナンバー・ディスプレイをご契約のときは、相手の方の名前や電話番号が表示されます（着信記録：159～160ページ）。

※2：本商品をドアホンに接続しているときのみ、表示されます（148～149ページ）。

親機で不在時の着信を確認する

1 不在着信があると、ディスプレイに「着信がありました」と表示される（着信通知）



2  着信記録 をタッチする

3 着信記録を確認する



4 確認が終わったら を押す

●着信記録を確認すると、[着信がありました]の表示が消えます。

■ 着信通知を表示させないようにするには

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [着信通知] →
[使用しない]の順に選び、 をタッチする
- ③  を押す

■子機の不在着信について

子機では着信があったことをディスプレイに表示しませんが、着信記録（※160ページ）は記録されます。

なお、子機ではドアホン着信の着信記録は残りません。また、不在、受信ファクスなど、着信の種類は記録されません。

■ 関連操作

- 着信記録を消す
親機: ☎ 159 ページ 子機: ☎ 160 ページ
- 着信記録を使って電話をかける (ナンバー・ディスプレイの契約が必要)
親機: ☎ 161 ページ 子機: ☎ 161 ページ
- 親機の着信記録を電話帳に登録する (ナンバー・ディスプレイの契約が必要)
親機: ☎ 65 ページ 子機: ☎ 69 ページ
- 親機の着信記録のリストを印刷する (☎ 116 ページ)

●着信記録は、親機

- 着信記録は、親機と子機で別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機で「[お断り]お断り」[公衆電話お断り] [表示画面外お断り] (この3つの音) を設定しているお断り、着信記録が表示されません。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のお断り(日・時刻)を表示します。
- デイタイムサービスで子機専用の番号を表示した場合、着信音や着信の着信音のみですが、着信記録は親機にも残ります。そのため、子機で電話に出られなかったときも、親機のディスプレイに「着信があります」としてと表示されます。

インデックス

操作したい項目をかんたんに検索できます。

 お知らせ

- 表記されている画面例は、実際のものとは多少異なる場合があります。
- 操作説明によっては、画面表示例が付いていないものがあります。

親機各部のなまえ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

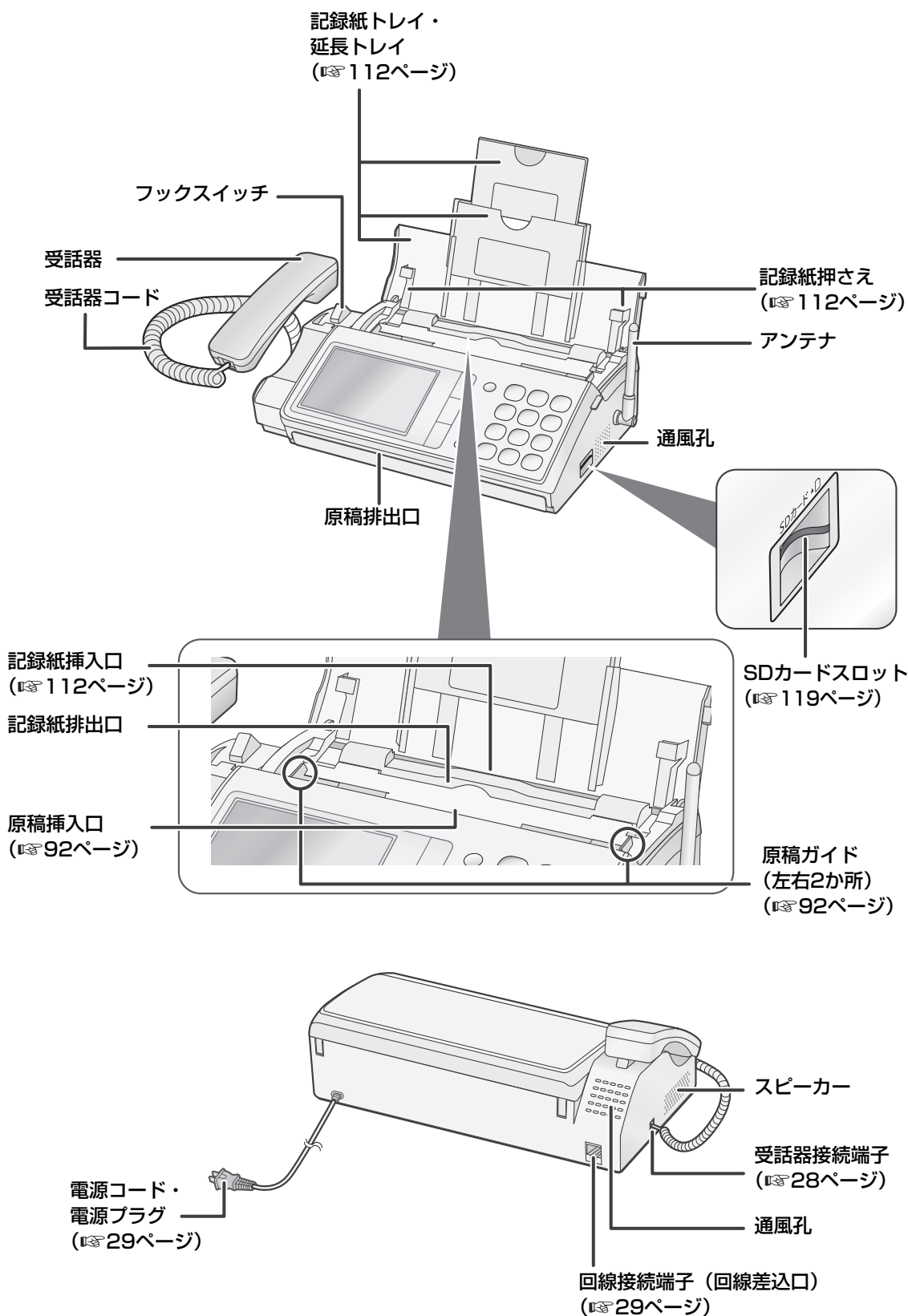
便利な機能

ナンバーディスプレイ

こま当たるときは

ご参考に

さくしん



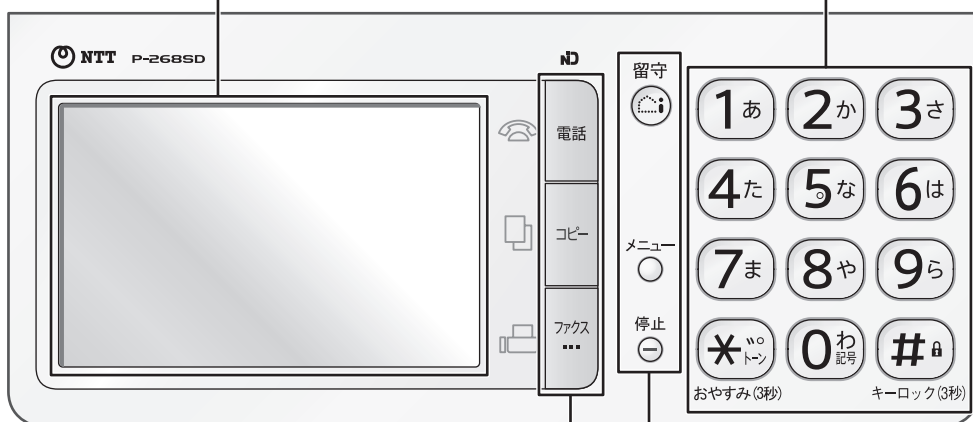
操作パネル

液晶ディスプレイ (P.24ページ)

ダイヤルボタン

- ・電話をかける
- ・文字入力
- ・登録操作

また、***** はプッシュホンの利用 (P.52ページ) やおやすみモード設定 (P.133～134ページ) に、**#** はキーロック (P.146ページ) の設定に使います。また、通常のダイヤル発信以外の新しいサービスにも使用します。ダイヤルボタンには、電話やドアホンを着信したとき、受話器を上げたときなどに点灯するダイヤルライトが付いています。



	電話ボタン ・電話をかける (P.51ページ) ・電話帳を使う (P.65～66ページ)
	コピーボタン ・メモリー受信したファクスを印刷 (P.113ページ) ・コピーする (P.115ページ)
	ファクスボタン ・ファクスを送る、受ける (P.93、101ページ) ・受信したファクスを見る (P.105ページ)

	留守ボタン ・留守設定、留守の解除 (P.81～82ページ)
	メニューボタン ・メニュー画面の表示
	停止ボタン ・操作の中止

子機各部のなまえ

 マルチファンクションキー／

 メニュー／決定ボタン

・項目の選択、決定など

	上を押す ・各種音量の変更 (P.49ページ)
	下を押す ・各種音量の変更 (P.49ページ)
	左を押す ・再ダイヤル (P.54ページ) ・待ち時間 (ポーズ) の入力 (P.68ページ)
	右を押す ・着信記録 (P.160～161ページ)
	メニュー／決定ボタン ・選択した項目の決定 ・機能メニューの呼び出し ・ファクスの送受信 (P.94、102ページ) ・通話中の録音再生 ・迷惑電話拒否機能 (P.56ページ)

マルチファンクションキーは、本書では上記のように略図で示しています。

上下いずれかを押すときは  、左右いずれかを押すときは  と示しています。

 (通話) ボタン

・電話をかける・受ける (P.50、53ページ)

ダイヤルボタン

・電話をかける ・文字入力

ダイヤルボタンには、電話やドアホンを着信したとき、充電器から取ったときなどに点灯するダイヤルライトが付いています。

電話帳ボタン

・電話帳を使う (P.74～75ページ)

ワンタッチダイヤルボタン

・ワンタッチダイヤルを使う (P.77ページ)

液晶ディスプレイ
(P.25ページ)

文字切替／キャッチボタン
・文字切替 (P.70、73ページ)
・キャッチホン (P.154ページ)

切ボタン
・通話の終了
・登録メニューの終了

保留／内線／消去ボタン
・保留 (P.52ページ)
・内線通話 (P.57ページ)
・文字消去 (P.73ページ)

マイク (送話口)

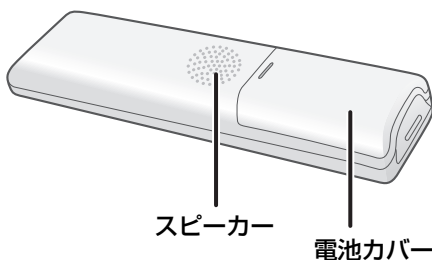
スピーカーホン／発信ボタン

・スピーカーホン通話 (P.52～53ページ)
・受話通話 (P.52ページ)

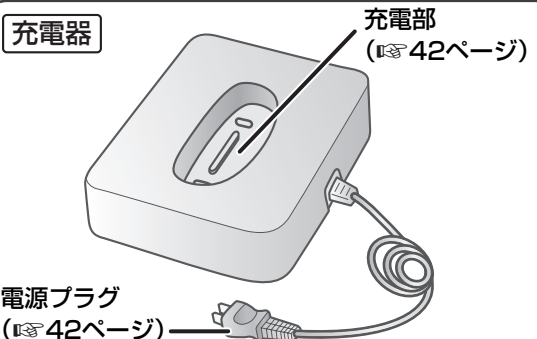
 プッシュホンを利用する (P.52ページ)

 キーロック (P.147ページ)

子機背面



充電器



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまだったときは

ご参考に

さくしん

液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

親機（タッチパネル兼用）

設定状態、日付と時刻、留守番電話や受信ファクスの件数などを表示します。暗いところでも見やすいバックライト付きです。

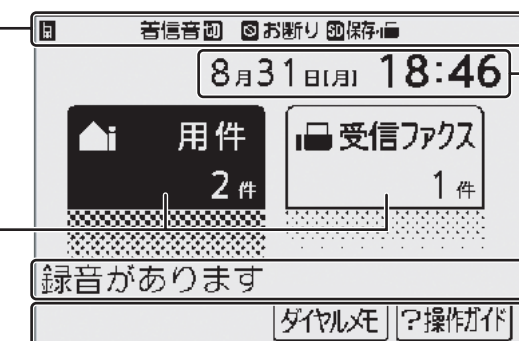
タッチパネルの使いかたは「親機タッチパネルの操作」（P.26ページ）をご覧ください。

【待受画面】

設定状態表示エリア（P.47下記）

表示されているアイコンをタッチすると各項目が設定できます。

左に留守録音などの録音件数、右に受信ファクスやスキャンした画像の件数を表示します。



日付・時刻を表示します。タッチすると日付・時刻が設定できます。

エラーメッセージなどを表示します（P.189～191ページ）。

タッチして操作できるソフトボタンを表示します。
表示するボタンは画面によって変わります。

設定状態表示エリアには、以下の機能の設定状態をアイコンで表示します。詳しくは各機能のページをご覧ください。

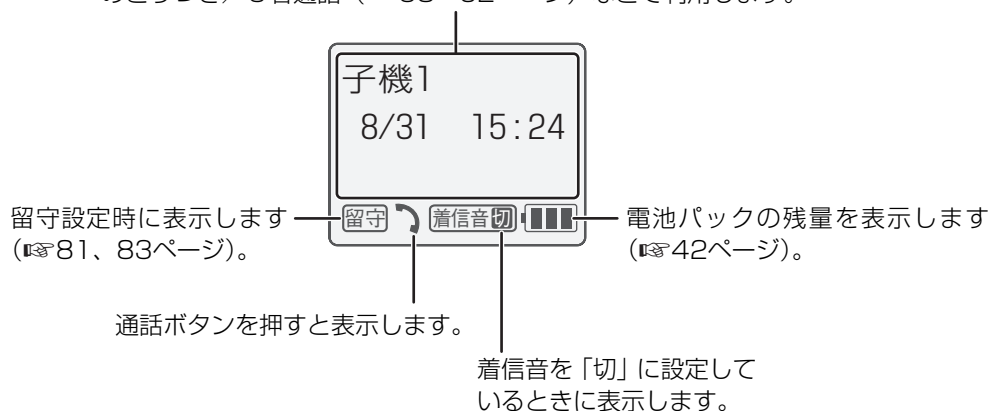
- 着信音切（P.47ページ）
- ファクスの受信方法（P.98ページ）
- SDカードの取り付け状態および受信ファクス／録音データの保存先（P.119ページ）
- 携帯通話設定機能（P.125ページ）
- キーロックの状態（P.146ページ）
- ファクス送信／コピー時の画質（P.96ページ）
- おやすみモード（P.133ページ）
- 各種お断り（P.163～164ページ）

子機

設定状態、日付と時刻などを表示します。暗いところでも見やすいバックライト付きです。

【待受画面】

子機番号または使用者表示（☎46ページ）で登録した名前を表示します。子機番号および名前は、内線通話（☎57ページ）や電話のとりつぎ／3者通話（☎58～62ページ）などで利用します。



※ 図は説明用です。すべての項目が一度に表示されることはありません。

基本的な操作のしかた

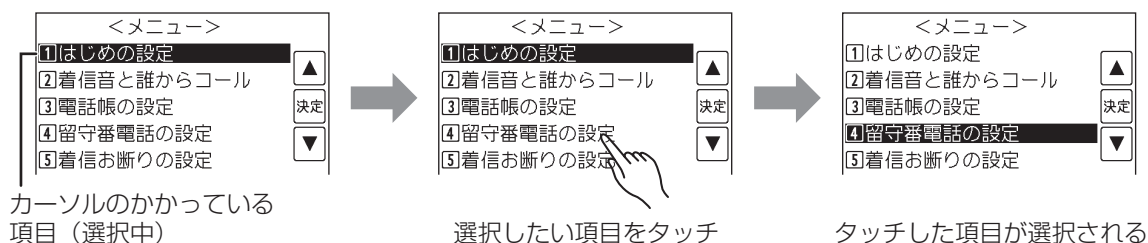
親機タッチパネルの操作

親機では、主に液晶ディスプレイの表示にタッチして（触れて）操作します。

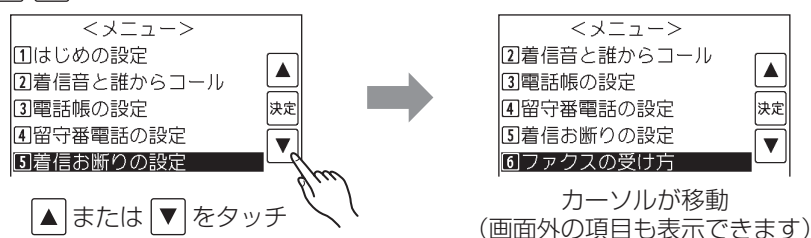
■項目を選択する

選択したい項目をタッチします。タッチすると項目にカーソルがかかり、選択された状態になります。

例：メニューを押したあと

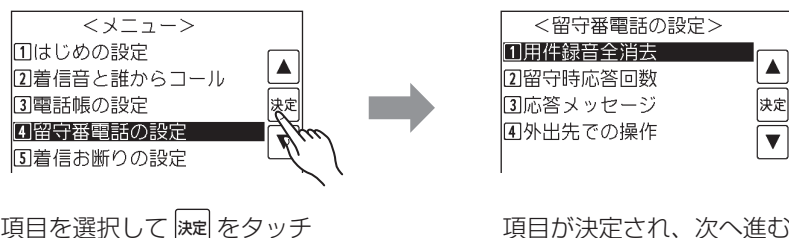


また、右側の▲▼をタッチすることでカーソルを移動することもできます。画面に表示されていない項目は、▲▼で表示します。



■項目を決定する

項目を選択して決定をタッチします。



また、選択した項目をもう一度タッチすることで決定することもできます。

■戻る・取り消す・中止する

- 1つ前の画面に戻るときは、ディスプレイ下部の戻るをタッチします。
- 設定などを中止して待受画面に戻るときは、操作パネル上の停止を押します。

●お知らせ●

- 先端のとがったものや硬いもの、爪でディスプレイを操作しないでください。傷が付くことがあります。
- ディスプレイを強く押さえないでください。破損することがあります。
- ディスプレイの複数箇所を同時にタッチしないでください。タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
- ディスプレイが正しく反応しなくなったときは、181ページをご覧ください。
- ディスプレイをタッチすると指紋などが付くことがあります。清掃のしかたは184ページをご覧ください。
- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルが正常に動作しない場合があります。

子機の操作

子機は、前面にある各ボタンとマルチファンクションキーを使って操作します（☎ 23ページ）。

マルチファンクションキーは  のマークで表しています。上下左右の部分を押して項目を選択し、中央のメニュー／決定ボタンで項目を決定します。



■ 戻る・取り消す・中止する

- 1つ前の画面に戻るときは、 を押します。
- 入力した文字を取り消す（訂正する）ときは、 を押します。
- 設定などを中止して待受画面に戻るときは、 を押します。

親機の準備

STEP1 親機を接続する

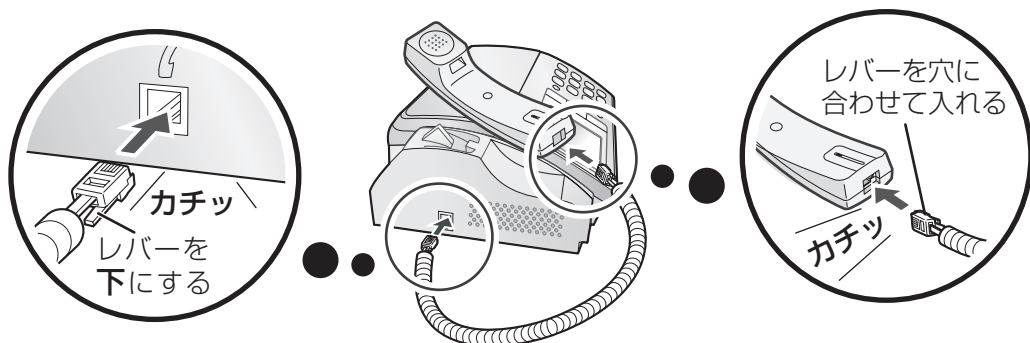
STEP2

■ 設置について

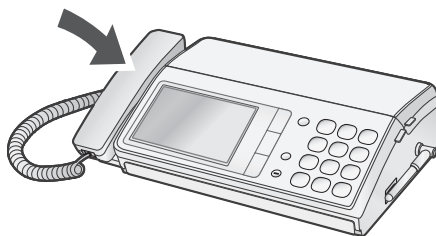
本商品の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



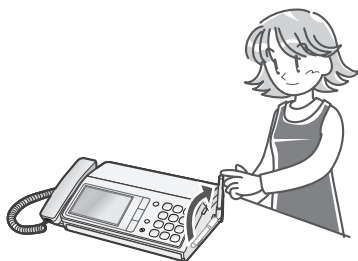
1 受話器コードの一方を受話器に、もう一方を親機に、カチッと音が鳴るまで差し込む



2 取り付け終わったら、受話器を置く

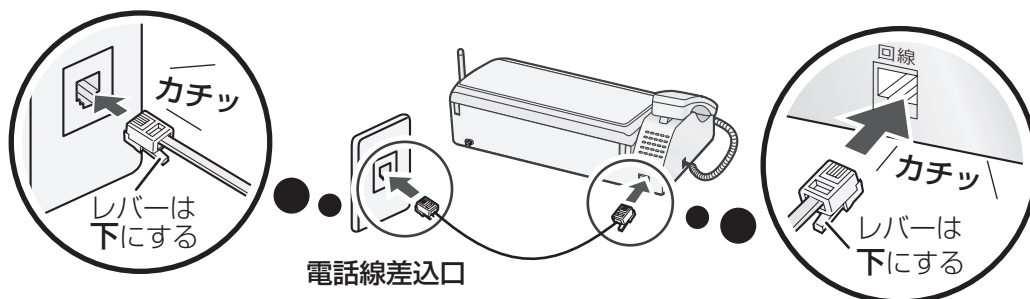


3 アンテナをまっすぐに立てる



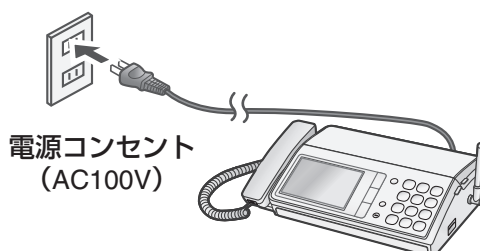
4 付属の電話機コードの一方を電話線差込口に、もう一方を親機に、力チツと音が鳴るまで差し込む

必ず電話機コードを電源プラグより先に接続してください。先に電源プラグを接続すると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。



- ホームテレホン、構内交換機(PBX)などでは工事が必要になります。詳しくは、「構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するときは」(P.37 下記)をご覧ください。
- 電話線コンセントのタイプが直接配線(ローゼット/プレート)の場合、資格者の工事が必要です。また、3ピンプラグ式コンセントの場合、詳しくは当社にご相談ください。
- ISDN回線に接続するときは、電話線差込口からの電話機コードを、回線接続端子に直接接続しないでください。

5 すべての準備が終わったら、電源プラグを差し込む



続いて、日付と時刻の設定をします。
30ページをご覧ください。

■ 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

ホームテレホンとは

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

ビジネスホンとは

電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

- 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、設定を[使用しない]にしてお使いください(☎ 151ページ)。
- 本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

●お知らせ

- 引っ越しをしたときや本商品を知人から譲られたときなど、最初に接続した電話回線と異なる回線を接続するときは、回線種別を手動で設定してください（P.34ページ）。
 - 無線LANなどをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から親機、子機とも約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本商品を設置するときは」（P.17ページ）をご覧ください。
 - 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
 - 1つの電話回線を他の電話機やファクシミリと並列に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
 - 電話機コードは、必ず付属のものをお使いください。
- A detailed illustration of a telephone cord connector, showing a grey plastic housing with a silver-colored metal pin protruding from the top. The pin is pointed and has a small circular base.
- 金属の付いた芯が



STEP1

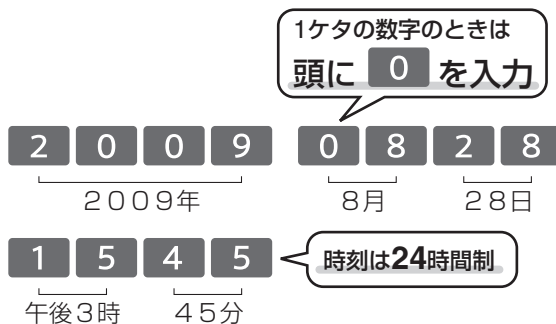
STEP2 日付・時刻を設定する

STEP3

親機の電源プラグを差し込むと、日付・時刻の設定画面になります。

1 [日付・時刻を設定しますか?] と表示されたら、[はい] をタッチする

2 数字ボタンをタッチして、日付と時刻を入力する



- **+** **-** をタッチすると、選択している項目が1ずつ増減します。次の項目に進むときは **決定** をタッチしてください。
- **◀** **▶** をタッチするとカーソルが移動し、入力する項目を変更できます。
- **取消** をタッチすると、1つ前の数字を訂正できます。

3 入力が終わったら、画面を確認して をタッチする

＜日付・時刻＞
8月28日(金) 15:45

携帯通話設定機能の設定画面になります (👉 32ページ)。設定を中止したときも同様です。

- 先に子機を充電している場合、親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が設定されます（時計バックアップ（[図 198](#)ページ）が「使用する」に設定されているときのみ）。

■ 日付・時刻を設定し直すときは

設定を中止したときや、設定した日付・時刻を修正したいときは、44ページをご覧ください。再設定してください。

続いて、「携帯通話設定機能」の設定をします（この機能を使わないときも設定が必要です）。

32ページをご覧ください。

●お知らせ●

- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
●日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスに印刷されます。

STEP2

STEP3 携帯通話設定機能を設定する

日付・時刻の設定をすると、「携帯通話設定機能」の設定画面になります。

- 携帯電話へ電話をかけるときに、通話料がおトクになるサービスです。
- 番号の前に「事業者識別番号」(例：0036=NTT東日本／0039=NTT西日本など) を付けてダイヤルすることにより、各電話会社(通信事業者)が設定した通話料を選ぶことができます。

本機能についての詳しい説明は、124～127ページをご覧ください。

なお、光回線をご利用のときは、携帯通話設定機能をご利用になれないことがあります。以下の内容をお確かめください。

● ひかり電話※をご利用のとき

※当社の光回線を利用した電話

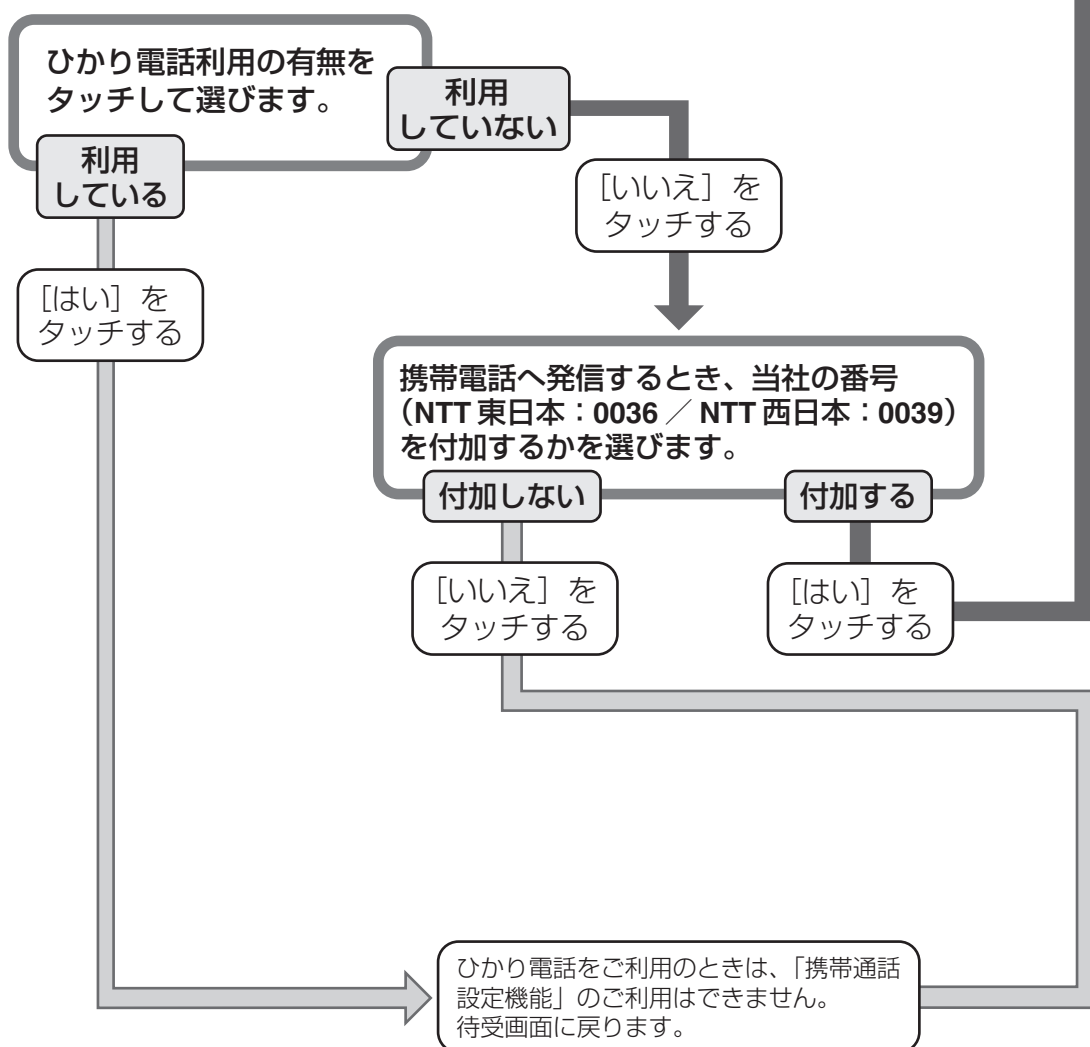
● その他の電話会社の光回線を利用した電話をご利用のとき

携帯通話設定機能はご利用になれません。

手順1で「はい」をタッチしてください。

ご利用の各電話会社（通信事業者）にお問い合わせください。

1



2

IP電話利用の有無をタッチして選びます。

IP電話（ひかり電話などを除く）を利用している

[[はい]] を
タッチする

「加入電話選択番号」※
を入力して **決定** をタッチ
する

IP電話（ひかり電話などを除く）を利用していない

[[いいえ]] を
タッチする

※加入電話選択番号とは、
IP電話機能を解除して、
一般電話回線を選択する
ために必要な番号です。

ここまでの設定が終わったら

待受画面に戻り、親機が自動的に電話回線の種類を確認します。しばらくお待ちください。

ピーと鳴ったら設定完了です。
これで親機の準備は終了です。

項目の選択を間違えたときは

戻る をタッチすると、1つ前の項目に戻ります。あらためて正しい項目を選択してください。

天気予報（177）に電話がかかることを確認します。

- 通話料金がかかります。
- 電話がかからないときは、「電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定するときは」(P.34ページ)をご覧ください。

インクリボンを確認する／交換する

ファクスやコピーの印刷に必要なインクリボンを確認／交換できます。

インクリボン（ギヤ付きタイプ）は、必ず当社指定品をお使いください（☎ 194 ページ）。

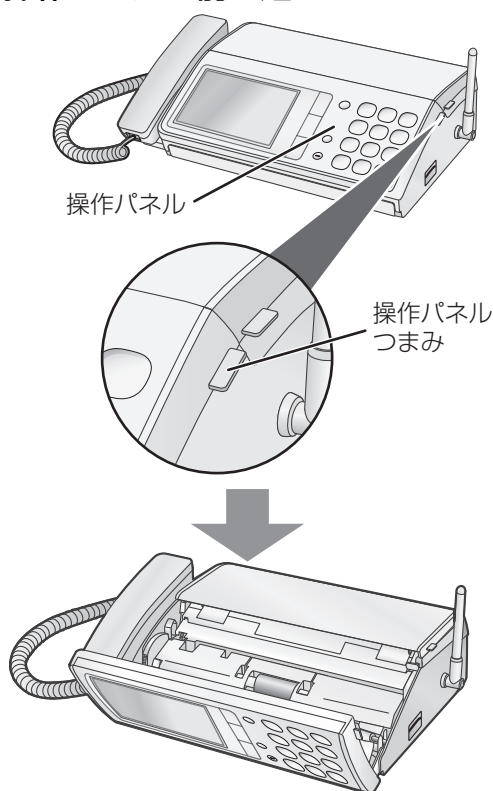
33mでA4原稿を最大で約105枚（※）印刷することができます。

※ 1件5枚の受信ファクスデータをくり返し印刷した場合

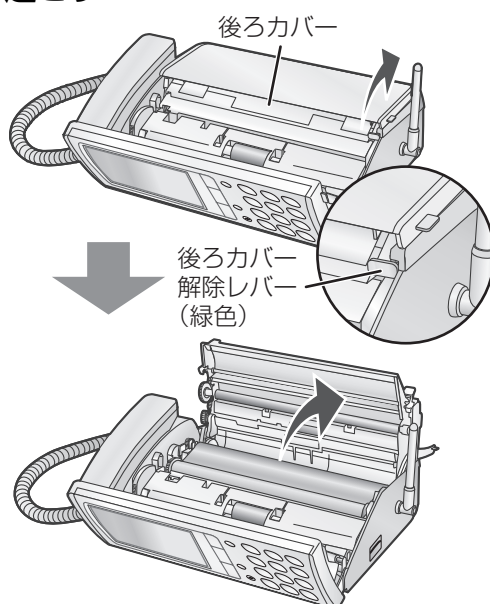
インクリボンを確認する（はじめてお使いになるとき）

インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

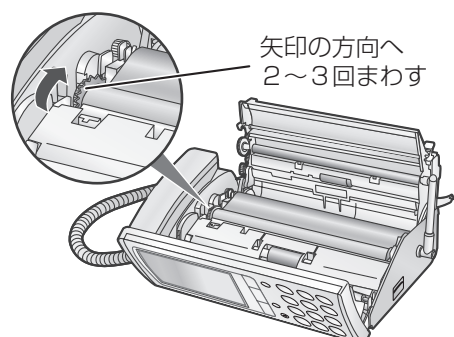
- 1** 操作パネルつまみを持って、
操作パネルを前に起こす



- 2** 後ろカバー解除レバー（緑色）を
押し上げ、後ろカバーを後ろに
起こす



- 3** インクリボンのたるみを取る



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

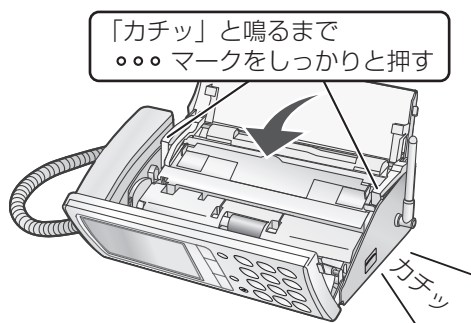
ナンバーディスプレイ

こまったときは

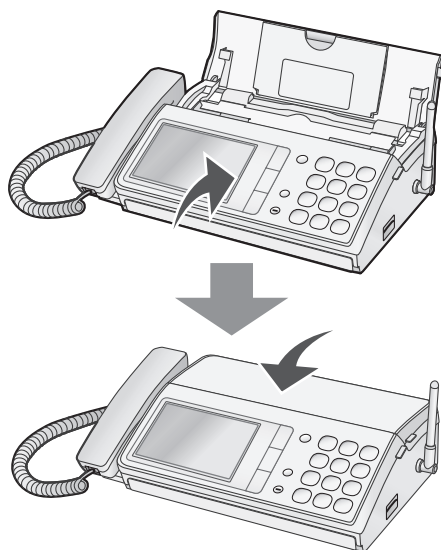
ご参考に

さくしん

4 後ろカバーを閉める



5 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



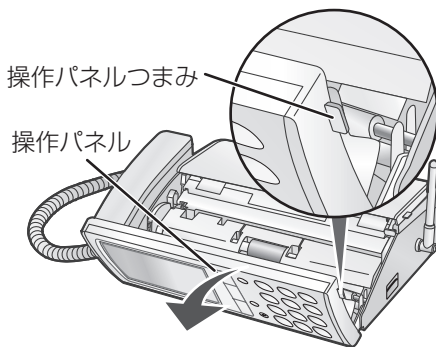
使用済みのインクリボンを交換する

ディスプレイに「インクリボンがありません 交換してください」と表示されたときは、インクリボンを使い切っています。

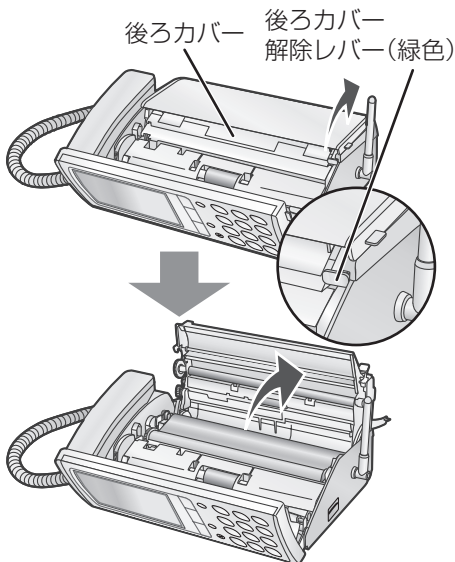
インクリボンがすべて手前側の芯に巻き取られていたら、新しいインクリボンに交換します。

記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出してください。

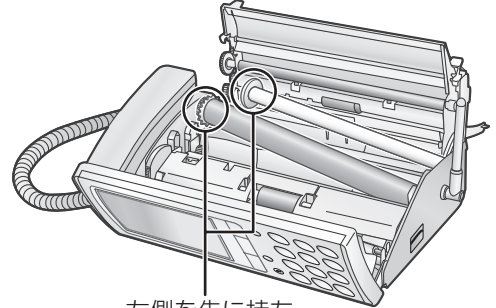
1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす



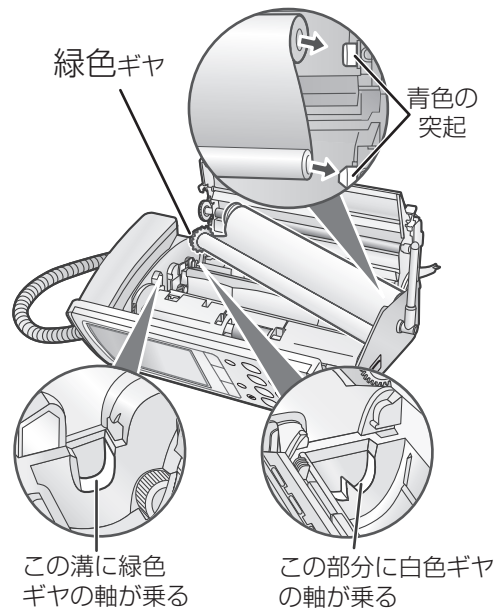
2 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



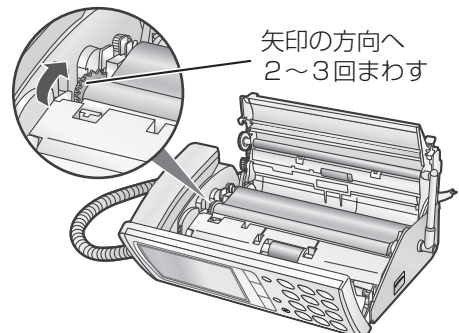
3 使用済みのインクリボンを取り出す



4 新しいインクリボンを、青色の突起に差し込んでから取り付ける



5 インクリボンのたるみを取る



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

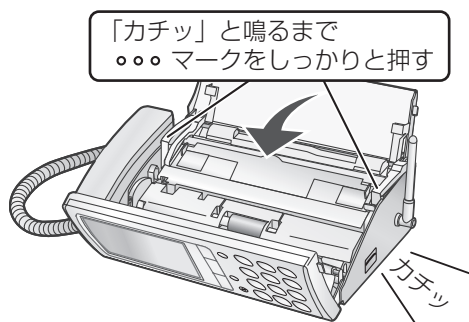
ナンバーディスプレイ

ごまったときは

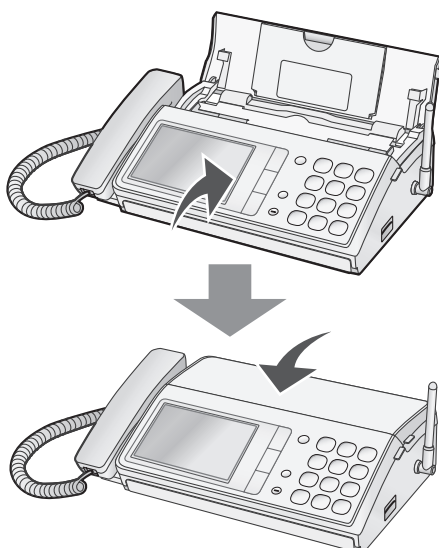
ご参考に

さくせん

6 後ろカバーを閉める



7 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



●お知らせ●

- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- 使用済みのインクリボンは「燃えないごみ」として捨ててください（地域によっては「燃えるごみ」として取り扱われている場合もあります）。
 - ・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
 - ・インクリボンの芯やギヤは、ポリスチレン、ポリアセタール、金属などでできています。
- 使用済みのインクリボンのギヤだけを取り外して再利用することはできません。新しいインクリボン（ギヤ付きタイプ）をお使いください。

操作ガイドを使う

待受画面の「?操作ガイド」をタッチすると、本商品の操作方法を確認したり、ガイドに沿って基本的な設定をしたりすることができます。



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

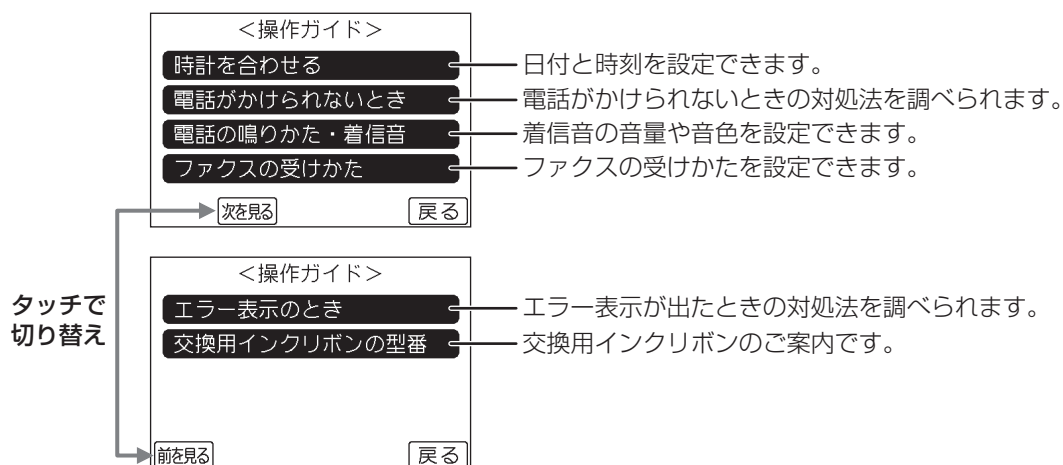
ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくいん

操作ガイドのもくじ画面



■ 使いかたガイドで使用する主なボタンについて

次を見る : 次のメニューを表示

前を見る : 前のメニューを表示

次ページ : 次の画面を表示

前ページ : 前の画面を表示

音声切替 : 音声ガイドの有無を切り替える

※ 音声ガイドは操作ガイドの一部の項目で働きます。操作ガイド以外では働きません。

中止 : 操作ガイドを中止し、待受画面を表示

■ 画面にエラーメッセージが表示されているときは

待受画面で、エラーメッセージの末尾に「操作ガイド」と表示されているときは、「?操作ガイド」をタッチすると対応が表示されます。

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 音声ガイドの音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。

子機の準備

STEP1 電池パックをセットする

STEP2

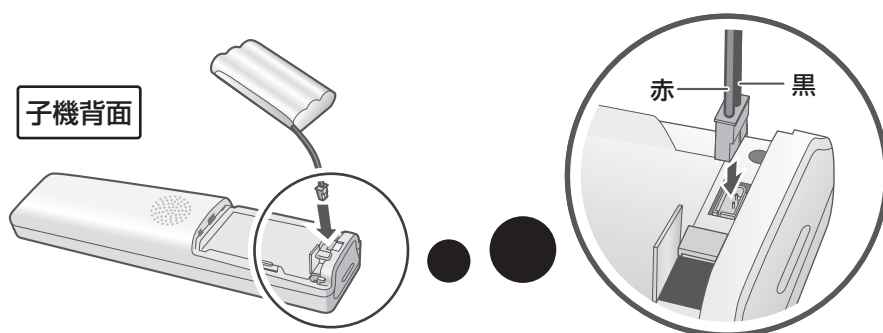


電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

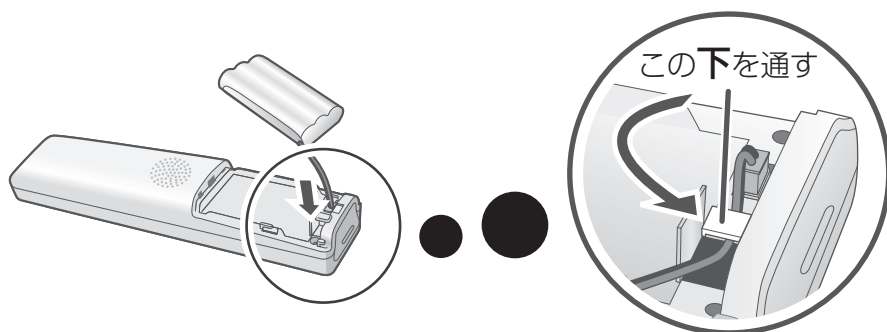


電池パックの外装チューブ（被膜）をはがしたり、傷をつけないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

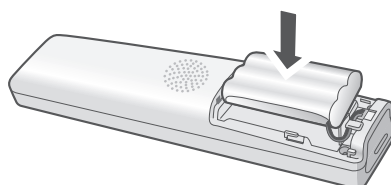
1 電池パックのコードの先端部分を、子機に差し込む



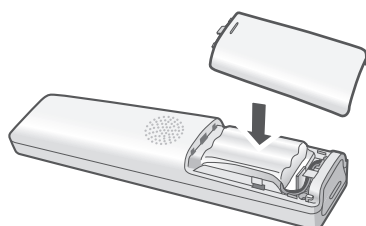
2 コードを通す



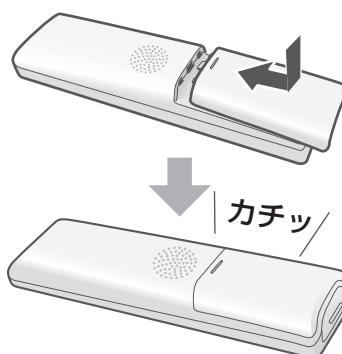
3 電池パックの本体を入れる



4 子機の電池カバーを取り付ける



電池カバーを上から
かぶせます。



少し押しながら
カチッと音が鳴るまで
上にずらします。



電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

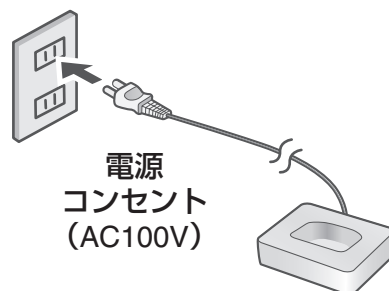
STEP1

STEP2 子機を充電する

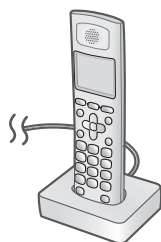


充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

1 充電器の電源プラグをコンセントに差し込む



2 充電器に子機を置いて、充電する



はじめて子機を使うときは、**連続して10時間以上**充電してください。



- 親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます。
- 充電中は、ディスプレイの  が点滅します (充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません)。

通話時間について

いっぱい充電した状態 (10時間以上) で通話できる時間は、通話状態で **最大約6時間** です。

- 子機ディスプレイにある  は、電池パックの残量を表示しています。
 : 充分に残っています。  : 少なくなっています。  : ほとんどありません。すぐに充電してください。
 : [電池残量がありません]と表示されて使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。
-  : 充電中は点滅しています (充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません)。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます (子機のディスプレイに[電池残量がありません]と表示されます)。このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話してください。

●お知らせ●

- 子機を2台以上お使いのときは、それぞれの子機が近づきすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
- 充電中は充電部や子機が温かくなりますが、異常ではありません。
- 電磁誘導による充電の方式をとっています (無接点充電)。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話/通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器を50cm以上離してご使用ください。
- 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。
- 無線LANなどをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から親機、子機とも約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本商品を設置するときは」(P.17ページ)をご覧ください。

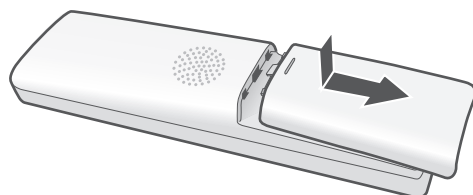
電池パックを交換する

電池パックは2年程度で交換してください(必ず当社指定品をお使いください 194 ページ)

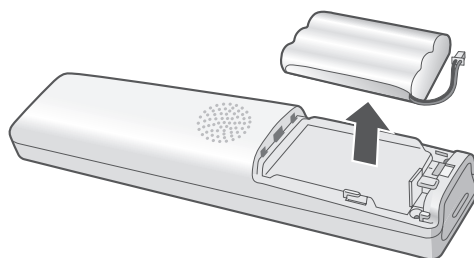
子機の電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度で電池パックの容量が減少していきます。長時間充電してもすぐに電池パックの容量がなくなるときには、新しい別売の電池パックに交換してください。

1 電池カバーを取り外す

子機背面



2 電池パックを取り外す



3 新しい電池パックを入れる

- 「電池パックをセットする」(194 40～41 ページ) を参考に、新しい電池パックを入れて10時間以上充電してください。

■ 充電式電池のリサイクルご協力をお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

- 交換後不要になった電池、および使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記をお願いします。
 - 本商品またはニッケル水素電池をお買い求めになった販売店または当社のサービス取扱所
- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
 - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
 - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - 電池を分解しないでください。

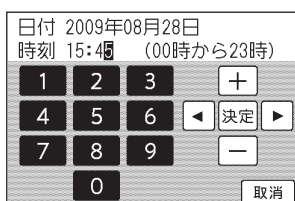
日付と時刻を設定する

設定した日時に誤差が生じたときなど、日付と時刻を設定することができます。親機の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。親機で設定した日時を転送して子機の日時を設定したり、子機で設定した日時を転送して親機の日時を設定したりすることもできます。

親機の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わせるときは、次の操作を行います。

- 1  を押す
- 2 [はじめの設定] ⇒ [日付・時刻] の順に選ぶ
- 3 数字ボタンをタッチして、日付と時刻を入力する



- 時刻は24時間制で入力します。
- **取消** をタッチすると、1つ前の数字を訂正できます。

- 4** 入力が終わったら、画面を確認して  をタッチする
- 5** 停止  を押す

■ 親機に登録されている日付や時刻を子機に転送したいときは(子機へ時計送信
👉 198ページ)

充電切れなどで子機の日時登録が消えたときは、親機の日付や時刻の設定を子機に転送できます。

■ 停電などで親機の日時登録が消えたときは

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送します。転送しないようにするには、「時計バックアップ」(198ページ)を「使用しない」に設定してください。

自動転送がうまくいかなかったときなどは、子機を親機に近づけたあと、親機の操作で転送してください（「子機から時計受信」 198ページ）。

■ 子機の日付と時刻を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

「時計バックアップ」(☞198ページ)が「使用する」に設定されているときは、親機の日付と時刻が転送されるため、子機で設定する必要はありません。また、親機から手動で日付と時刻を転送することもできます(子機へ時計送信☞198ページ)。

- ①  を押し、 で [システム設定] を選ぶ
 - ②  を押し、 で [日時登録] を選ぶ
 - ③  を押し、ダイヤルボタンで日付を入力する（年は西暦で入力）
 - ④ ダイヤルボタンで時刻を入力する（24時間制）
 - ⑤  を押し
- 間違えて入力したときは、 で間違えた数字を選び、あらためて入力します。

● お知らせ

- 時計の精度は、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 子機の電池パックのコネクターが外れたり、電池パックの残量がなくなると、設定した日時は消えてしまいます。子機の充電を行ってください。親機の日時が登録されていて、「時計バックアップ」(P.198ページ)が「使用する」に設定されていると、子機が充電されたあと、親機から自動的に日時が登録されます。
- 時刻だけを合わせたいときも、手順に従って日付から入力してください。
- 日付と時刻の転送中は、親機のディスプレイに「子機使用中」と表示されます。

自分の番号・名前を登録する

親機には、自分の番号や名前を登録することができます。
子機には、使う人の名前を登録することができます。

あなたの電話番号（発信元番号）を登録する（親機）

登録した電話番号（ファクス番号）は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙に印刷されます。

1 ^{メニュー} を押す

2 [はじめの設定] →
[発信元番号（あなたの番号）] →
[登録] の順に選ぶ

3 電話番号（ファクス番号）を入力し、**決定** をタッチする

NO. = 03XXXXXXXX
[発信元番号(あなたの番号)]

1	2	3
4	5	6
7	8	9
+	0	スペース

決定 取消

●最大20ケタまで入力できます。

● **取消** をタッチすると、1つ前の数字を訂正できます。

4 ^{停止} を押す

■親機に登録した番号を消去・変更するときは

以下の操作で消去できます。変更するときは、いったん消去してから再登録してください。

① ^{メニュー} を押す

② [はじめの設定] →
[発信元番号（あなたの番号）] →
[消去] → [消去する] の順に選び、
決定 をタッチする

③ ^{停止} を押す

あなたの名前（発信元名）を登録する（親機）

登録した名前は、電話番号（ファクス番号）と同じく相手の方の記録紙に印刷されます。

1 ^{メニュー} を押す

2 [はじめの設定] →
[発信元名（あなたの名前）] →
[登録] の順に選ぶ

3 名前を入力し（⁷⁰70～72 ページ）、**決定** をタッチする

●最大全角12文字／半角24文字まで入力できます。

● **取消** をタッチすると、1つ前の文字を訂正できます。

4 ^{停止} を押す

■親機に登録した名前を消去するときは

登録した名前を変更したいときは、一度消去してから、あらためて登録してください。

① ^{メニュー} を押す

② [はじめの設定] →
[発信元名（あなたの名前）] →
[消去] → [消去する] の順に選び、
決定 をタッチする

③ ^{停止} を押す

使う人の名前を登録する（子機）

登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。

親機と子機が電波の届く範囲にない、または親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。

1  を押し、 で [システム
設定] を選ぶ

2  を押し、 で [使用者表示]
を選ぶ

3  を押し、ダイヤルボタンで名
前を入力する（☎ 70～71、73
ページ）

名前 (漢)
リビング■

●最大全角5文字／半角10文字まで入力できま
す。

4  を押す

●登録した名前を変更したいときは、はじめから
やり直してください。

■子機に登録した名前を消去するとき

① 左記手順3の名前の入力画面で  を
押し、入力した文字をすべて消す

②  を押す

音の設定を変える

親機や子機から鳴る音の音量や種類などを設定できます。

親機の着信音の大きさを変わる／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

1  を押す

2 [着信音と誰からコール] ⇒
[親機着信音量] の順に選ぶ

3 設定したい着信音量（5段階の音量
または [着信音量 切]）を選び、 をタッチする



- 音量が設定されます。はじめは [3/5 段階] に設定されています。
-  をタッチすると、選択している音量を確認できます。
- [着信音量 切] に設定すると、着信音が鳴らなくなり、ディスプレイに **着信音 切** が表示されます。
- [着信音量 切] に設定していても、他の子機からの着信音は最小の音量で鳴ります。

4  を押す

親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変えることができます（9種類）。

1  を押す

2 [着信音と誰からコール] ⇒
[親機着信音選択] の順に選ぶ

3 設定したい着信音を以下の9種類から選び、 をタッチする

1 電話ベル音	6 シンフォニー 40 番
2 鳥の声	7 はにゅうの宿
3 電子音	8 メヌエット
4 パッパのインベンション	9 セレナーデ
5 ジュ・ト・ブ	

- 着信音が設定されます。はじめは [電話ベル音] に設定されています。
-  をタッチすると、選択している着信音を確認できます。
- 「誰からコール」（ 155～156 ページ）の設定時は着信音を変更できないため、設定の有無で手順が変わります。
- 「誰からコール」を設定しているとき
→ 4 へ
- 「誰からコール」を設定していないとき
→ 5 へ

4 [はい] または [いいえ] を選び、 をタッチする

- 誰からコールを使用するときは [いいえ] を選んでください（着信音は変更されません）。

5  を押す

●お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（ 155～158 ページ）を設定していると、固有の着信音が鳴ります。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に または をタッチする

- 5段階に設定できます。はじめは「2段階目」に設定されています。

◆「詳細メニュー」(☎ 79～80ページ) にしているときは、通話中に  をタッチして設定します。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量や、通信時の音声ガイダンスの音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます(それぞれの音量を個別に変えることはできません)。

1 を押し、 を4回押す

2 [音関連の設定] ⇒ [スピーカー音量] の順に選ぶ

3 5段階の音量のいずれかを選び、 をタッチする

- はじめは [3 / 5段階] に設定されています。

4 を押す

◆録音の再生中など、スピーカーから音が出ているときに  をタッチして設定することもできます。

子機の着信音の大きさを変わる／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

1 を押し、 で [着信音量] を選ぶ

留守番電話
電話帳
着信音量

2 を押し、 で設定したい着信音量 (5段階の音量または [切]) を選ぶ

- はじめは [3 / 5段階] に設定されています。
- [切] にすると、ディスプレイに  が表示されます。

3 を押す

■送話音量・受話音量を調整する

電話中の音量を調整したいときは、送話音量(相手先で聞こえるこちらの音量)や受話音量(こちらで聞こえる相手先の音量)を変更します。

◆親機送話音量を調整する (☎ 197ページ)

◆子機送話音量を調整する (☎ 197ページ)

◆子機受話音量を調整する (☎ 197ページ)

回線の状態によっては、子機の受話音量が小さくなることがあります。電話が聞き取りにくいときは、子機受話音量を調整してください。

◆子機受話音質を調整する (☎ 197ページ)

子機は電話中に聞こえる音質を調整することもできます。すべての子機の受話音質を一度に変更できます。使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」(☎ 49ページ) をご覧ください。

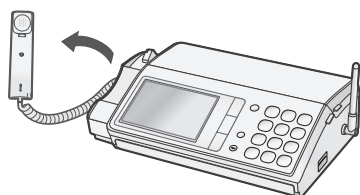
IP電話やADSL、ISDN (INSネット64) などをご利用のときに、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなることがあります。

このようなときには、上記の「親機送話音量を調整する」「子機送話音量を調整する」「子機受話音量を調整する」をそれぞれ「小」に設定すると、通話品質が改善されることがあります。

電話をかける・受ける・かけ直す

親機で電話をかける(ダイヤル)

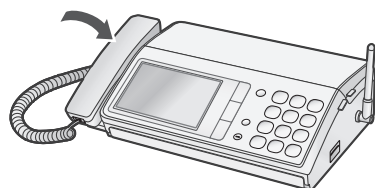
1 受話器を取る



2 ダイヤルボタンで電話番号を押す

- 間違い電話を防ぐために「ツー」という音を確認かめたあと、ダイヤルしてください。
- 先にダイヤルボタンで電話番号を押してから、受話器を取って電話をかけることもできます。

3 通話が終わったら受話器を戻す



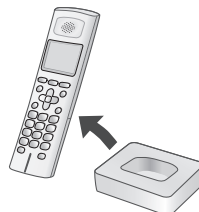
- 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

■電話がかかけられないときは

166～167ページをご確認のうえ、設定をし直してください。

子機で電話をかける

1 子機を充電器から取る



2 ダイヤルボタンで電話番号を押す

090XXXXXXXXX

3 を押す

4 通話が終わったら を押す

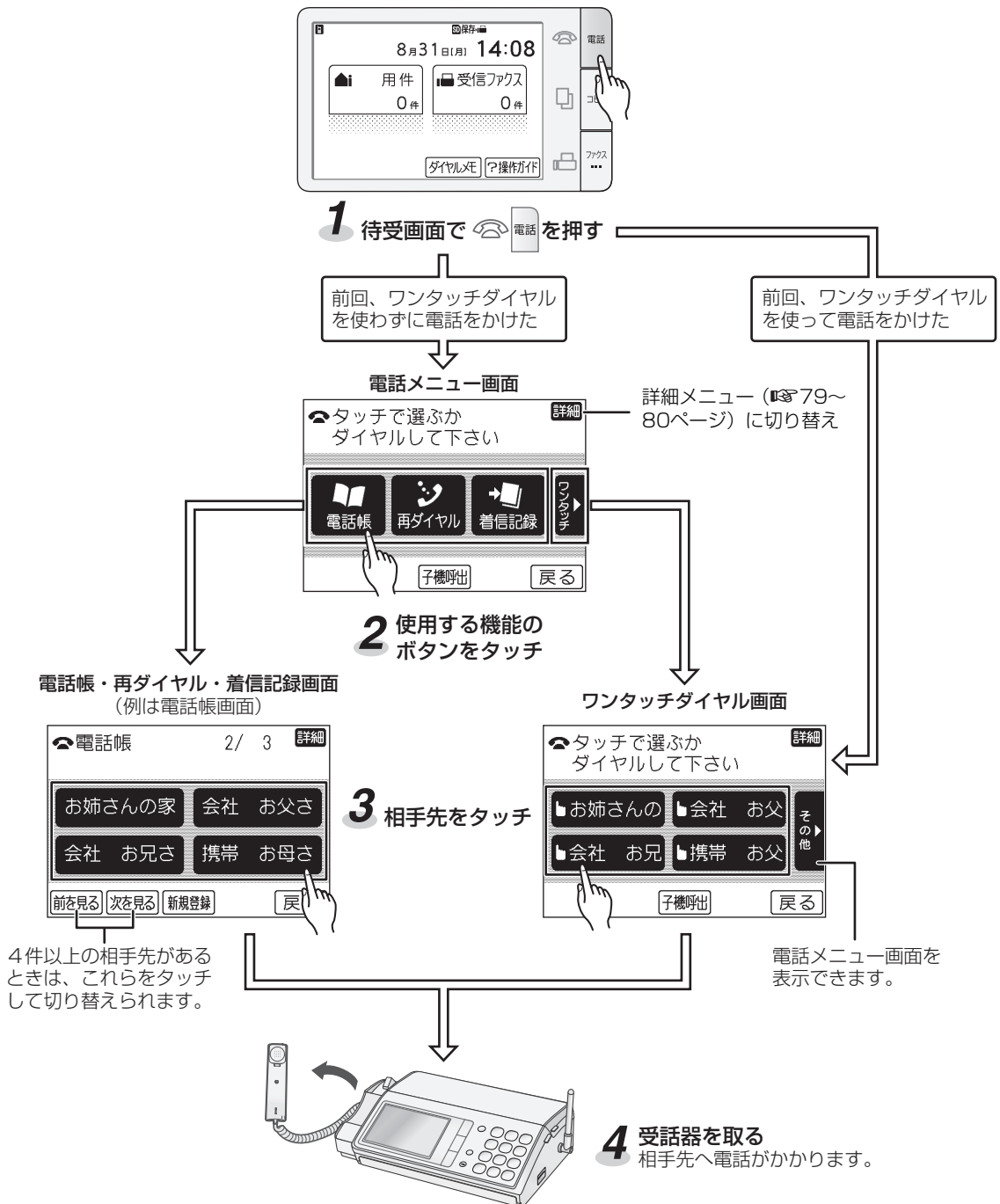
- 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 充電器に戻す

親機で電話をかける（メニューから）

親機では、電話ボタン（電話）のメニューから以下の機能を使って電話をかけられます。

- 最大100件の相手先を登録できる**電話帳**（登録方法は156、166ページ）
 - 一度電話をかけた相手先にかけ直せる**再ダイヤル**
 - よくかける相手先を登録できる**ワンタッチダイヤル**（登録方法は176ページ）
 - 電話をかけてきた相手先にかけ直せる**着信記録**（ナンバー・ディスプレイの契約が必要 159ページ）
- 電話のかけかたについては、以下をご覧ください。



■通話を保留にするときは

保留にすると、音楽（ビューティフルドリーマー）が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

親機で保留する

① 通話中に [保留] をタッチする

② 受話器を戻す

再び通話するときは、受話器を取る

受話器を取ったままのときは、[保留解除] をタッチする

子機で保留する

① 通話中に  を押す

再び通話するときは  または  を押す

■ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出したあとにトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御 等）を利用することができます。

親機：電話がつながっているときに、 を押してからダイヤルする

子機：電話がつながっているときに、 を押してからダイヤルする

電話を切ると、自動的に元のダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■受話器や子機を取らずに電話をかけるときは（親機：オンフックダイヤル／子機：受話通話）

オンフックダイヤルまたは受話通話で電話をかけると、スピーカーから相手側の音声聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、音声を聞くだけになるため、お話しはできません。

親機の操作：

受話器を置いたまま、ダイヤルボタンで番号を入力したあと  を押すか、 を押し、電話帳などで番号を選択したあと、もう一度  を押して発信します。

オンフックダイヤルから通常の通話に切り替えるときは、受話器を取ります。

子機の操作：

スピーカーホン

 を [SP受話通話中] と表示されるまで

3秒以上押してからダイヤルします。

受話通話から通常の通話に切り替えるときは

スピーカーホン

 を押します。

■子機を持たずに電話をかけるときは（スピーカーホン通話）

① ダイヤルボタンで電話番号を押す

②  を押す

③ 相手につながったら、マイクに向かって話す

④ 通話が終わったら  を押す

●ディスプレイに [SP通話中] と表示されます。

●マイクで話す距離のめやすは約 50cm です。

●通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてください（ 49 ページ）。

●内線通話でスピーカーホンにすると、相手側で声が響いて聞き取りにくくなることがあります。

■子機で通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート）

電波サポートを設定すると、改善される場合があります。下記の操作で現在の通話のみ、電波サポートが設定されます。

① 子機で通話中に  を押し、 で [電波サポート] を選ぶ

FAX受信
録音再生
電波サポート

②  を押す

●電波サポートを常に [設定] にするときは（ 147 ページ）

●お知らせ●

●ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。

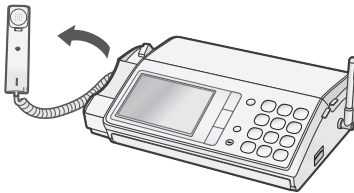
●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などから、できるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。

●親機でコピーや印刷をしているときは、子機で電話を受けることも、かけることもできません。また、着信音も鳴りません。

●子機で通話するとき、はじめに音量が不安定になることがあります。そのままお使いになると、すぐに安定します。安定しないときは、お話ししている場所を移動するか、送話音量や受話音量を下げてください（ 197 ページ）。

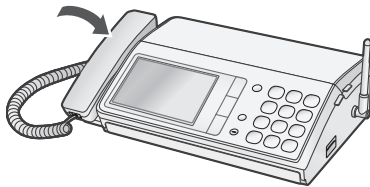
親機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら受話器を取る



- 電話がつながります。

2 通話が終わったら受話器を戻す



- 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。
- 「着信らくらく番号登録」(P.165 ページ) を設定しているときは、電話をかけてきた相手先の番号を電話帳などに登録できます。

■ 関連操作

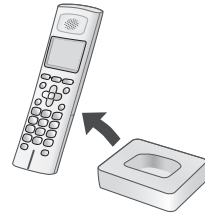
- 着信中に表示される文字の大きさを変更する (デカ文字着信 P.198 ページ)
- 親機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする (P.47 ページ)
- 子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする (P.48 ページ)
- 子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられるようにする (クイック通話 P.147 ページ)
- 通話中にお待たせする (保留 P.52 ページ)

■ ナンバー・ディスプレイを契約すると…

- 電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが液晶画面に表示されます (P.150 ページ)。
- 子機で相手の方を確認して電話に出たくないときは、**切** を押すと、子機の着信音を止めることができます。
親機の着信音は鳴ります。

子機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る



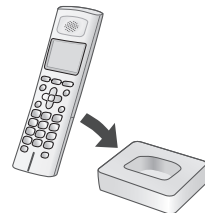
2 **☎** を押す

- 電話がつながります。

3 通話が終わったら **切** を押す

- 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 充電器に戻す



■ 子機を持たずに電話を受ける (スピーカーホン通話)

- ① 着信音が鳴ったら **スピーカーホン** を押す
 - ② 相手につながったら、マイクに向かって話す
 - ③ 通話が終わったら **切** を押す
- マイクで話す距離のめやすは約 50cm です。
 - 通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてください (P.49 ページ)。

■ 子機で通話中、雑音が入るようなときは (電波サポート P.52 ページ)

親機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、以前かけた番号のうち新しいものが20件まで記録されます。再ダイヤルを使って電話をかけるときは、51ページをご覧ください。

■ 親機の再ダイヤルを消去するときは

1 件ずつ消去

- ①   電話 を押す
- ② 詳細メニュー (📞 79~80ページ) になっていないときは、 詳細 をタッチする
- ③ [再ダイヤル] をタッチする
- ④ 消去したい番号を選ぶ
- ⑤  消去 を2回タッチする
- ⑥  停止 を押す

すべて消去

- ①  を押す
- ② [各種全消去] → [再ダイヤル] → [消去する]
の順に選び、 をタッチする

■再ダイヤルの記録を電話帳に登録するときは

親機  65ページ

子機  69ページ

子機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記録されます。

1 子機を充電器から取る

2 再ダイヤル を押し、 で番号を選ぶ



●子機で再ダイヤルできる番号は最大 32 ケタまでです。

3 を押す

4 通話が終わったら 切 を押す

5 充電器に戻す

■子機の再ダイヤルを消去するときは

1 件ずつ消去

- ① **再ダイヤル** を押し、 で消去したい番号を選ぶ
- ② **メニュー/決定** を押し、 で [1件消去] を選ぶ
- ③ **メニュー/決定** を2回押す

すべて消去

- ①  を押し、 で [全消去] を選ぶ
- ②  を押し、 で [再ダイヤル] を選ぶ
- ③  を2回押す

● ● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ●

●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記録しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルしたり、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルしたりすることはできません。

迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

ナンバー・ディスプレイのご契約をおすすめします

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすくしたり（チャイムでお断り、メッセージでお断り）、通話を録音しているとアピールしたり（録音でお断り）することができます。

迷惑電話がかかってきたら…

○チャイムでお断り

操作するとチャイム音が鳴り…



ピンポン
ピンポン

電話を切るきっかけを作ります



すみません、
来客ですので
失礼します

○メッセージでお断り

操作するとお断りのメッセージが流れて、自動的に電話が切れます



この電話は
お受けすることは
できません
(3回流れます)

相手側



○録音でお断り

操作すると、操作する15秒前から録音されている通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます。
再生終了後に自動的に電話が切れます（再生後は保存しません）。



15秒間



操作

〇〇〇〇…
「操作する15秒前」
から「操作するまで」
の通話内容

相手側



さらに ナンバー・ディスプレイ（☎ 150ページ）の契約をしていると…

○相手の方が電話番号を通知していた場合は…

電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号（☎ 164ページ）に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。

○相手の方が非通知／公衆電話／表示圏外からの電話の場合は…

非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、約2時間、同じ種別の着信をお断りすることができます（☎ 163ページ）。

設定後、相手から電話があったときは…

こちら側

着信音は鳴りません
(ディスプレイは点灯
します)。



相手側

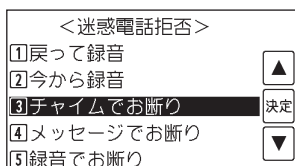
かけてきた相手の電話
に合わせたお断りメッ
セージが流れ、自動的
に電話が切れます。



親機で設定する

1 通話中に をタッチする

2 [チャイムでお断り] [メッセージでお断り] [録音でお断り] から設定したいお断りを選び、 をタッチする



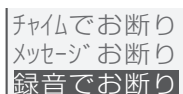
- ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎164ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。
- 「録音でお断り」は、相手に通話内容を聞かせるだけで、通話終了後には保存しません。録音した通話内容を保存したいときは、「戻って録音」（☎144ページ）を行ってください。
- 「録音でお断り」は、「戻って録音」（☎144ページ）を保存していても使用することができません。

子機で設定する

1 通話中に を押し、

[チャイムでお断り] [メッセージお断り] [録音でお断り] から

でお断りの種類を選ぶ



2 を押す

- ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎164ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。

■間違えて操作したときは

「チャイムでお断り」の操作をしたとき

親機では、チャイムが鳴ってから 10 秒以内に  を押します。お断り設定が中止されます。子機では、設定を中止できません。

「メッセージでお断り」「録音でお断り」の操作をしたとき

親機では、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げます。子機では  を押します。

相手先の番号がお断り番号に登録されたとき

登録されたお断り番号を消去します（☎164ページ）。番号がわからない場合は、お断り番号リストを印刷（☎116ページ）して確認してください。

非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されたとき

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を [なし] に設定してください（☎163ページ）。

■[チャイム後自動設定] の設定をするには

「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的に特定番号や非通知などのお断りを設定するかどうかを変更できます。はじめは [する] に設定されています。

- ①  を押す
- ② [着信お断りの設定] → [チャイム後自動設定] の順に選ぶ
- ③ [しない] または [する] を選び、 をタッチする
- ④  を押す

●お知らせ●

- ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。
- キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は動きません。
- こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。
- 子機で「録音でお断り」を再生中に  を押したり充電器に戻したりすると、再生を中断して通話を終了します。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。
- [戻って録音] を選ぶと、通話をさかのぼって録音することができます（☎144ページ）。
- [今から録音] を選ぶと、通話内容を録音することができます（☎143ページ）。

親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

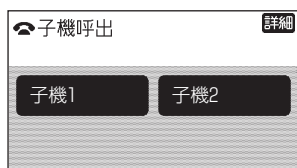
親機と子機、子機と子機の間でお話することができます。通話料はかかりません。

親機から子機を呼び出す

1 受話器を取る

2 子機呼出 をタッチする

3 呼び出したい子機の名前をタッチする



- 子機の名前は、子機のディスプレイに表示されています。
- 相手の方が電話に出るか、約 30 秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- 登録されているすべての子機を呼び出すときは、**【詳細】** をタッチして [子機一斉呼び出し] を選んでください。

4 通話が終わったら受話器を戻す

■子機で内線通話を受ける

- ① 呼出音が鳴ったら、子機を充電器から取る
 - ②  を押す
 - ③ 通話が終わったら  を押す
 - ④ 充電器に戻す
- 内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに  を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

■親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

親機で話すには

- ① 受話器を戻す
- ② 再び受話器を取る

子機で話すには

- ①  を押す
- ② 子機の着信音が鳴ったら、 を押す

子機から親機や子機を呼び出す

1 子機を充電器から取る

2 内線/消去 を押す

3 親機を呼び出す： **(0わ)** を押す
子機を呼び出す： 通話したい子機
 の内線番号 (**1あ** ~ **4た**) を押す

- 子機と子機での内線通話は、子機を2台以上でお使いのときにご使用になれます。
- 相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、呼び出しをやめます。
- 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示されています。ただし、相手の子機が使用者登録（☎46ページ）をしていると、その名前が表示されます。
- 子機間の内線通話は親機を通して行われます。子機と子機が近くても、親機から離れていると通話できないことがあります。

4 通話が終わったら (切) を押す

5 充電器に戻す

■ 親機で内線通話を受ける

- ① 呼出音が鳴ったら、受話器を取る
② 通話が終わったら、受話器を戻す
● 内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに  を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

● お知らせ ●

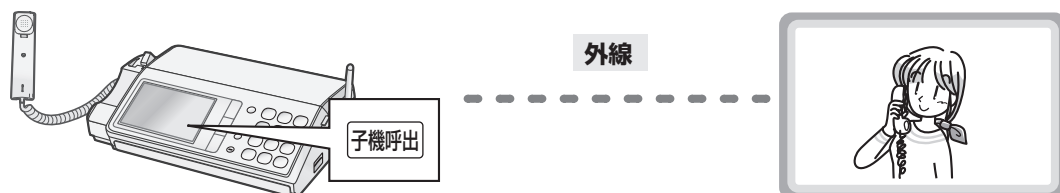
- 内線通話では、保留はできません。
- 子機では、内線通話中に  を押して、スピーカーホンで通話することができます。ただし、スピーカーホンにすると声が響いて相手側で聞き取りにくくなる場合があります。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
- 内線通話の着信音を変えることはできません。
- 子機の着信音量を [切] に設定していても、内線通話の着信音は [1 / 5段階] の音量で鳴ります。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の音量で鳴ります。

電話をとりつぐ／3人で電話でお話する（3者通話）

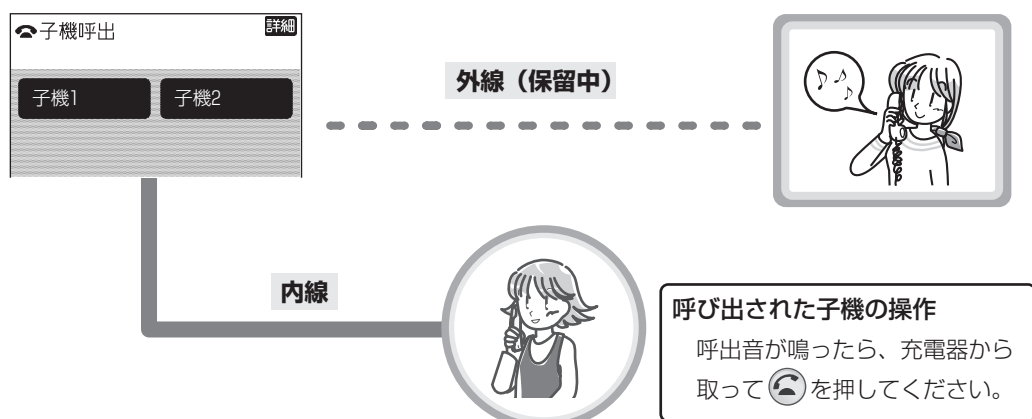
電話がかかってきたときに、親機から子機へ、または子機から親機へと電話をとりつぐことができます。また、外の相手の方とお話し中に、内線電話と外の相手との3人でお話しすることもできます。

親機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 外線通話中に「子機呼出」をタッチする



2 とりつぎ／3者通話したい子機の名前をタッチする



- 呼び出し中、または通話中に親機で外線通話に戻るときは、「中止」をタッチしてください。
- 呼び出し中に他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
- 相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- 登録されているすべての子機を呼び出すときは、「詳細」をタッチして「子機一斉呼び出し」を選んでください。
- 呼び出された子機で内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに「切」を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

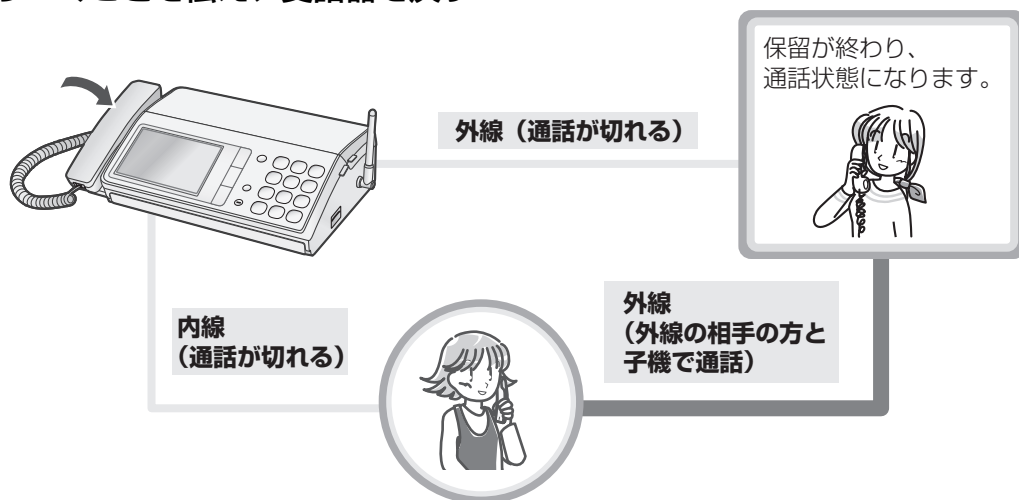
3 子機が電話に出たら、内線通話でお話する

- 電話をとりつぐときは → 4 へ
- 外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話） → 5 へ

次ページへ

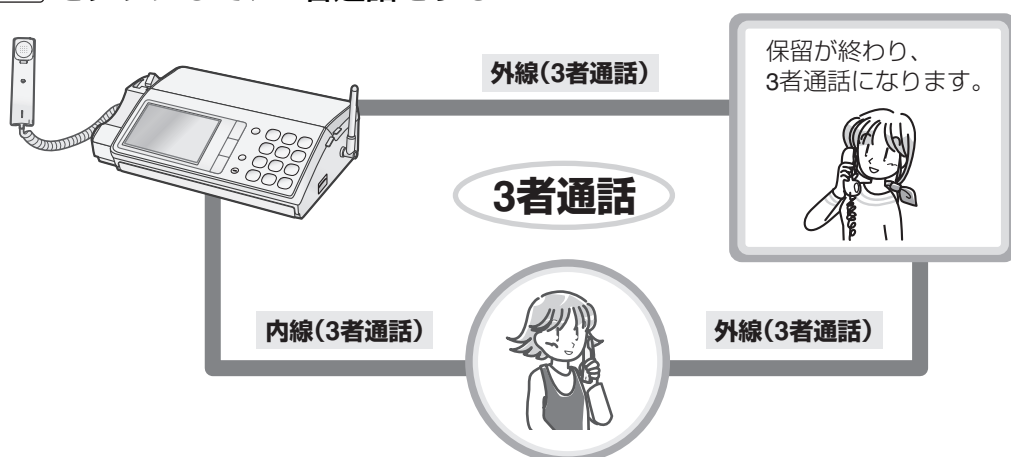
4 電話をとりつぐとき：

とりつぐことを伝え、受話器を戻す



5 外の相手の方と3人でお話するとき（3者通話）：

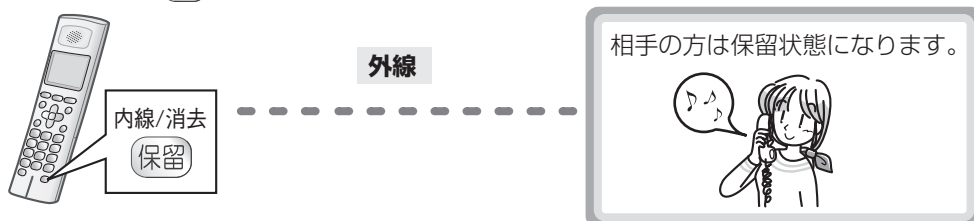
3者通話 をタッチして、3者通話をする



- 呼び出された子機の操作で3者通話にすることはできません。
- 内線の方が電話を切っても、もう一方は続けて外線と通話ができます。
- 3者通話中は、通話の保留ができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめたときは、保留ができます。

子機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

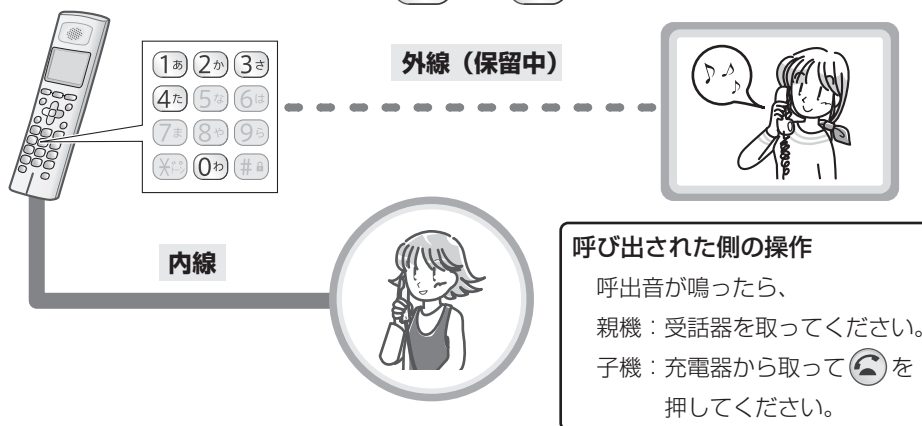
1 外線通話中に 内線/消去 保留 を押す



2 とりつぎ／3者通話したい相手の内線番号を押す

○親機にかける： 0わ を押す

○子機にかける：相手の子機の内線番号（ 1あ ～ 4た ）を押す



●子機と子機での内線通話は、子機を2台以上でお使いのときにご使用になれます。

●呼び出し中、または通話中に外線通話に戻るときは、 内線/消去
保留 を2回押してください。または 内線/消去
保留 を押したあと、 を押してください。

●相手の親機または子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、呼び出しをやめます。

●子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示されています。ただし、相手の子機が使用者登録（ 46ページ）をしていると、その名前が表示されます。

●内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに 停止 を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

3 呼び出した親機または子機が電話に出たら、内線通話でお話する

○電話をとりつぐときは → 4へ

○外の相手の方と3人でお話するときは（3者通話）→ 5へ

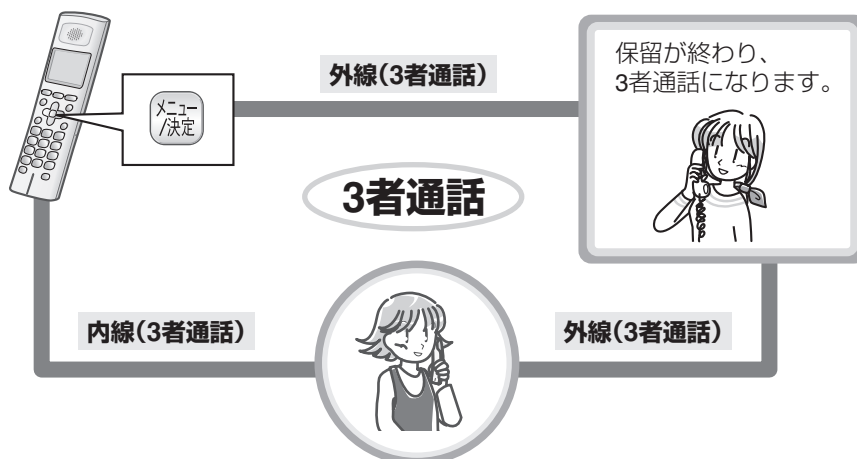
次ページへ

4 電話をとりつぐとき： とりつぐことを伝え、電話を切る



5 外の相手の方と3人でお話するとき（3者通話）：

メニュー/決定 を押して、3者通話をする



- 呼び出された親機や子機の操作で3者通話にすることはできません。
- 内線の方が電話を切っても、もう一方は続けて外線と通話ができます。
- 3者通話中は、通話の保留ができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめたときは、保留ができます。

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。また、複数の子機をお使いのときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

- ① 親機で通話中に [保留] をタッチする
- ② 受話器を戻す
- ③ 子機を充電器から取って を押す
- ④ 相手の方とお話する

① 子機で通話中に を押す

② 子機を充電器に戻す、または を押す

③ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る

④ 相手の方とお話する

① 子機で通話中に を押す

② 子機を充電器に戻す、または を押す

③ 他の子機を充電器から取って を押す

④ 相手の方とお話する

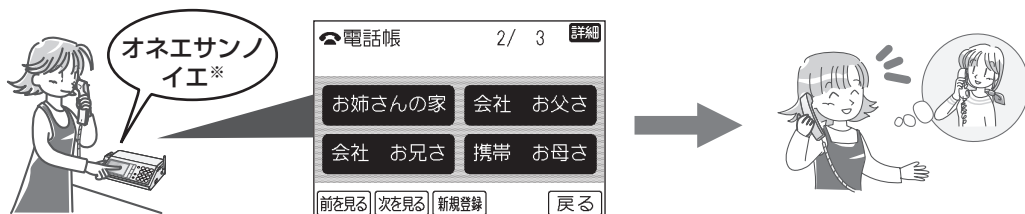
- 着信音を鳴らさない設定にしても、内線からの着信音は「ブルブル、ブルブル」と鳴ります。
- 子機から親機へひとり転送をしたとき、親機から鳴る着信音は「ブルブル」と鳴ります。
- 3者通話の録音はできません。

電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。

よくおかけになる相手の方を電話帳に登録しておく…

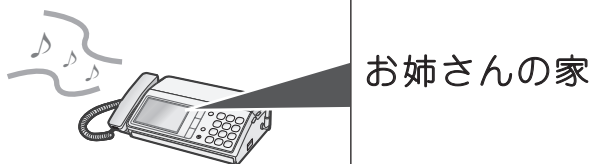
名前を選択するだけで電話をかけることができます。



※親機では、選択した名前を音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 Ⅱ 66～67ページ）。

さらに ナンバー・ディスプレイ（Ⅱ 150ページ）の契約をしていると…

電話帳に登録した相手から
電話がかかってくると、
登録した名前がディスプレイに
表示されます（Ⅱ 150ページ）。



誰からコールを設定していると、
登録した名前を音声で読み上げます
（誰からコール Ⅱ 155ページ）。



電話帳の登録時に、「誰あて」かの項目を設定
しておくと、着信したときに音声でお知らせ
します。「誰あてにかかってきたか」のめやす
になります（誰あてコール Ⅱ 155ページ）。

例：「オネエサンノイエ」から
「オカアサン」あての着信



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくいん

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機では、最大100件の電話番号を登録できます。

- 1  を押す
- 2 [電話帳の設定] →
[電話帳新規登録] の順に選ぶ
- 3 名前を入力し ( 70 ~ 72 ページ)、 をタッチする



- 名前を入力を省略するとき →
何も入力せずに **決定** をタッチして **5** へ
- 最大全角 10 文字／半角 20 文字まで入力できます。ただし、簡単メニューでは 6 文字までしか表示されません。
- **取消** をタッチすると、1 つ前の文字を訂正できます。
- 「姓」と「名」の間にはスペースを入力してください。名前の発声時に、姓と名それぞれにアクセントを設定できます (67 ページ)。
- 名前を入力しないで登録すると、名前が表示されるところに電話番号が表示されます。

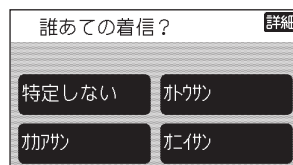
- #### 4 「読み」が正しければそのまま、間違っていれば修正してから **決定** をタッチする
- 「読み」が間違っていると、おしゃべり電話帳（☎66～67ページ）が正しく働きません。

- 5** 番号（最大32ケタ）を入力し、 をタッチする



- **取消** をタッチすると、1つ前の数字を訂正できます。
- ナンバー・ディスプレイを利用して、着信時に電話帳の名前表示 (📞 150ページ) や着信鳴り分け (📞 162ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

- 6 誰あてコール (☎ 155～157ページ) 利用時に音声でお知らせする名前をタッチする**
※ ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です (☎ 151ページ)。



- 誰あてコールを設定しないときは、[特定しない]を選んでください。

- 7** ほかの番号も登録するとき：
[電話帳新規登録]を選んで
手順 **3** からくり返す
登録を終わるとき：  を押す

- お知らせ
- 登録した電話帳データは、SD カードに保存したり、SDカードから読み込むことができます（※122～123ページ）。

■親機の電話帳にポーズを入力するには

- 電話番号の登録時に **ポーズ** をタッチすると、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。
- ポーズを入力するのは、構内交換機（PBX）から0発信するときだけにしてください。それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ディスプレイには－（ハイフン）で表示されます。
- 電話帳でハイフンを表示するためにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがありますので、おすすめできません。

■親機の電話帳を修正する

- ①  を押す
- ② 詳細メニュー（ 79～80ページ）になっていないときは、**詳細** をタッチする
- ③ **[電話帳]** をタッチする
- ④ 修正したい相手先を選び、**その他** をタッチする
- ⑤ **[修正]** をタッチする
- ⑥ 名前・読み・番号を順に確認し、必要な項目を修正する
修正しない項目では、修正せずにそのまま **決定** をタッチして進んでください。
- 取消** をタッチすると、1つ前の文字を訂正できます。
- ⑦ 「誰あてコール」で発声する名前を選び、**決定** をタッチする
- ⑧  を押す

■親機の電話帳を消去する

- ①  を押す
- ② 詳細メニュー（ 79～80ページ）になっていないときは、**詳細** をタッチする
- ③ **[電話帳]** をタッチする
- ④ 消去したい相手先を選び、**消去** を2回タッチする
- ⑤  を押す

■親機の再ダイヤルの記録を電話帳に登録するときは

- ①  を押す
- ② 詳細メニュー（ 79～80ページ）になっていないときは、**詳細** をタッチする
- ③ **[再ダイヤル]** をタッチする
- ④ 登録したい番号を選び、**新規登録** をタッチする
- ⑤ 名前を入力する（ 70～72ページ）
- ⑥ **決定** をタッチし、読み、番号を確認する（必要であれば修正する。とばして次の項目へ進むときは **決定** ）
- ⑦ 「誰あてコール」で発声する名前を選び、**決定** をタッチする
- ⑧  を押す

■親機の着信記録を電話帳に登録するときは

- ①  を押す
- ② 詳細メニュー（ 79～80ページ）になっていないときは、**詳細** をタッチする
- ③ **[着信記録]** をタッチする
- ④ 登録したい番号を選び、**新規登録** をタッチする
- ⑤ 名前を入力する（ 70～72ページ）
- ⑥ **決定** をタッチし、読み、番号を確認する（必要であれば修正する。とばして次の項目へ進むときは **決定** ）
- ⑦ 「誰あてコール」で発声する名前を選び、**決定** をタッチする
- ⑧  を押す

■電話の簡単メニューから登録するときは

電話の簡単メニューからも、名前と番号を入力して電話帳に登録できます（誰あてコール設定はできません）。

- ①  **電話** を押す
- ② 簡単メニューになっていないときは、**簡単** をタッチする
- ③ **[電話帳]** をタッチする
- ④ **[新規登録]** または **[登録できます]** と表示されている項目をタッチする
- ⑤ **[名前]** の欄をタッチしたあと、名前の入力と読みの確認を行って **[決定]** をタッチする

電話帳新規登録

名前

番号

- ⑥ [番号] の欄をタッチしたあと、番号を入力して **決定** をタッチする
- ⑦ **決定** をタッチする
- ⑧ 停止  を押す

■ 関連操作

- 親機の電話帳を子機に転送する (📞 78 ページ)
- 親機の電話帳をすべて消去する (📞 195 ページ)
- 親機の電話帳の内容を印刷する (📞 116 ページ)
- 親機の電話帳をSDカードに保存する (📞 122 ページ)
- おしゃべり電話帳を設定または解除する (📞 66 ページ)
- おしゃべり電話帳のアクセントを変更する (📞 67 ページ)

● お知らせ ●

- 親機の電話帳には、あらかじめ【>時報 117】、【>天気予報 177】の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。
- おしゃべり電話帳（☎ 66～67ページ）や誰からコール、誰あてコール（☎ 155～157ページ）は、親機の電話帳にのみ対応しています。子機の電話帳では動作しません。
- 間違い電話を防ぐため、番号を電話帳に登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。

親機の電話帳を音声でお知らせ する（おしゃべり電話帳）

親機の電話帳を音声でお知らせする／お知らせしないを設定できます。電話帳に登録されている「読み」に従ってお知らせします。工場出荷時は、お知らせする設定になっています。

- 1  を押す
- 2 [電話帳の設定] ⇒
[おしゃべり電話帳] の順に選ぶ
- 3 [使用する] または [使用しない]
を選び、 をタッチする

＜おしゃべり電話帳＞

①使用する

②使用しない

▲

決定

▼

- 4** 停止  を押す

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、1台につき最大100件の電話番号を登録できます。

親機の電話帳と同じ電話番号を登録したいときは、親機に登録した電話帳を子機に転送できます(☎ 78ページ)。

1 を押し、 で [電話帳] を選ぶ

2 を押し、 で [電話帳登録] を選ぶ

3 を押し、ダイヤルボタンで名前を入力する (☎ 70～71、73ページ)

名前	(漢)
携帯	お父さん

○名前の入力を省略するとき →

何も入力せずに を押して 6へ

●最大全角 10 文字／半角 20 文字まで入力できます。

●名前を入力しないで登録すると、電話帳などで名前の代わりに電話番号が表示されます。

4 を押す

5 「読み」が正しければそのまま、間違っていれば修正してから を押す

●「読み」は最大半角12文字までです。

6 ダイヤルボタンで電話番号を入力する (最大24ケタ)

●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示 (☎ 150ページ) や着信鳴り分け (☎ 162ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

7 を押す

■子機の電話帳にポーズを入力するときは

- 電話番号の登録時に を押すと、約 3 秒間の待ち時間 (ポーズ) を入力できます。
- ポーズを入力するのは、構内交換機 (PBX) から 0 発信するときだけにしてください。それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ディスプレイには - (ハイフン) で表示されます。

■子機の電話帳を修正するときは

① 子機を充電器から取る

② を押す

③ で修正したい相手の番号を選ぶ

④ を押し、 で [電話帳変更] を選ぶ

特番ダイヤル
電話帳変更
ワンタッチ登録

⑤ を押す

⑥ 名前・読み・番号を順に確認し、必要な項目を修正する
修正しない項目では、修正せずにそのまま

を押してください。

⑦ を押す

■子機の電話帳を消去するときは

1 件ずつ消去する

① 子機を充電器から取る

② を押す

③ で消去したい相手の番号を選ぶ

④ を押し、 で [1件消去] を選ぶ

⑤ を2回押す

すべて消去する

① 子機を充電器から取る

② を押し、 で [全消去] を選ぶ

③ を押し、 で [電話帳] を選ぶ

④ を2回押す

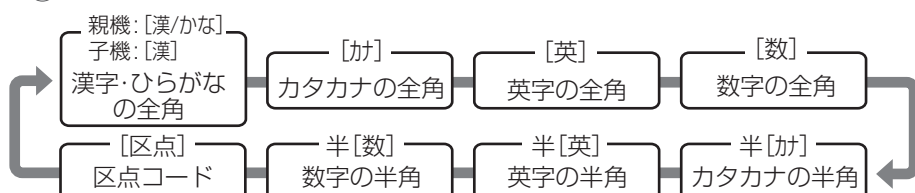
文字を入力する

入力モードを切り替えることによって、親機では[漢/かな]/[か]/[英]/[数]/半[か]/半[英]/半[数]/[区点]の8種類が、子機では[漢]/[か]/[英]/[数]/半[か]/半[英]/半[数]/[区点]の8種類が入力できます。

文字入力のしかた

1 親機： **文字切替** [漢/かな] をタッチし、入力モードを選ぶ（タッチすることにより切り替え）

子機： **文字切替** を押し、入力モードを選ぶ（押すごとにより切り替え）



2 文字を入力する

（入力例）

親機 **漢/かな** **ゆ う じ ん**
 [漢/かな] **や あ さ っ わをん**
 (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)

ひらがなのまま入力 → **採用** をタッチする

漢字に変換して入力 → ① **変換** または **▲前** をタッチする
 ② 「友人」が表示されたら **採用** をタッチする

[か]	ユ	ウ	ジ	ン
半[か]	や	ア	サ	っ
	(2回)	(3回)	(2回)	(1回)

[英]	S	H	O	P
半[英]	PQRS	GHI	MNO	PQRS
	(4回)	(2回)	(3回)	(1回)

[数]	1	2	3
半[数]	1	2	3

区点コード4567の「翼」を入力するとき
 [区点] **4 5 6 7** → 「翼」が入力されます

子機 **漢** **ゆ う じ ん**
 [漢] **8や 1あ 3さ っ わ**
 (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)

ひらがなのまま入力 → **メニュー/決定** を押す

漢字に変換して入力 → ① **メニュー/決定** を押して選ぶ
 ② 「友人」が表示されたら **メニュー/決定** を押す

[か]	ユ	ウ	ジ	ン
半[か]	8や	1あ	3さ	っ
	(2回)	(3回)	(2回)	(1回)

[英]	S	H	O	P
半[英]	7ま	4た	6は	7ま
	(4回)	(2回)	(3回)	(1回)

[数]	1	2	3
半[数]	1あ	2か	3さ

区点コード4567の「翼」を入力するとき
 [区点] **4た 5な 6は 7ま** → 「翼」が入力されます

● ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では1ボタンにつき1文字）。

例：[か]モードの **ア**（親機）／ **1あ**（子機）の場合 **ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ**

● うまく漢字に変換できないときは、1文字ずつ入力したり、読みかたを変えて入力してください。

■文字を消去するときは

親機で文字を消すときは、**取消** をタッチします（カーソルの1つ前を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。すべての文字を一度に消すことはできません。

子機で文字を消すときは、**内線/消去** を押します（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、**内線/消去** を押し続けると、すべての文字が消去されます。

■小文字を入力するときは

小文字のある「あ行」、「た行」、「や行」では、大文字の切り替えが一巡したあと、小文字を入力できます（文字入力一覧表 72～73ページ）。

あ (親機) 1あ (子機)	(大文字) あいうえお → (小文字) あいうえお	た (親機) 4た (子機)	(大文字) たちつと → (小文字) っ	や (親機) 8や (子機)	(大文字) やゆよ → (小文字) やゆよ
---	---	---	--	---	---

■文字と文字の間を空けるには（「姓」と「名」の間を空けるときなど）

前の文字を入力したあとに、**▶**（親機）／**+**（子機）でスペースを入力してから次の文字を入力してください。

例（親機）



● **わをん**（親機）／**0わ**（子機）でスペースを入力して間を空けることもできます。ただし、入力モードが[数]、半[数]、[区点]のときはスペースを入力できません。詳しくは、文字入力一覧表（72～73ページ）をご覧ください。

■同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するには（「イエ」など）

文字を入力したあと、**▶**（親機）／**+**（子機）でカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

文字入力一覧表（親機）

入力モード	入力できる文字
漢／かな	各ボタンに割り当てられている以下の文字を入力できます。 あ あいうえお あいうえお か かきくけこ さ さしすせそ た たちつてとつ な なにぬねの は はひふへほ ま まみむめも や やゆよやゆよ ら らりるれろ わをん わをんー（スペース）。、ゝゝ ※3 バック 文字を逆の順序で切り替え。「お→え→う→い→あ」など。
カナ [半]カナ	各ボタンに割り当てられている以下の文字を入力できます。 ア アイウエオ ァ ァィゥェォ カ カキクケコ サ サシスセソ タ タチツテトツ ナ ナニヌネノ ハ ハヒフヘホ マ マミムメモ ヤ ヤユヨヤユヨ ラ ラリルレロ ワ ワン ワンー（スペース）。、 ※4 ゝゝ ※3
英 [半]英※1	各ボタンに表示されている以下の文字を入力できます。 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz @. / - _ . : ! ? また、. : ! ? で次の記号も入力できます。& / () []（スペース）
数 [半]数	各ボタンに表示されている以下の文字を入力できます。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 * #
[区点]※2	4ケタの区点コードを入力することで、コードに対応した文字が入力できます。

- ※1：半角英字のアルファベットは大文字のみです。
- ※2：区点コードについては199～200ページをご覧ください。
- ※3：濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとにタッチしてください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナでは、濁点・半濁点も1文字として入力されます）。
- ※4：半角カナでは、「。」「、」は入力できません。

■ その他のボタンについて

 	カーソルを左右に移動します。	 	変換や入力した文字を決定します。
	入力モードを切り替えます。[漢/かな]の部分には現在の入力モードが表示されます。	 	入力した文字を消去します。文字をすべて消去した状態で  をタッチすると、前の画面に戻ります。
 	入力したかなを漢字やカナに変換します。		

文字入力一覧表（子機）

入力モード 入力ボタン	全 角				半 角			全 角
	ひらがな [漢]※1	カタカナ [か]	英 字 [英]	数字 [数]	カタカナ 半[か]	英字 半[英]※2	数字 半[数]	区点 コード [区点]
1あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	@ . / —	1	アイウ アイウイ	@ ./ —	1	※3
2か	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2	かきく カキク	A B C	2	
3さ	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3	サシセ サシセ	D E F	3	
4た	たちつてと っ	タチツテト ッ	G H I g h i	4	タチツ タチツ	G H I	4	
5な	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5	ナニヌ ナニヌ	J K L	5	
6は	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6	ハヒフ ハヒフ	M N O	6	
7ま	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7	マミム マミム	P Q R S	7	
8や	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	T U V t u v	8	ヤユヨ ヤユヨ	T U V	8	
9ら	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9	ラリル ラリル	W X Y Z	9	
0わ	わ を ん □ (スペース) □ □	ワヲン □ (スペース) □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ (スペース)	0	ワヲン □ (スペース)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ (スペース)	0	
※	濁点/半濁点 ※4		無効	*	濁点/ 半濁点 ※4	無効	*	無効
#	無効			#	無効		#	無効
メニュー 決定	入力した 文字の決定	決定（次へ進む）						
	カーソル左右移動							
	かな漢字変換 / カーソル上下移動	カーソル上下移動						
内線/消去 保留	1文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去）							
文字切替 キャラ	文字の種類の切り替え							

※ 1：子機が親機の電波の届く範囲にないと、子機の文字入力機能は使用できません。

※ 2：半角英字のアルファベットは大文字のみです。

※ 3：区点コードについては199～200ページをご覧ください。

※ 4：濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとに押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナでは、濁点・半濁点も1文字として入力されます）。

電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておく、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。毎回ダイヤルボタンで電話番号を入力する手間が省け、大変便利です。また、相手先を選ぶと登録した名前を音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 Ⅱ 66～67ページ）。

●電話帳登録 親機 Ⅱ 64ページ／子機 Ⅱ 68ページ

親機の電話帳でかける

電話帳を使って電話をかけるときは、51ページをご覧ください。

親機では、液晶ディスプレイに選んだ相手先の名前が表示され、さらに音声でもお知らせします（おしゃべり電話帳）。

■関連操作

- おしゃべり電話帳を設定または解除する（Ⅱ 66 ページ）
- おしゃべり電話帳のアクセントを変更する（Ⅱ 67 ページ）

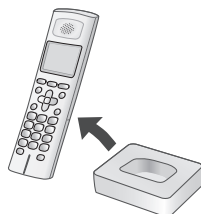
■親機で33ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

- ①  電話 を押す
- ② 詳細メニュー（Ⅱ 79～80ページ）になっていないときは、**詳細** をタッチする
- ③ [電話帳] をタッチする
- ④ 最初の番号を選び、受話器を取る
- ⑤ すぐに **その他** をタッチし、[電話帳] をタッチする
- ⑥ 次の番号を選び、[発信] をタッチする
- ⑦ 通話が終わったら受話器を戻す

子機の電話帳でかける

1 子機を充電器から取る



2 を押す

3 で電話をかけたい相手先を選ぶ

- **1あ** ～ **0わ** のダイヤルボタンは、登録した名前の頭文字の行（あ行～わ行）に対応しています。押すと該当する相手先が選ばれます。目的の相手先が選ばれていないときは  で選んでください。

4 を押す

5 通話が終わったら を押す

- 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

6 充電器に戻す

親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

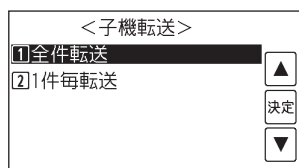
親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます（転送した電話番号は消えません）。

親機の電話帳を子機に転送する

1 を押す

2 [電話帳の設定] ⇒
[子機転送] の順に選ぶ

3 電話帳の転送方法を選ぶ



- [全件転送]（すべて転送する）→ 5へ
電話帳が転送され、操作が終了します
- [1件毎転送]（1件ずつ転送する）→ 4へ

4 転送したい相手先を で
選び、 をタッチする

5 転送先の子機を選び、 をタッチ
する

● 転送が始まります。

● お知らせ

- 親機から子機へ、半角13文字以上の読みで登録している相手先を転送すると、読みは12文字までしか転送できません。
- 子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、電源コードを子機や充電器の近くに束ねて置くと、転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 名前の先頭が“ ”で始まっている電話番号（天気予報、時報）は、転送動作は完了しますが、電話帳には登録されません。
- 転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。通話が終わったら、もう一度転送をやり直してください。
- 転送先の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 名前と電話番号が同じデータをすでに登録されている場合は、転送動作は完了しますが、データは転送されません。
- 似た名前や読みを登録する場合は、先頭部分が違う文字になるよう登録することをおすすめします。
例) 「携帯電話 父」→ 「父 携帯電話」
「携帯電話 母」→ 「母 携帯電話」

■ [転送できないデータがあります 操作を続けますか?] と表示されたときは
親機に25ケタ以上の番号で登録している相手先があると表示されます。[はい] を選んで をタッチすると、その相手先以外のデータを転送します。

■ 子機から電話帳を転送する

子機から親機へ電話帳を転送できます。また、2台以上の子機をお使いのときは、子機から子機へ電話帳を転送できます。

1件ずつ転送

- ① を押す
- ② で転送したい相手先を選ぶ
- ③ を押し、 で [1件転送] を選ぶ
- ④ を押し、 で転送先を選ぶ
- ⑤ を押す

● 親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

すべて転送

- ① を押し、 で [電話帳] を選ぶ
- ② を押し、 で [電話帳全転送] を選ぶ

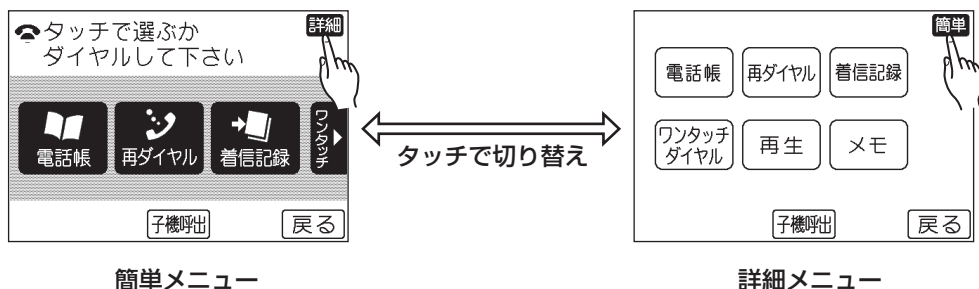
電話帳登録
ワンタッチ登録
電話帳全転送

- ③ を押し、 で転送先を選ぶ
- ④ を押す

- 転送先には、子機のディスプレイに表示されている内線番号または使用者登録（ 46ページ）で設定した名前が表示されます。
- 親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

電話の詳細メニューについて

電話メニュー画面には、簡単メニューと詳細メニューの2種類があります。簡単メニューでは簡単に電話をかけることができ、詳細メニューでは電話をかけるほかに電話帳の登録などができます。

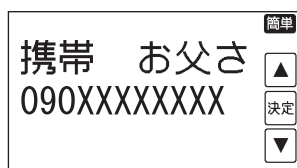


■ [電話帳] をタッチ→電話帳詳細メニュー

- 表示を切り替える：[表示切替] をタッチ

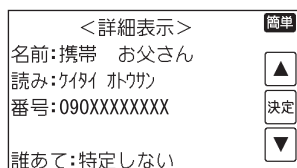
◆1件表示

登録された電話帳1件の名前と番号を表示します。▲ ▼ でほかの相手先を表示できます。



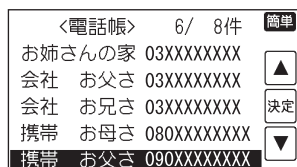
◆詳細表示

登録された電話帳1件の詳しい内容を表示します。▲ ▼ でほかの相手先を表示できます。



◆一覧表示

登録された電話帳の名前と番号を一覧表示します。



- 電話をかける：相手先を選んで受話器を取る
- 相手先を登録する：
 - [新規登録] をタッチし、名前と番号の入力、誰あてコール設定を行って登録します。
- 登録を消去する：☎ 65 ページ
- 相手先を検索する：
 - 1 あ ~ 0 わ のダイヤルボタンは、登録した名前の頭文字の行（あ行～わ行）に対応しています。押すと該当する相手先が選ばれます。目的の相手先が選ばれていないときはタッチで選んでください。
 - 簡単モードで相手先を表示しているときも、同じ操作で検索できます。
- 電話帳の内容を印刷する：
 - 記録紙をセット（☎ 112 ページ）して、[その他] → [印刷] の順にタッチする。
- 名前と番号を全桁表示する：
 - [その他] → [全桁表示] の順にタッチする。
- 相手先の名前を再生する（読み上げる）：
 - [その他] → [再生] の順にタッチする。
 - 「さん」の有無を設定したり、アクセントを調整したりできます（☎ 67 ページ）。
- 登録を修正する：☎ 65 ページ

■ [再ダイヤル] をタッチ→再ダイヤル詳細メニュー

- 表示を切り替える：[表示切替] をタッチ
 - ◆1件表示
再ダイヤル1件の詳しい内容を表示します。
- ▲ ▼ でほかの再ダイヤルを表示できます。

携帯 お父さ	簡単
090XXXXXXXX	▲
8/31 14:39	決定
	▼

- ◆一覧表示
再ダイヤルを一覧表示します。

- 電話をかける：相手先を選んで受話器を取る
- 再ダイヤルの番号を電話帳に登録する：
☎ 65 ページ
- 再ダイヤルを消去する：☎ 54 ページ
- 名前と番号を全桁表示する：
[その他] → [全桁表示] の順にタッチする。

■ [着信記録] をタッチ→着信記録詳細メニュー

- 表示を切り替える：[表示切替] をタッチ
 - ◆1件表示
着信記録1件の詳しい内容を表示します。
- ▲ ▼ でほかの着信記録を表示できます。

携帯 お父さ	簡単
090XXXXXXXX	▲
8/31 14:25	決定
	▼

- ◆一覧表示
着信記録を一覧表示します。

- 電話をかける：相手先を選んで受話器を取る
- 着信記録の番号を電話帳に登録する：
☎ 65 ページ
- 着信記録を消去する：☎ 159 ページ
- 着信記録の内容を印刷する：
記録紙をセット（☎ 112 ページ）して、
[その他] → [印刷] → [印刷する] の順に選び、
[決定] をタッチする。
- 名前と番号を全桁表示する：
[その他] → [全桁表示] の順にタッチする。

■ [ワンタッチダイヤル] をタッチ→ワンタッチダイヤル詳細メニュー

- ワンタッチダイヤルに登録する：
[登録できます] と表示されている項目を選び、
名前と番号の入力、誰あてコール設定を行って
登録します。
- 名前と番号を全桁表示する：
[その他] → [全桁表示] の順にタッチする。
- 相手先の名前を再生する（読み上げる）：
[その他] → [再生] の順にタッチする。

■ [再生] をタッチ→録音再生

各種録音を再生します（☎ 84 ページ）。

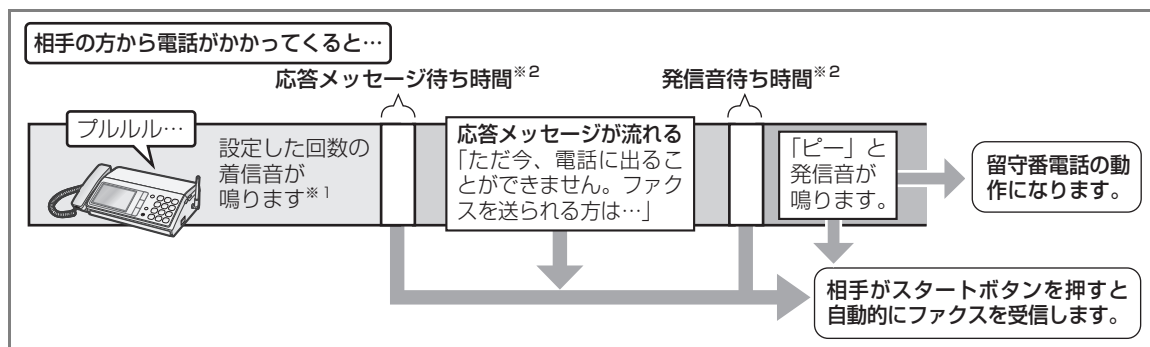
■ [メモ] をタッチ→メモメニュー

ちょっとメモ（☎ 140 ページ）、ダイヤルメモ（☎ 138 ページ）やメモ録音（☎ 142 ページ）に登録できます。

留守に設定する／解除する

外出中に相手の方の用件を録音したり、ファクスを自動受信します。

- 相手の方の用件は、1件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「留守録音時間」196ページ）。
- 本体メモリー使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分間または30件まで録音できます。
- SDカードを本商品に取り付けると、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（119ページ）。そのときは、すべての録音を合わせて最大1200件まで録音できます。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。

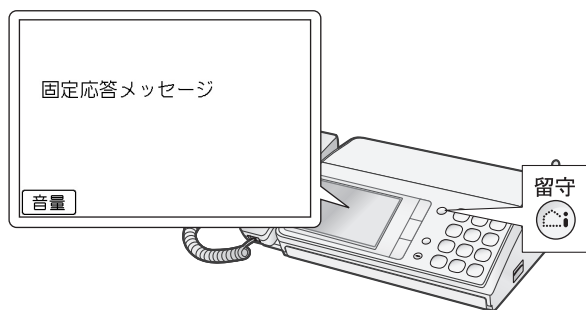


※1 着信音の回数は変更できます（「留守時応答回数を設定する」91ページ）。お買い求め時の回数は「4回」です。

※2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できません（※96ページ）。お買い求め時の設定は[4秒]です。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります（応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です）。

親機で留守に設定する

1 留守を押す



- 固定応答メッセージが流れ、親機の  が点灯し、子機のディスプレイには「留守」と表示されます。
- 録音できる残り時間が約5分以下のときは、「残り約〇分、録音できます」と音声でお知らせします。
残り時間が約2分以下のときは、「メモリーが、もうすぐいっぱいです」と音声でお知らせします。
残り時間が約1分以下のときは、「メモリーがいっぱいです」と音声でお知らせします。
残り時間がないときは、留守に設定できません。不要な録音を消去（ 84～85ページ）するか、メモリー受信したファクスを消去（ 110ページ）してください。ただし、録音できる残り時間がなくても、リモート暗証番号が登録されているときは留守に設定できます。

- 留守設定中に、相手の方の録音中の声を聞くときは（「お声拝聴」👉196ページ）

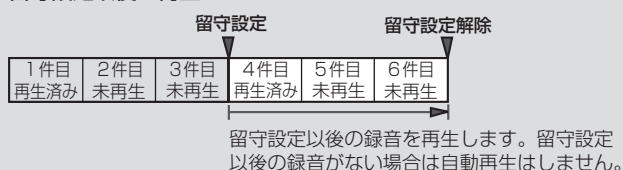
お知らせ

- 自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。

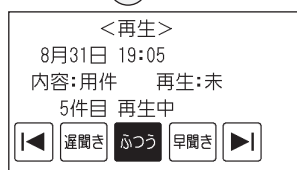
親機で留守設定を解除する

留守設定中に録音があると、録音件数が表示され、留守ボタンが点滅します。留守設定を解除すると、留守設定中に録音されたメッセージが自動的に再生され、留守ボタンが消灯します。新しい録音がない場合は、再生しません。

留守設定以後の再生について

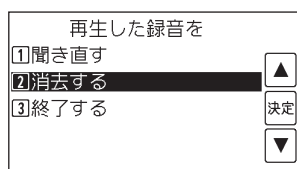


1 留守設定時に留守を押す



- 再生が始まります。再生が最後まで終わると、自動的に再生が終了します。
- 本体メモリーに録音しているときは、再生中に「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」を行うことができます。SDカードに録音しているときは、「10秒戻し再生」「30秒送り再生」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」を行うことができます(86ページ)。
- 録音内容を1件再生すること、録音された日時を音声でお知らせします。

2 再生が終わったら、録音の聞き直しや消去をする



- 聞き直すとき：[聞き直す]
- 再生した録音をすべて消去するとき：[消去する] → [消去]
- 終了するとき：[終了する]
- 録音メッセージを個別に消去したいときは、再生中に消去を行ってください(84～85ページ)。

■留守ボタンが点滅しているときは

- 留守設定中に点滅(1回ずつの点滅)しているときは、新しく入った録音があります(子機ディスプレイには[新着あり]と表示されます)。また、「今から録音」、「戻って録音」、留守録、メモ録音が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、点滅(2回続けての点滅)しているときは、まだ再生していない(未再生)録音(「今から録音」、「戻って録音」、留守録、メモ録音)があります。約3秒以上再生すると再生済みになります。すべて再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くとときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生/消去する」(84～86ページ)の操作をします。

■親機のディスプレイに[受信ファクスがあります][ファクス]を押す]と表示され、

ファクスが点滅しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを確認、消去(105～110ページ)すると、メッセージが消えてボタンの点滅が止まります。



■留守設定を解除せずに留守録を聞くには(84～86ページ)

■再生中にできる操作について(86ページ)

■ 子機で留守設定をする／解除する

- ①  を押し、 で [留守番電話] を選ぶ
 - ②  を押し、 で [留守設定切替] を選ぶ
- 用件再生
留守設定切替
 録音全消去
- ③  を押し、 で [設定] または [解除] を選ぶ
 - ④  を押す

- 子機で留守設定を解除すると、留守設定をしたあとに録音があっても再生しません（親機の留守ボタンの点滅も消えません）。

● お知らせ ●

- 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります（ファクス受信可能な場合のみ）。
- 録音時間が残り約2分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです」と音声でお知らせします。また、録音時間が残り約1分以下のときは、「メモリーがいっぱいです」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください（P84～85ページ）。
- 留守録音とメモリー受信は、同じメモリーを使用しています。メモリー受信したファクスがあると、録音できる時間が少なくなります。メモリー残量が少なくなると、あらたに録音やファクス受信ができなくなりますので、不要な用件は消去してください。
- 応答メッセージが流れている間、相手の方の声がスピーカーから聞こえます（お声拝聴機能）。応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

録音されている内容を再生／消去する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや「今から録音」、「戻って録音」、「メモ録音」）を再生するときの操作です。親機と子機のどちらでも再生でき、通話中に再生することもできます。

親機で録音内容を再生／消去する

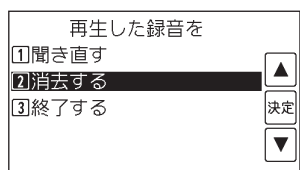
1 待受画面で録音の件数表示をタッチする



- 再生が始まります。留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。留守設定にしていなときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- 録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。
- を押したあと、詳細メニューの状態では「再生」をタッチして再生を始めることもできます。

○再生中の録音を消去するとき：[消去] 2回

2 再生が終わったら、録音の聞き直しや消去をする



- 聞き直すとき：[再生する]
- 再生した録音をすべて消去するとき：[消去する] → [消去]
- 終了するとき：[終了する]

■再生中に電話がかかってきたら

着信すると、再生は自動的に止まります。そのまま電話に出ると、お話しすることができます。

■通話中に録音内容を再生するには（ 85ページ）

■親機の録音メモリーの残量を確認するには（ファクス/録音メモリー残量表示）

- ① を押す
- ② [メモリー残量の表示] を選び、[決定] をタッチする
- ③ 確認したら を押す

■親機で録音をすべて消去するには

本体メモリーまたはSDカードにある録音をすべて消去できます。本体メモリーとSDカードの切り替えは119ページをご覧ください。

- ① を押す
- ② [各種全消去] → [用件録音] → [消去する] の順に選び、[決定] をタッチする
- を押したあと、[留守番電話の設定] → [用件録音全消去] → [消去する] の順に選び、[決定] をタッチして消去することもできます。

■再生する録音データのメモリーを切り替えるには

録音データを再生するときは、「ファクス/録音メモリー設定」（ 119ページ）で設定した保存先のデータを再生します。

「本体メモリー」設定時に「SDカード」のデータを再生するときや、「SDカード」設定時に「本体メモリー」のデータを再生するときは、メモリーを切り替えてください。

- ① SDカードがセットされていないときは、セットする（ 119ページ）
- ② を押す
- ③ 詳細メニュー（ 79～80ページ）になっていないときは、[詳細] をタッチする
- ④ [再生] をタッチする
- ⑤ [SD] をタッチする
- ⑥ [本体⇔SDカード切替] を選び、[決定] をタッチする
再生するメモリーが切り替わり、自動的に再生が始まります。

●この操作では保存先は切り替わりません。保存先を切り替えたいときは、「ファクスと録音データの保存先を変更するには（ファクス／録音メモリー設定）」をご覧ください。

子機で録音内容を再生／消去する

親機のメモリー（本体またはSDカード）に保存されている録音を再生できます。親機のメモリーを切り替えるときは119ページをご覧ください。

1  を押し、 で [留守番電話] を選ぶ

2  を押し、[用件再生] を選ぶ

用件再生
留守設定切替
録音全消去

3  を押す

- 再生が始まります。留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。留守設定にしていないときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- 録音内容は、約3秒以上再生すると再生済になります。

4 再生が終わったら  を押す

- 再生中の録音を1件消去するとき：

内線/消去
保留 → 1 あ

■子機で録音をすべて消去するには

①  を押し、 で [留守番電話] を選ぶ

②  を押し、 で [録音全消去] を選ぶ

用件再生
留守設定切替
録音全消去

③  を2回押す

親機で通話中に再生する

1 通話中に  をタッチし、[再生] をタッチする

-  が表示されていないときは、 をタッチしてください。
- 録音が再生されます。未再生の録音があるときはそれ以降を、ないときは1件目から再生されます。
- 再生をやめるときは  を押します。

子機で通話中に再生する

1 通話中に  を押し、 で [録音再生] を選ぶ

2  を押す

- 再生をやめるときは  を押します。

■録音再生中の通話について

親機：再生中でも通話できます。

子機：再生中は通話できません。

「戻って録音」( 144ページ) 再生中：

親機・子機とも通話できません。

■再生中にできる操作について (86ページ)

再生中にできる操作

再生を途中でやめる

親機：停止 

子機：切（通話中に再生したときは)

再生中の録音を聞き直す

親機：

子機：5な

●再生が約3秒以内のときに操作すると、1つ前の録音に戻ります。

次の録音にとばす

親機：

子機：6は

1つ前の録音に戻る

親機：3 秒以上再生
して  2 回

子機：3 秒以上再生
して **5** 回

●聞きたい録音まで戻すときは、ボタンをくり返し押します（1回押すごとに1つ戻ります）。

早聞きや遅聞きをする(本体メモリーの録音のみ)

親機：遅聞き ふう
早聞き

子機：95

●ボタンを押すたびに、
早聞き→通常の再生→
早聞き…と切り替わり
ます。

10秒戻し再生をする (SDカードの録音のみ)

親機：10秒戻る

子機：2か

30秒送り再生をする (SDカードの録音のみ)

親機：30秒進む

子機： 3さ

● お知らせ ●

- 不要な用件はなるべく消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー容量が少なくなったときは、不要な録音やメモリー受信したファクスを消去(※110ページ)してください。

応答メッセージを選ぶ

留守設定をしているときに、相手の方に流れる応答メッセージを [固定メッセージ1]、[固定メッセージ2]、[自作メッセージ] の3種類から選ぶことができます。

固定メッセージ 1

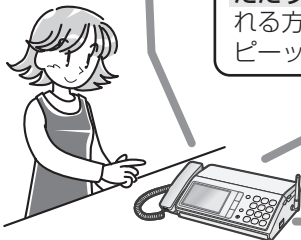
ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。

固定メッセージ 2

ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。

自作メッセージ

自分で録音したメッセージが流れます (88 ページ)。



- 固定メッセージ1は、留守のときにお使いいただけます。
- 固定メッセージ2は、在宅中に電話に出られないときや、留守だと知らせたくないときなどにお使いいただけます。最初は [固定メッセージ2] に設定されています。
- 自作メッセージは、オリジナルのメッセージを使いたいときにお使いいただけます。

ただし、用件の録音やファクス受信ができなくなったときは、メッセージが以下のように変わります。自作メッセージを設定していても、録音やファクス受信ができないときは、固定メッセージが流れます。

設定している応答メッセージ	
「固定メッセージ1」 または 「自作メッセージ」※1	「固定メッセージ2」 または 「自作メッセージ」※2



録音やファクス受信ができなくなったときは、応答メッセージは以下のように変更されます。



ファクス受信：できる 録音：できない (記録紙受信時に、メモリー不足になったときなど)	ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。	ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。
ファクス受信：できない 録音：できる (記録紙受信時に、インクリボンがないときなど)	ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。	ただ今、電話に出ることができません。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。
ファクス受信：できない 録音：できない (メモリー受信設定時に、メモリー不足になったときなど)	着信音が鳴り (25回)、 「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直してください」 (3回)	着信音が鳴り (25回)、 「ただ今、電話に出ることができません。恐れ入りますが後程おかけ直してください」 (3回)
● ただし、リモート操作 (89ページ) の暗証番号が登録されていないと応答しません。		

※1 自作メッセージを選ぶ前に、固定メッセージ1を選んでいた場合

※2 自作メッセージを選ぶ前に、固定メッセージ2を選んでいた場合

1 ^{メニュー}
を押す

3 「録音する」を選び、決定 をタッチする

4 10秒以内に受話器を取る

6 録音が終わったら を押す

7 再生が終わったら をタッチする

8 受話器を戻す

■ 自作メッセージを再生するときは

①  を押す

② [留守番電話の設定] → [応答メッセージ] の順に選ぶ

③ [自作メッセージ] を選んでいる状態で **再生** をタッチする

■ 固定メッセージに変更したいときは

変更したい固定メッセージに設定し直してください。自作メッセージは消去されません。

1 **を押す**

2 [留守番電話の設定] → [応答メッセージ] の順に選ぶ

3 [固定メッセージ1] [固定メッセージ2] [自作メッセージ] のいずれかを選び、 決定 をタッチする

●自作メッセージを録音していないときに[自作メッセージ]を選ぶと録音画面になります。

■ 自作メッセージの内容を変えるときは

①  を押す

② [留守番電話の設定] → [応答メッセージ] の順に選ぶ

③ [自作メッセージ] を選んでいる状態で **録音** をタッチする

④ [する] を選び、**決定** をタッチする

⑤「親機で自作メッセージを録音する」の手順4から操作する

■ 自作メッセージを消去するときは

①  を押す

② [留守番電話の設定] → [応答メッセージ] の順に選ぶ

③ [自作メッセージ] を選んでいる状態で **消去** をタッチする

④ [する] を選び、**決定** をタッチする

●留守応答メッセージを自作メッセージに設定しているときに自作メッセージを消去すると、自作メッセージを選ぶ前に選んでいた固定メッセージが設定されます。

● お知らせ ●

- メモリーがいっぱいになっているときは録音できないことがあります。不要な録音を消去（ 84～85ページ）するか、メモリー受信したファクスを消去（ 110ページ）してください。

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号を登録し、親機を次のように設定しておく必要があります。

- 留守に設定する（☎ 81ページ）
- 留守に設定しないときは、次のいずれかの設定をする
 - ・「在宅時応答回数」を設定する（☎ 197ページ）
（[無制限呼出] に設定しているときはリモート操作できません）
 - ・「ファクス自動受信」を[自動受信する]に設定する（☎ 104ページ）
 - ・受信モードを[ファクス優先]に設定する（☎ 196ページ）
（[ファクス専用] に設定しているときはリモート操作できません）

暗証番号を登録する

- 1 を押す
- 2 [留守番電話の設定] →
[外出先での操作] →
[リモート暗証番号] →
[登録] の順に選ぶ
- 3 4ケタの暗証番号を入力し、 をタッチする
- 4 を押す

- 登録した暗証番号について
- 忘れてしまったとき
番号の確認はできませんので、新しい番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。
- 変更するとき
新しい番号を登録（上書き）します。
- 消去するとき
- ① を押す
 - ② [留守番電話の設定] → [外出先での操作]
[リモート暗証番号] → [消去] →
[消去する] の順に選び、 をタッチする
 - ③ を押す

■ 外出先からリモート操作する

- ① 自宅に電話をかける
- ② 応答メッセージが聞こえている間に[#]を押す
- ③ 暗証番号を入力する
- ④ [#]を押す
- ⑤ 音声メッセージのあと、下記のリモート操作番号を入力する
- ⑥ リモート操作が終わったら電話を切る

録音内容を聞く	[1][#]
早聞きや遅聞きをする（本体メモリーの録音のみ）	再生中に [1][#] （押すたびに「早聞き」→「遅聞き」→「普通」→「早聞き」…）
録音内容を聞き直す	再生中に [3][#]
1件前の録音を聞く	再生中に [3][#][3][#]
次の録音内容を聞く	再生中に [4][#]
止める	再生中に [5][#]
10秒戻す（SDカードの録音のみ）	再生中に [8][#]
30秒送る（SDカードの録音のみ）	再生中に [9][#]
再生済みの録音を消す	停止中に [0][1][#]
録音内容をすべて消す	停止中に [0][2][#] 未再生の録音も消えます。 応答メッセージは消えません。
留守を設定／解除する	停止中に [6][#]

■留守設定時に一般録音の内容を聞くと きは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音だけを一番古いものから順番に再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。

■留守設定せずに一般録音の内容を聞くと きは

※あらかじめ「在宅時応答回数」の設定が必要です（☎ 197ページ）。

留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

再生中の録音よりも古い録音を再生するときは、「1つ前の録音に戻す」（3秒以上再生したあと [3] [#] [3] [#]）の操作で再生できます。

■[トールセーバー]に設定しているときは

[トールセーバー]に設定すると、未再生録音のあり／なしで応答回数が変わります。リモート操作をしなくても未再生録音があるかがわかるため、通話料もかからず便利です。詳しくは、91ページをご覧ください。

●●お知らせ●●●●●●●●●●

- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は1分以内に行ってください。1分以上空けると電話が切れます。
- メッセージを再生中にリモート操作を行った場合に音声と操作音が重なると、正しく動作しないことがあります。そのときは、もう一度やり直してください。
- 留守設定をしているときに留守設定以前の録音を聞きたいときは、89ページの操作で留守を解除してから再生してください。

留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくしん

留守時応答回数を設定する

留守番電話に設定しているときに、応答メッセージが流れるまでの相手の方への応答回数を変更することができます（1回～25回まで）。最初は [4回] に設定されています。

応答回数を7回以上に設定すると、相手の方がファクスを自動送信した場合などに、本商品が自動受信しないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、自動的にファクスを受けたいときは、応答回数を6回以下に設定してください。

1 を押す

2 [留守番電話の設定] → [留守時応答回数] → [応答回数を変更する] の順に選ぶ

- 「トールセーバー」（ 右記）を設定しているときは、「応答回数を変更するとトールセーバーは解除されます」と表示されます。そのまま続けるときは「トールセーバーを解除」を選んでください。

3 で応答回数（1～25回）を選び、 をタッチする

<回数入力>
留守時応答回数 = 3回

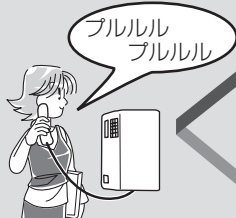
設定範囲は1回から25回です
+-で選択できます

4 を押す

■ トールセーバーの使いかた

外出先から電話をかける → メッセージがあるとき：呼出音2回で着信
メッセージがないとき：呼出音5回で着信



2回目の呼出音で
応答メッセージが鳴ったら
新しい録音があります。

3回目以降、呼出音がある
と、新しい録音は
ありません。



そのままりモート操作を
行ってください。



つながる前に電話を切れば、
リモート操作をする手間が
省け、電話代が節約できます。

トールセーバーに設定する

トールセーバーに設定すると、外出先からリモート操作（ 89ページ）をするときに、新しい録音があるかないかを呼出回数で確認できます。はじめは [使用しない] に設定されています。

1 を押す

2 [留守番電話の設定] → [外出先での操作] → [トールセーバー] → [使用する] の順に選ぶ

3 画面の表示を確認して [はい] を選び、 をタッチする

4 を押す

■ トールセーバーを解除するとき

① を押す

② [留守番電話の設定] → [外出先での操作] → [トールセーバー] → [使用しない] の順に選び、 をタッチする

③ を押す

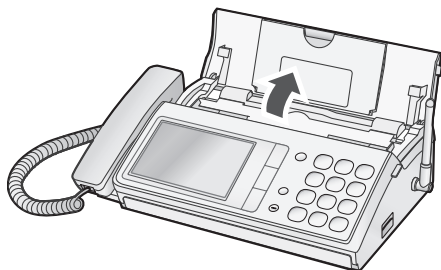
ファクスを送る

親機でお話してからファクスを送る

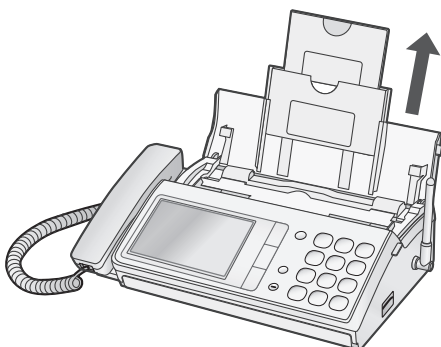
親機で電話をかけて、相手の方とお話してからファクスを送るときの操作です。

最初に  を押して「ファクスを送る」をタッチすると、下記の操作の案内を画面で見ながら操作できます。

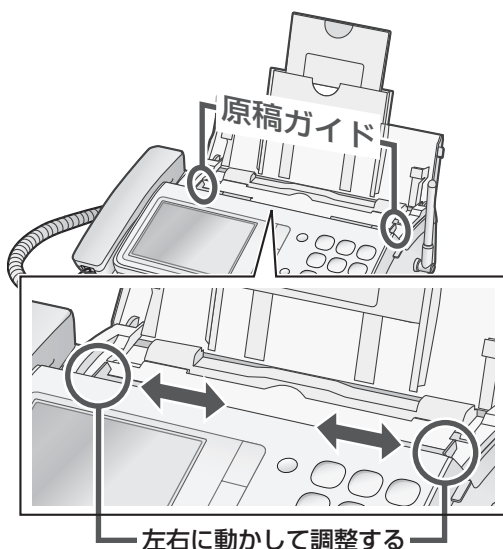
1 記録紙トレイを開ける



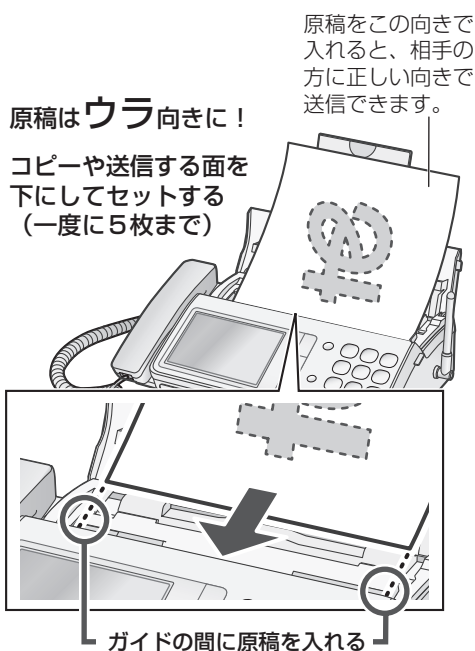
2 延長トレイを引き出す



3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



4 原稿をセットする



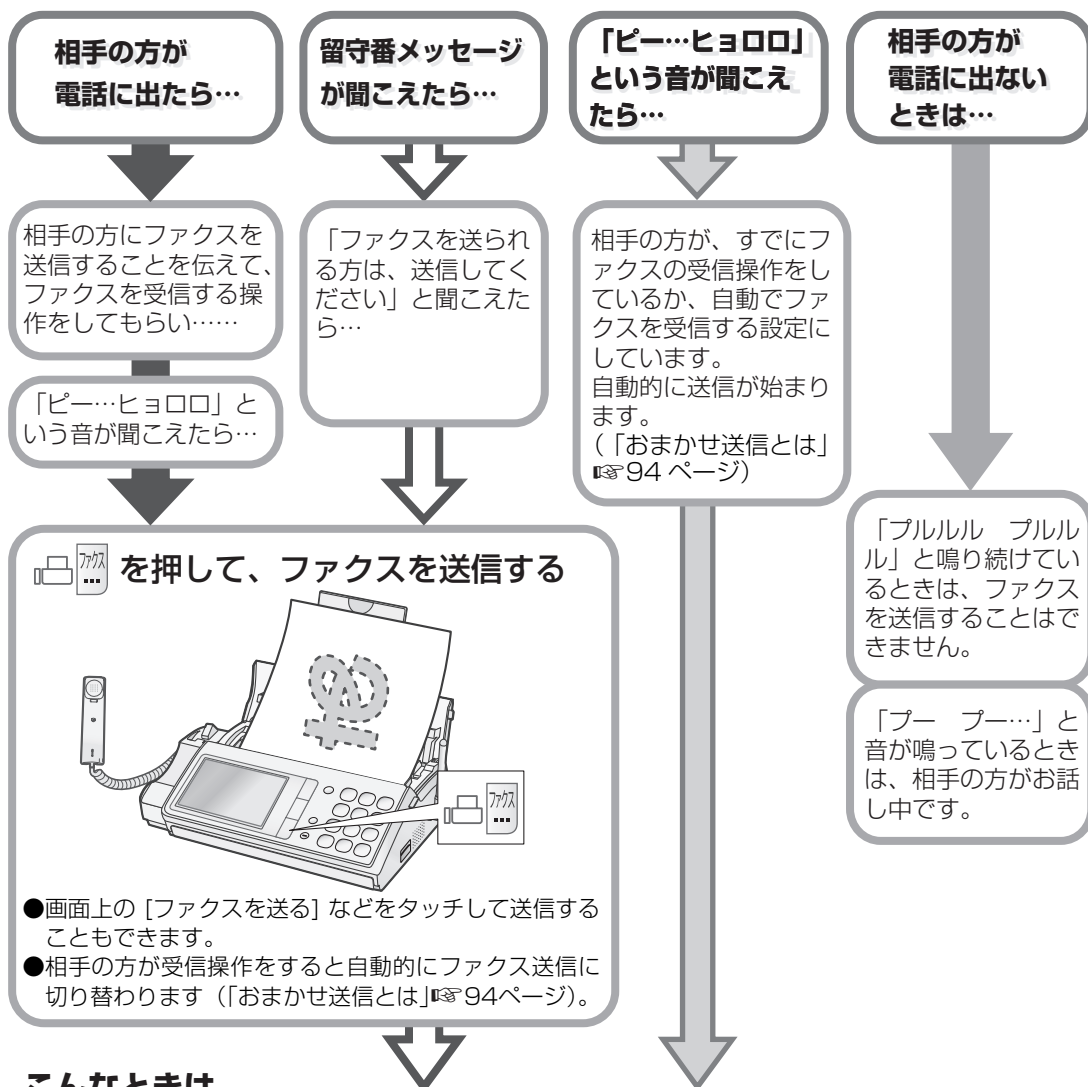
- セットできる原稿の条件や読み取れる範囲については97ページをご覧ください。
- 原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

5 電話をかける (☎ 50～51ページ)

- 送信前に画質を選ぶことができます (☎ 96ページ)。画質を「精細」や「写真」にすると、通信時間が長くなります。

次ページへ

6 ファクスを送る



こんなときは

相手の方のファクスの状態によっては、「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえないときや、こちらのファクス送信が完了していても、相手の方に送られないときがあります。

- 例)
- 相手の方のファクスが用紙切れ、インクリボン切れ、受信メモリー不足になっているとき
 - 相手の方のファクスが受信できない設定になっているとき (ファクスを自動で受信できない留守番電話など)
 - 相手の方がファクス機能のない電話機などをお使いのとき

7 受話器を戻す

- 送信が始まります。
- 送信が終わると「ファクスを送信しました」と音声でお知らせします。
- 途中でやめるときは 停止 を押します。原稿がつまった状態になります。

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

以下のようなときは、ファクスを送信することができません。

- ・相手の方が、自動でファクス受信になる設定をしていないとき
- ・相手の方が、ファクス受信の操作をしていないとき
- ・相手の方が電話に出ないとき

など

こんなときは、相手の方とお話ししてからファクスを送信してください(☎92～93ページ)。

1 原稿をセットする (☎92ページ 手順 1～4)

2 ダイヤルする

- 電話帳・再ダイヤル・着信記録・ワンタッチダイヤルを使うときは、右記をご覧ください。
- 相手の方が自動受信(音声応答なし)に設定されていると、こちら側には「ピー…ヒョロロ」という音と、「ファクスを送信します」というメッセージが聞こえ、自動的にファクスを送信します(「おまかせ送信とは」☎94ページ)。

3 を押す

- 画面上的「ファクスを送る」や「ファクス送信」をタッチして送信することもできます。
- 送信が始まります。
- 途中でやめるときは  を押します。原稿がつまった状態になります。

■関連操作

- 原稿を取り出すときは(☎94ページ)
- 原稿がつまったときは(☎186～187ページ)

■海外へファクスを送るときは

ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。
(ひかり電話をご利用のときは、「電話会社の識別番号」は不要です)

■電話帳・再ダイヤル・着信記録・ワンタッチダイヤルでファクスを送るときは

① 原稿をセットする(☎92ページ 手順 1～4)

②  を押す

③ 「ファクスを送る」をタッチする

④ 電話帳・再ダイヤル・着信記録・ワンタッチダイヤルのいずれかから相手先を選ぶ

⑤ 「ファクスを送る」や「ファクス送信」をタッチする
送信が始まります。

●相手の方とお話ししてから送りたいときは、92～93ページをご覧ください。

●お知らせ●

- 国際通話や国際通信については、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
- 本商品には、自動的に再ダイヤルしてファクスを送り直す機能はありません。
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど、「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎92～93ページ)の方法で送信してください。

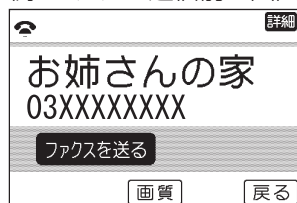
ファクス／コピーするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

1 ファクス送信やコピー実行の前に **画質** をタッチする

- ファクスでは番号入力時、コピーでは原稿セット時に **画質** が表示されます。

例：ファクス送信前の画面



2 設定したい画質をタッチする



【普通字】【普通字：濃く】

文字が大きくはっきり見えるときに選びます。



【精細】【精細：濃く】

【普通字】の4倍の密度で読み取ります。細い線を使った図面や、さらに小さな字のときに選びます。受信側に【精細】がないときは、自動的に【小さな字】に切り替わります。



【小さな字】【小さな字：濃く】

【普通字】の2倍の密度で読み取ります。文字が小さな字のときに選びます。画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。



【写真】【写真：濃く】

濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。



- 原稿の文字などが薄いときは、各画質の【：濃く】を選びます。
- タッチして画質を選ぶと、元の画面に戻ります。

- ◆画質を選ばなかった場合は、ファクス送信のときは【普通字】、コピーのときは【小さな字】に設定されます。
- ◆コピーのときは、【普通字】（【普通字：濃く】）を選んでも、【小さな字】（【小さな字：濃く】）に設定されます。

使用できる原稿

■セットできる原稿のサイズ

幅: 148mm ~ 210mm

長さ:128mm ~ 500mm

厚さ:0.06mm ~ 0.18mm

●厚さのめやす

新聞紙：約0.05～0.06mm

上質紙：約0.10mm

■ 原稿を読み取れる範囲

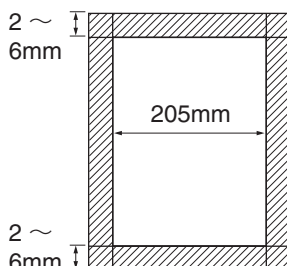
原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。

原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

●最大読み取り幅
205mm

●最大読み取り長

送信原稿長 (128 ~ 500mm) から上下とも
2 ~ 6mm を引いた長さ



■一度に2枚以上セットできない原稿

●長さ 297mm を超える原稿

●厚さ 0.12mm を超える原稿

●厚さや大きさの異なる原稿

■そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってから
セットしてください。そのままセットすると、故
障の原因になります。

●セットできる原稿のサイズより小さすぎるもの（写真など）

●フィルム状のもの、透明のもの

●紙の厚さが薄すぎるもの

●しわ、破れ、折り目やソリのあるもの

●裏カーボン紙、感熱紙など

●コーティングされているもの

●ヤロハンテープや糊で別の紙を貼ったもの

●お知らせ

●クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。

●糊や修正液、ボールペンのインクなどをご利用の用紙はできる限りご使用にならないでください。使用する場合は、よく乾かしてください。読み取れなかったり、紙つまりの原因になることがあります。また、原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。汚れたときは182～185ページをご覧ください。清掃してください。

●小さい原稿を送信するときに使用するキャリアシートはご使用になれません。

ファクスの受けかたを選ぶ

お使いの状況に合わせて、いろいろなファクスの受信方法を選ぶことができます。ファクスを自動で受けるときは設定が必要です。

電話に出してからファクスを受ける (お買い求め時の設定)

電話に出て相手の方とお話したあと、ファクスに切り替えて受信します。
この設定では、いったん電話に出ないとファクスを受けられません。

もっと詳しく  101ページ



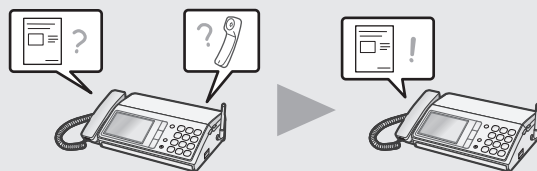
着信音が鳴ったら…

ファクスを自動で受ける (設定が必要です)

自動でファクスを受ける方法は、主に以下の3通りです。設定すると自動でファクスを受けることができますので、お使いの状況に応じて設定してください。

● 在宅時に電話に出られなくても自動でファクスを受ける (自動受信)

着信音が鳴ったあと、本商品が自動的に着信を受け、電話かファクスかを判別します。ファクスの場合は自動で受信し、電話の場合は、いったん着信音が止まったあと、再び着信音を鳴らして呼び出しを続けます。



もっと詳しく / 設定のしかた  103~104ページ



着信すると…

● 留守時にファクスを自動で受ける (留守設定)

留守設定にすると、自動応答したあとファクスの受信や用件の録音をします。

もっと詳しく / 設定のしかた  81ページ



着信すると…

● ファクス専用にする (ファクス専用) <相手の方とお話しはできません>

ファクス受信専用でお使いになりたい方におすすめです。
電話を受けることはできません。

設定のしかた  196ページ



電話に出る

相手の方の用件が電話なら

そのままお話しする

相手の方にファクスを送ると言われたら

ファクス受信の操作をする

親機：

子機： → [FAX 受信] → 

「ポー・ポー・ポー」という音が聞こえたら

着信音が3回^{※1}鳴る
(回数は変更できません)

※1 着信音の種類によつては、回数は異なることがあります。

本商品が自動で受ける
(約5秒間、着信音が止まります) ※2

※2 このときから相手に通話料金がかかります。

ファクスのときは、自動受信する

電話のときは、さらに着信音が鳴る

着信音は「電話ベル音」になります。



ブルルルル...

 : この間に電話に出ると、お話しできます。

着信音が4回^{※3}鳴る
(回数は変更できます)

※3 着信音の種類によつては、回数は異なることがあります。

ただ今、留守に...



本商品が自動応答してメッセージが流れる

ファクスのときは、自動受信する

「ピー」と発信音が鳴る

電話のときは、用件を録音する

『〇〇です。明日の予定ですが...』



 : この間に電話に出ると、お話しできます。

ファクスを受信したときの印刷のしかた

ファクスを受信したときの印刷のしかたは、次の3通りです。お買い求め時は、**[見てからプリント]** に設定されています。

変更するときは特別設定メニューの「受信モード」(196ページ) で設定します。

見てからプリント	受信したファクスをディスプレイに表示させることができます。内容を確認してから、必要なファクスだけを印刷できるので、記録紙やインクリボンを節約できます。	受信したファクスは、メモリーに保存されますので、メモリーがいっぱいになると受信できません。また、自動的に印刷はしません。
メモリー受信	ファクスをメモリー受信したあと自動的に記録紙に印刷します（あらかじめ記録紙をセットしている場合）。記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスがメモリーに保存されます。	メモリーがいっぱいになると受信できません。
記録紙受信 (事前に記録紙を セットしておきます)	ファクスを自動的に記録紙へ印刷します。メモリーの残量にかかわらずファクスを受信することができます。	記録紙やインクリボンの残量がなくなったときは受信できません。

メモリー受信とは
送られてきたファクスを直接記録紙に印刷せずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

メモリー受信枚数・受信件数について

- 本体メモリーを使用するときは、A4 サイズの当社標準原稿（英字で文字数が 700 字程度 の原稿）を [普通字] で約 52 枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります（最大約 60 枚または 30 件まで）。
- SD カードを使用するときは、1 件につき最大 99 枚、スキャン（読み取り）した画像データと合わせて最大 1200 件まで受信することができます（SD カードの空き容量により異なります）。
- 受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（[通信エラー（1～15）] がありました] と表示されます）。メモリー受信した内容を印刷または消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。また、「ファクス受信方法」(196ページ) の操作で [記録紙受信] に設定しておく、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

親機のファクス/録音メモリーの残量を確認するには（ファクス/録音メモリー残量表示）

- ①  を押す
- ② [メモリー残量の表示] を選び、 をタッチする
- メモリー残量が表示されます。表示は約5秒で自動的に消えます。

お知らせ

- メモリー受信（記録紙をセットしていない場合）と見てからプリントでは、受信したファクスはメモリーに残り、手動で印刷したあとに残すことができます。メモリー受信（記録紙をセットしている場合）では、受信したファクスは自動的に印刷されたあと、消えます。
- ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号を印刷するため、全体を約93%に縮小します。縮小しないで印刷したいときは「縮小受信」(197ページ) の設定を [なし] にします。ただし、[なし] に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に1対1にならない場合があります。また、1枚でおさまらない（2枚に分けて印刷される）場合もあります。

電話に出たらファクスを受ける

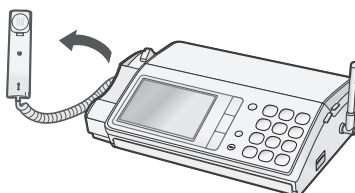
相手の方とお話したあと、ファクスに切り替えることができます。

お買い求め時、着信音の回数は「無制限呼出」になっていますので、ご不在のときは自動でファクスを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをおすすめします。

親機で電話に出たらファクスを受ける

原稿がセットされているときに  を押すと送信になりますので、原稿はセットしないでください。

1 着信音が鳴ったら受話器を取る

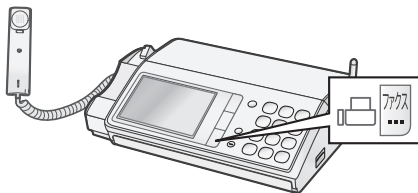


2 受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら…

相手の方がファクス送信の操作をしているので、そのまま  を押す

相手の方が「ファクスを送りたい」と言ったら…

相手の方がファクス送信の操作をしたら、 を押す

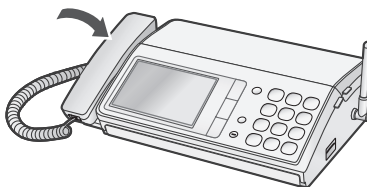


●「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。受話器を戻してください。」とメッセージを流して自動的にファクスを受信することができます（おまかせ受信）。解除するときは197ページをご覧ください。

●こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が動きません。

●おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、 を押してください。

3 受信が始まるので、受話器を戻す



●ファクスを受信すると、自動的に電話が切れます。

電話に出してからファクスを受ける

■ 子機で電話に出してからファクスを受ける

- ① 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ②  を押す
- ③ 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら…
相手先でファクス送信の操作をしています。

 を押し、 で [FAX受信] を選んで

 を押す

相手先からファクスが送信されたら…

相手の方がファクス送信の操作をしたあと、

 を押し、 で [FAX受信] を選んで

 を押す

録音でお断り
FAX送信
FAX受信

- ④ 子機を充電器に戻す

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 「ファクス受信方法」(P.196ページ) の設定によって、受信したファクスの保存や印刷方法が変わります。

【見てからプリント】：

記録紙をセットしていなくても、親機のメモリーまたはSDカードに記録されます。

必要に応じて印刷してください。

【メモリー受信】：

記録紙をセットしているときは、ファクスを印刷します。記録紙がないときは親機のメモリーまたはSDカードに記録されます。

【記録紙受信】：

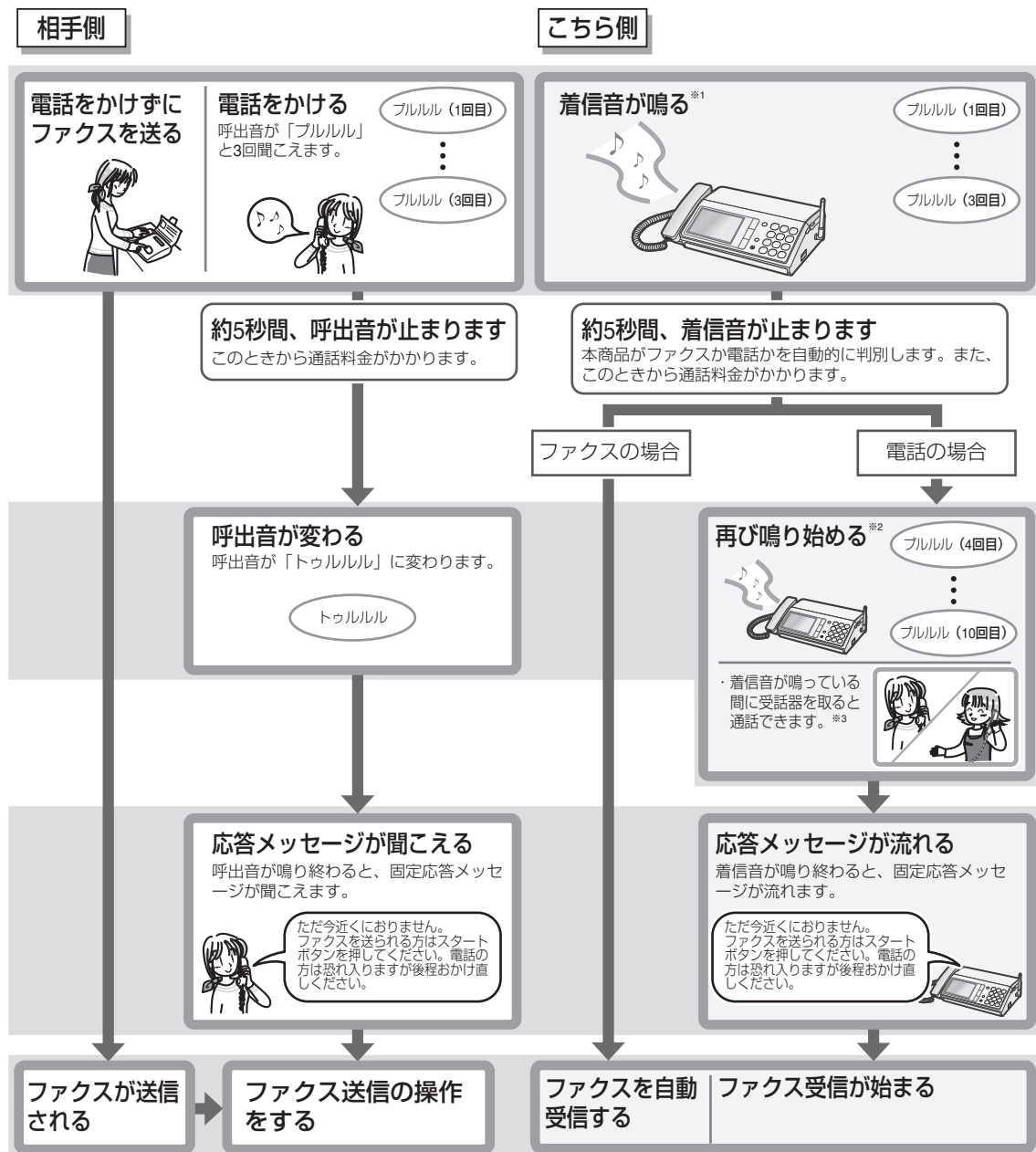
記録紙をセットしていないとファクスを受信することができません。

- 受話器を取るだけで本商品が自動受信することもあります (P.101ページ)。
- キャッチホンをご利用のときは、通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- 印刷中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話してください。
- 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたときは、電話を受けても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを確認してから、親機、または子機のファクス受信操作を行ってください。

ファクス自動受信を設定する

一定の回数の着信音が鳴っている間に電話に出られないときは、自動的にファクスを受信（ファクス自動受信）するように設定できます。お買い求め時は、ファクス自動受信は「しない」（着信音が鳴り続ける設定）に設定されています。

●下記は、「ファクス自動受信」を「自動受信する」、「呼出回数」を「10回」に設定したときの動作です。



※1 この回数を変更できません。

※2 このときの着信音は「電話ベル音」になります。応答メッセージが流れるまでの呼出回数は変更できません（☎ 104ページ）。

※3 相手の方が電話の場合、着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。

2 [ファクスの受け方] を選ぶ



4 「自動受信する」を選ぶ

●ここで設定する呼出回数は、応答メッセージが流れるまでに鳴る着信音の回数です。

●[自動受信する] に設定すると、ディスプレイに
ファクス自動 と表示されます。

- インクリボンを交換する (☞ 37～38ページ)
- 録音を消去する (☞ 84～85ページ)
- 受信ファクスを消去する (☞ 110ページ)

以降は表示される質問の答えを選んでガイドを進めてください。最後まで進めると、ファクス受信方法が設定されます。

●相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをお使いのときや、スタートボタンを押さなかったときは自動受信できません。このときは、受話器を取ってから受信してください。

受信したファクスをディスプレイで見る (見てからプリント)

受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。メモリー受信したファクスがあるときは、ディスプレイに [受信ファクスがあります [ファクス]を押す] と表示され、 のランプが点滅します。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

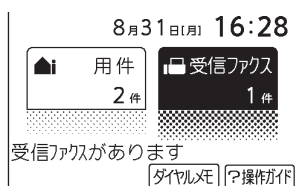
こまだったときは

ご参考に

さくしん

受信したファクスをディスプレイに表示する

1 待受画面で受信ファクスの件数表示をタッチする



-  を押したあと [ファクスを見る] をタッチして受信ファクスの選択画面を表示することもできます。

2 表示したい受信ファクスをタッチする

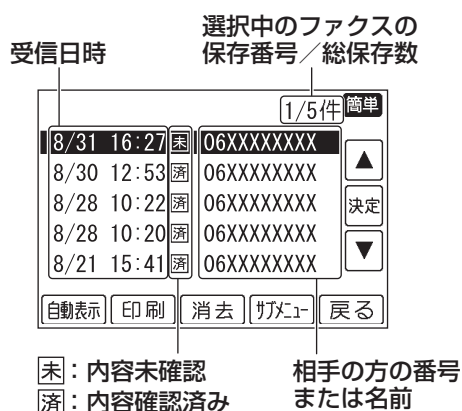


- 受信日時と送信元の番号または名前が表示されます。内容を確認していないファクスには **未** と表示されます。
- **詳細** をタッチすると詳細メニューになり、受信ファクスを一覧表示できます (☞右記)。
- 表示した受信ファクスの見かたについては、107ページをご覧ください。

3 確認が終わったら を押す

■ ファクスの詳細メニューについて

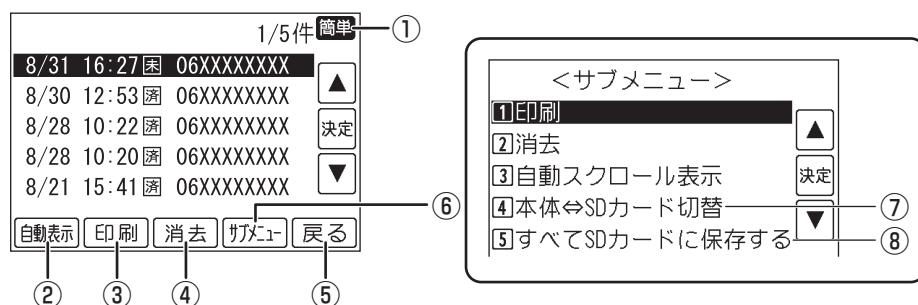
受信したファクスが以下のように一覧で表示されます。詳細メニューでできることについては、106ページをご覧ください。



■ 関連操作

- 受信ファクスを印刷するときは (☞113 ページ)
- 受信ファクスを消去するときは (☞110 ページ)

ファクスの詳細メニューでできること



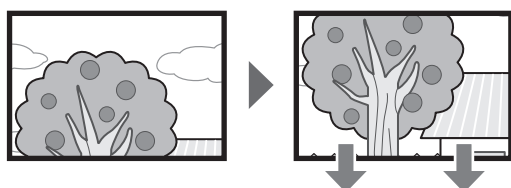
① 簡単

ファクスの簡単メニューに切り替えます。

② 自動表示（自動スクロール）

[自動表示] をタッチすると、選択している受信ファクスを表示したあと、下方向へ自動的に表示がスクロールします。

画面表示(例)



画面下までスクロールすると、次ページがある場合はそのまま次ページを表示して、自動スクロールをくり返します。次ページがない場合や、最後のページまで来たときは、1ページ目の先頭に戻ってスクロールを停止します。

途中でやめるときは [中止] をタッチしてください。そのあと [戻る] をタッチすると、一覧画面に戻ります。

[メニュー] をタッチして [自動スクロール表示] を選んでも、同様の動作をします。

③ 印刷

選択した受信ファクスを印刷します。記録紙をセットしておいてください（☞112ページ）。

[メニュー] をタッチして [印刷] を選んでも、同様の動作をします。

④ 消去

受信ファクスを消去します（☞110ページ）。

[メニュー] をタッチして [消去] を選んでも、同様の動作をします。

⑤ 戻る

待受画面に戻ります。

⑥ サブメニュー

サブメニュー画面を表示します。メニューを押して表示することもできます。実行したい項目をタッチしてください。

⑦ 本体⇄SDカード切替

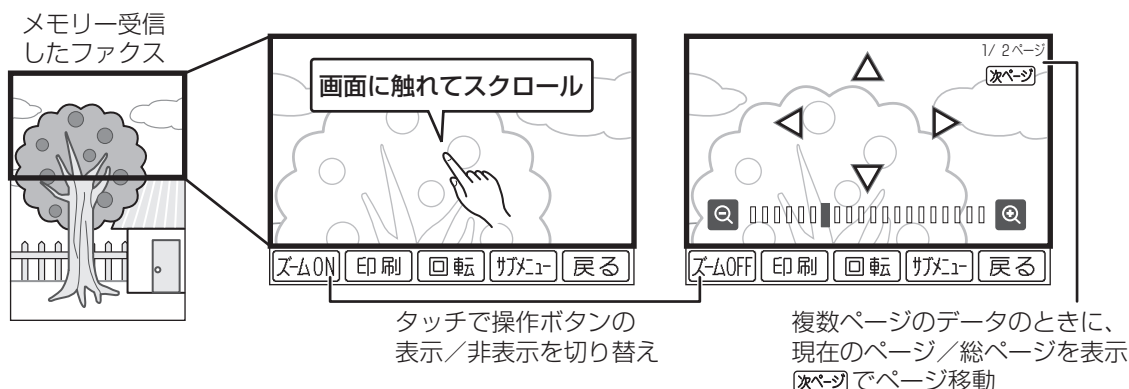
受信ファクスを読み込むメモリーを切り替えることができます（☞108ページ）。

⑧ すべてSDカードに保存する

受信ファクスデータを、すべてSDカードにコピーします（☞108ページ）。121ページの操作でも、同じようにコピーができます。

受信ファクスを表示してからできること

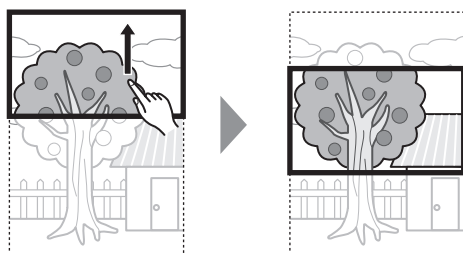
受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。表示している部分をスクロールしたり、拡大、縮小したりすることができます。



■表示を動かす

画面にタッチしたまま指を動かすと、画面がスクロールします。

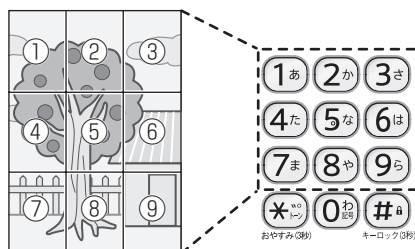
例：表示を下へスクロールする



「ズームON」をタッチして操作ボタンを表示しているときは、△▽◀▶のいずれかをタッチすると、対応した方向へ表示がスクロールします。また、「回転」をタッチすると表示が右回りに90度ずつ回転します。

■表示位置を変える

拡大表示中にダイヤルボタンを押すと、以下のように、ボタンに対応した場所をダイレクトに表示します。



また、「#」を押すと表示を拡大、「*」を押すと縮小します。

■表示を拡大／縮小する

🔍 🔍 をタッチすると、表示倍率の拡大／縮小ができます。目盛りの上をタッチすると目盛りに対応した倍率に変わり、「🔍 🔍」をタッチすると1段階ずつ変わります。

■印刷する（🖨️ 113ページ）

■サブメニューを使う

「ギャラリー」をタッチすると、サブメニュー画面が表示されて以下の機能を使用できます。

- ① [次ページ]：次のページを表示します。
- ② [見たままプリント]：🖨️ 114ページ
- ③ [印刷]：🖨️ 113ページ
- ④ [ファクス送信]：📠 109ページ
- ⑤ [消去]：🗑️ 110ページ
- ⑥ [横ピッタリ]：現在のファクスの横幅を画面サイズに合わせて表示します。
- ⑦ [自動スクロール]：🔄 106ページの②

■関連操作

- 受信ファクスを消去する（🗑️ 110ページ）
- 表示中のファクスを転送する（📠 109ページ）

受信したファクスをディスプレイで見る（見てからプリント）

■ メモリー受信枚数・受信件数について

- 本体メモリーを使用するときは、A4 サイズの当社標準原稿（英字で文字数が 700 字程度の原稿）を [普通字] で約 52 枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります（最大約 60 枚または 30 件まで）。
- SD カードを使用するときは、1 件につき最大 99 枚、スキャン（読み取り）した画像データと合わせて最大 1200 件まで受信することができます（SD カードの空き容量により異なります）。
- 受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

■ メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「通信エラー（1～15）」と表示されます）。メモリー受信した内容をプリント／消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。

また、「ファクス受信方法」（☞ 196 ページ）の操作で「記録紙受信」に設定しておく、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

■ 受信ファクスデータをSDカードに保存するには

本体メモリーに保存されている受信ファクスデータをすべてSDカードに保存することができます。詳しくは 121 ページをご覧ください。

- ① SDカードがセットされていないときは、セットする（☞ 119 ページ）
- ②  を押す
- ③ [ファクスを見る] をタッチする
- ④ 詳細メニュー（☞ 106 ページ）になっていないときは **詳細** をタッチする
- ⑤ **サブメニュー** をタッチする
- ⑥ [すべてSDカードに保存する] を選び、**決定** をタッチする
- ⑦ [完了しました] と表示されたら  を押す

■ 表示する受信ファクスの読み込み先を切り替えるには

見てからプリントを使用するときは、「ファクス／録音メモリー設定」で設定した保存先のデータを表示します。

「本体メモリー」設定時に「SDカード」のデータを確認するときや、「SDカード」設定時に「本体メモリー」のデータを確認するときは、読み込み先を変更してください。

- ① SDカードがセットされていないときは、セットする（☞ 119 ページ）
- ②  を押す
- ③ [ファクスを見る] をタッチする
- ④ 詳細メニュー（☞ 106 ページ）になっていないときは **詳細** をタッチする
- ⑤ **サブメニュー** をタッチする
- ⑥ [本体⇄SDカード切替] を選び、**決定** をタッチする
- この操作では保存先は切り替わりません。保存先を切り替えたいときは、「ファクスと録音データの保存先を変更するには（ファクス／録音メモリー設定）」（☞ 119 ページ）をご覧ください。

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- A4 サイズの長さを超える部分は表示できません。送信元の原稿が A4 サイズより長くなるときは、2 ページに分けての送信などをご依頼ください。
- メモリー受信したファクスによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。
- ディスプレイの表示どおりに印刷されないことがあります。
- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
- 見てからプリントを操作しているときは、子機を使用することができません。
- 「ファクス受信方法」（☞ 196 ページ）の操作で [メモリー受信] に設定したあと、記録紙やインクリボン切れなどでプリントできなかったときは、「見てからプリント」機能と同じ操作で内容を確認できます（待受画面に [メモリー受信] と表示されます）。
- SDカードの読み込みやデータの保存に時間がかかることがあります。異常ではありません。

保存した受信ファクスデータを消去する

1 待受画面で受信ファクスの件数表示をタッチする

-  を押したあと [ファクスを見る] をタッチして受信ファクスの選択画面を表示することもできます。

2 消去したい受信ファクスを選ぶ（詳細メニューで選んだ状態、内容を表示した状態のどちらでも可）

- 受信ファクスデータを読み込むメモリーを変更したいときは、108ページをご覧ください。

3 詳細メニューで選んでいるときは を、内容を表示しているときは → [消去] の順にタッチする

4 [選択した受信ファクスを消去] を選ぶ

5 をタッチする

■ 確認済みの受信ファクスを消去するときは

保存先のメモリー（本体メモリーまたはSDカード）にあるファクスを消去できます。

ほかの保存先にあるファクスを消去したいときは、あらかじめ保存先を変更（ 119ページ）してから操作してください。

- ①  を押す
- ② [各種全消去] → [確認済み受信ファクス] → [消去する] の順に選び、 をタッチする

または

- ① 受信ファクスのサブメニューで [消去] → [確認済み受信ファクスを消去] の順に選び、 をタッチする
- ②  をタッチする

■ すべての受信ファクスを消去するときは

ファクス／録音データの保存先に設定しているメモリー（本体メモリーまたはSDカード）にあるファクスを消去できます。

保存先に設定していないメモリー内のファクスを消去したいときは、あらかじめ保存先を変更（ 119ページ）してから行ってください。

- ①  を押す
- ② [各種全消去] → [受信ファクス] → [消去する] の順に選び、 をタッチする

または

- ① 受信ファクスのサブメニューで [消去] → [受信ファクスを全消去] の順に選び、 をタッチする
- ②  をタッチする

● **お知らせ**

- この商品は16Hzでのみ対応しています。
- 電話帳ダイヤルを利用してFネットに対してファクスを送信するときには、Fネットの電話番号の161のあとに必ずポーズ（待ち時間）を2個以上挿入してください。

- 112

表示中の受信ファクスを、ディスプレイに表示された部分のみ印刷する（見たままプリント）

見てからプリントで受信ファクスを表示中に、ディスプレイに表示されている部分のみを印刷することができます。

1 記録紙をセットする（☞ 112ページ）

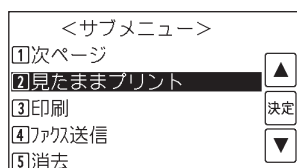
2 「見たままプリント」したい受信ファクスを表示する（☞ 105ページ）

3 印刷したい部分を表示する

- 受信ファクスを読み込むメモリーを変更したいときは、108ページをご覧ください。

4 サブメニュー をタッチする

5 [見たままプリント] を選ぶ



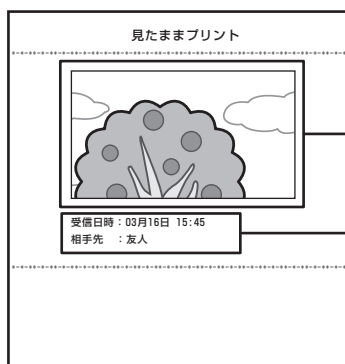
6 [画面のサイズで印刷] [A4ヨコ幅にあわせて印刷] [A4タテ幅にあわせて印刷] のいずれかを選ぶ

7 [印刷する] をタッチする

- 印刷が始まります。印刷を中止するときは  を押します。

■印刷される内容について

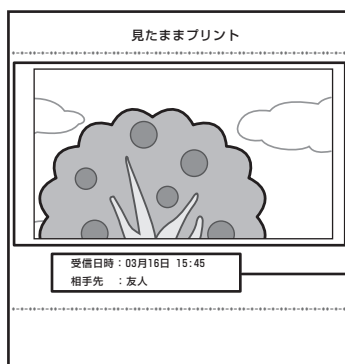
- 画面のサイズで印刷



画面上に表示した画像を印刷します

受信ファクスの情報を印刷します

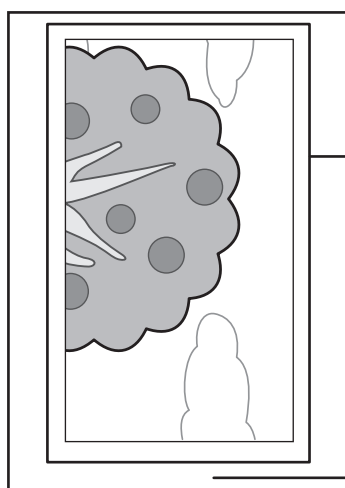
- A4 ヨコ幅にあわせて印刷



画面上に表示した画像を、横幅いっぱいまで拡大して印刷します

受信ファクスの情報を印刷します

- A4 タテ幅にあわせて印刷



画面上に表示した画像を、縦幅いっぱいまで拡大して印刷します

受信ファクスの情報は印刷されません。

SDカードを取り付ける／取り外す

SDカードを使って、録音やファクス、本商品でスキャンしたデータを保存したり、電話帳のバックアップを取ったりすることができます。

SDカードは付属していませんので、別途お買い求めください。

使用できるSDカードについて

本商品では、以下のタイプのSDカードをご使用ください。

SDメモリーカード、miniSDカード※、microSDカード※	最大2GBまで
SDHCメモリーカード、miniSDHCカード※、microSDHCカード※	最大32GBまで

※ 本商品との接続には、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

当社で動作確認済みのSDカード

メーカー	型番(容量)	
株式会社アイ・オー・データ機器	SD-F1G (1GB) SD-F2G (2GB)	SDH-F4G (4GB) SDH-F8G (8GB) SDH-F16G (16GB)
東芝 セミコンダクター社	SD-B001GT4 (1GB) SD-B002GT4 (2GB)	SD-C04GT2 (4GB) SD-C08GT2 (8GB) SD-C16GT4 (16GB) SD-C32GT4 (32GB)
トランセンドジャパン株式会社	TS1GSDC (1G) TS2GSDC (2G)	TS4GSDHC6 (4G) TS8GSDHC6 (8G) TS16GSDHC6 (16G) TS32GSDHC6 (32G)

- ・上記の情報は、すべてのケース・条件での動作を保証するものではありません。
- ・このリストにある製品でも使用環境の違いや条件によっては、本商品の動作にも違いが生じる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・弊社は、本リストの内容または本リストを使用した結果についていかなる保証・表明または約束も行っておりません。
- ・このリストに記載されている以外の最新の動作確認済みSDメモリーカードについては下記URLをご覧ください。
【NTT東日本エリア】 <http://web116.jp/shop/goods/268sd/sd.html>
【NTT西日本エリア】 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/consumer/home/268sd/sd.html>

●お知らせ

- 本書では、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード、SDHCメモリーカード、miniSDHCカード、microSDHCカードをまとめた総称として「SDカード」と呼んでいます。
- SDカードは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
- SDメモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSDTM、miniSDHCTM、microSDTM、microSDHCTMはSDアソシエーションの商標です。
- マルチメディアカードは、本商品では使用できません。

SDカードの取り扱いについて

■SDカードは大切にお使いください

SDカードの登録内容は、使いかたを誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してすることがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。

なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■miniSD (miniSDHC) カードや microSD (microSDHC) カードを本商品に接続するには

それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。アダプターを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなることがありますのでご注意ください。また、アダプターによって規格が異なりますので、アダプターの取扱説明書をお確かめのうえ、規格に合ったスロットに接続してください。

■書き込み禁止スイッチについて

SDメモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」が付いています。「LOCK」側にすると、データの消去や登録ができなくなります。

SDメモリーカード：

スイッチを下へずらすとロックされます。



- SDカードを本商品に取り付けるとき、ななめから入れると、本商品に引っかかり、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にずれることがあります。引っかからないようにまっすぐ挿入してください。

よく
し
て

ご
使
用
の
前
に

電
話
・
電
話
帳

留
守
番

フ
ァ
ク
ス

印
刷
コ
ピー

S
D
カ
ー
ド

便
利
な
機
能

ナ
ン
バー
・
デ
ィ
ス
ク
レ
ィ
フ

こ
ま
じ
つ
な
い
と
き
は

ご
参
考
に

さ
ぐ
い
ん

SDカードを使ってできること

SDカードを使用すると、以下の機能がご使用になれます。

スキャン（原稿保存）機能

○スキャンデータの保存：

原稿をスキャンしてSDカードに保存できます（TIFF形式とJPEG形式の2種類のデータが保存されます）。1件あたり最大99枚、受信ファクスデータと合わせて最大1200件まで保存できます（SDカードの空き容量によって変わります）。

録音データの保存

○録音データの保存：

留守録音などの音声録音データの保存場所をSDカードに指定できます。録音時間は1件あたり最大約60分、件数は最大1200件まで録音できます（SDカードの空き容量によって変わります）。また、本体メモリーに保存されている留守録音などをSDカードに保存できます（WAV形式で保存されます）。保存したデータは、本商品やパソコンなどで再生することができます。

ファクス機能

○受信ファクスデータの保存：

受信ファクスのデータの保存場所をSDカードに指定できます。1件あたり最大99枚、スキャンデータと合わせて最大1200件まで保存できます（SDカードの空き容量によって変わります）。SDカードで保存する場合は、TIFF形式とJPEG形式の2種類のデータが保存されます。また、本体メモリーに保存されている受信ファクスをSDカードに保存できます。保存したデータは、本商品やパソコンなどで確認したり、印刷したりすることができます。

電話帳

○携帯電話の電話帳データの読み込み：

携帯電話の電話帳データをSDカードに保存し、それを読み込んで親機の電話帳に登録できます（P.122ページ）。

○電話帳データの保存：

本商品で登録した電話帳データをSDカードに保存することができます。保存した電話帳のデータは、あとで本商品に戻すことができます。

SDカードの容量と保存データのめやす

SDカードの容量	音声 最大録音時間	原稿・ファクス 最大保存枚数
32GB	約1,120時間	約118,800枚
16GB	約560時間	約80,000枚
8GB	約280時間	約40,000枚
4GB	約140時間	約20,000枚
2GB	約72時間	約10,000枚
1GB	約36時間	約5,000枚

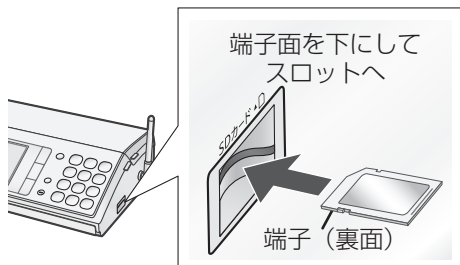
- ・ 録音と、原稿や受信ファクスのデータと一緒に保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・ 他のデータが保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・ 原稿や受信ファクスの内容によって、保存枚数は変わります。

●お知らせ●

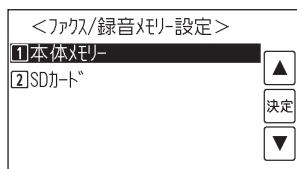
- パソコンなど、本商品以外の機器で作成したデータの表示やファクス送信はできません。
- SDカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。異常ではありません。
- SDカードへのデータ保存は、データの大きさによっては時間がかかることがあります。異常ではありません。

SDカードを取り付ける

1 裏表を間違わないように、SDカードスロットへ挿入する



- SDカードをななめから挿入すると、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にずれることがあります。SDカードは、奥で止まるまでまっすぐ挿入してください。

2 ファクスと録音データの保存先を[本体メモリー]または[SDカード]から選び、**決定**をタッチする

- SDカードを取り付けたときの状態によっては、この画面は表示されないこともあります。
- 設定した保存先は、待受画面の上部にアイコンで表示されます。
本体メモリー: SD保存 SD カード: SD保存 SD
本商品がSDカードにアクセスしているときは、アイコンが点滅します。点滅中はSDカードを取り外さないでください。ファイルが開けなくなったり、SDカードが破損するおそれがあります。

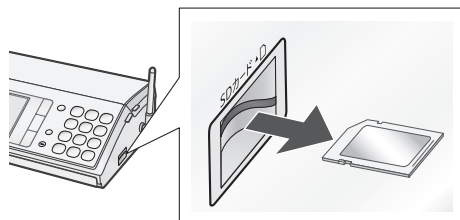
■ ファクスと録音データの保存先を変更するには (ファクス／録音メモリー設定)

- ① **メニュー** を押す
- ② **SD** をタッチする
- ③ [ファクス/録音メモリー設定] を選ぶ
- ④ [本体メモリー] または [SDカード] を選び、**決定** をタッチする
- ⑤ **停止** を押す

SDカードを取り外す

SDカードの取り外しは、待受画面を表示して行ってください。また、「SDカードを抜かないでください」と表示されているときは、SDカードを取り外さないでください。ファイルが開けなくなったり、SDカードが破損したりするおそれがあります。

1 まっすぐにゆっくりとSDカードを抜き取る



- ファクスと録音データの保存先をSDカードに設定しているときは、SDカードを抜き取ると、保存先が本体メモリーに変更されます。

● お知らせ ●

- SDカード以外のものを挿入すると、本商品が破損するおそれがあります。
- SDカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 高温多湿の場所、ほこりの多い場所や腐食性のガスが発生するような場所では、使用・保管しないでください。
- 電源を入れた直後は、しばらくSDカードを読み込めません。
- SDカードを無理に抜き取ると、本商品やSDカードが破損することがあります。
- SDカードを抜き取るときに、手や金属で金属端子部分に触れないでください。
- miniSD カードや microSD カードを取り外すときは、カードアダプターごとに取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本商品に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。
- 画像の表示中や印刷中に、SDカードを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

SDカードに電話帳のデータを保存する

親機に登録した電話帳のデータをSDカードに保存することができます。

保存した電話帳のデータは、本商品を初期化したときなど、電話帳が消えたときのバックアップとして使うことができます。

SDカードに電話帳データを保存する

電話帳データは以下のように保存されます。

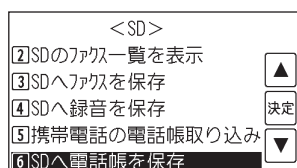
保存方法	一括保存（個別に保存はできません）
保存先	PRIVATE\SHARP\FAX\BACKUP\
保存ファイル名	FAXADDR.DAT

1 SDカードを取り付ける (☎ 119ページ)

2 を押す

3 をタッチする

4 [SDへ電話帳を保存] を選び、 をタッチする



- データの保存が開始されます。ディスプレイのメッセージが消えるまで、SDカードを抜かないでください。

5 [完了しました] と表示されたら、

 を押す

SDカードに保存した電話帳データを本商品に読み込んで使う

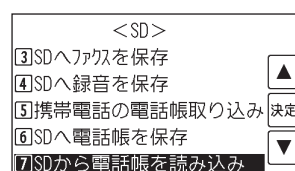
SDカードから電話帳データを読み込むと、本商品に登録されている電話帳データは消され、SDカードの電話帳データが上書きされます。

1 SDカードを取り付ける (☎ 119ページ)

2 を押す

3 をタッチする

4 [SDから電話帳を読み込み] を 選び、 をタッチする



- データの保存が開始されます。ディスプレイのメッセージが消えるまで、SDカードを抜かないでください。

5 [完了しました] と表示されたら、

 を押す

- ワンタッチダイヤルの登録は消えます。
もう一度登録したいときは「親機のワンタッチダイヤルに番号を登録する」(☎ 76ページ)をご覧ください。

● お知らせ ●

- 電話帳データの保存中、電話帳データの取り込み中は、SDカードを取り外さないでください。本商品やSDカードが破損することがあります。

携帯通話設定機能を利用する

携帯通話設定機能を [NTT東日本0036]、[NTT西日本0039]、[その他事業者] のいずれかに設定しておくと、本商品から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルします。携帯通話設定機能を利用する場合は、必ず設定してください。お買い求め時は [使用しない] に設定されています (お申し込み手続きは不要です)。

親機で設定すると、親機と子機で携帯通話設定機能を利用することができます。

※通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

携帯通話設定機能を使用する／解除する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」を付けて発信することができます。

1 ^{メニュー} を押す

2 [はじめの設定] ⇒ [携帯通話設定] ⇒ [携帯通話] の 順に選ぶ

3 使用する事業者を選ぶ

- [NTT東日本0036] または
[NTT西日本0039]※ → 5へ

※ご購入いただいた地域に応じてどちらかの項目が表示されます。

<携帯通話>
1 NTT東日本0036
2 その他事業者
3 使用しない

決定

または

<携帯通話>
1 NTT西日本0039
2 その他事業者
3 使用しない

決定

- [その他事業者] → 4へ
○ [使用しない] (解除する) → 7へ

4 事業者識別番号 (最大6ケタ) を 入力し、[決定] をタッチする

- 「事業者識別番号」とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

5 IP電話利用の有無を選ぶ

- [あり] → 6へ
○ [なし] → 7へ

<IP電話利用>
1 あり
2 なし

決定

6 加入電話選択番号 (最大6ケタ) を 入力し、[決定] をタッチする

- 「加入電話選択番号」とは、IP電話機能を解除して、一般電話回線を選択するために必要な番号です。この番号については、IP電話の契約電話会社にお問い合わせください。

7 ^{停止} を押す

■ 一時的に携帯通話設定機能を使用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

当社サービスエリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかかからないことがあります。

■ 携帯通話設定機能で事業者の設定をする

携帯通話設定マーク () が液晶ディスプレイ上部に表示されます。

■ 携帯番号帯を登録するときは

携帯通話設定機能の利用対象となる携帯電話番号の頭4ケタを追加登録（最大30件）できます。あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。

- ①  を押す
- ② [はじめの設定] → [携帯通話設定] → [携帯番号帯登録] の順に選ぶ

登録するときは

- ③  をタッチする
- ④ 番号（4ケタ）を入力し、 をタッチする
- ⑤  を押す

消去するときは

- ③ 消去したい番号をタッチする
- ④  を2回タッチする
- ⑤  を押す

■ 携帯通話設定機能の設定内容を表示するときは

携帯通話設定機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

- ①  を押す
- ② [はじめの設定] → [携帯通話設定] → [設定内容表示] の順に選び、 をタッチする
- ③ 設定の内容を確認する
- ④ 確認が終わったら  を押す

たしん

127

1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

モデムダイヤルインサービス（モデム信号方式）を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本商品では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号を持ったり、親機と子機の番号を別にしたりすることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。

● 1つの電話回線ですので、ファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

このサービスを利用するには、当社とのご契約が必要です

相手側

相手が電話用番号に
電話をかけてくると・・・



こちら側

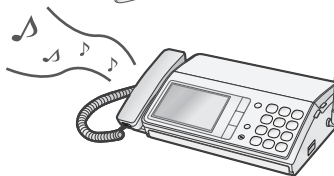
電話に出てお話しください。
相手と話したあとファクス
を受信することもできます。
着信音は番号ごとに変える
ことができます。



相手がファクス用番号に
ファクスを送ってくると・・・



子機の着信音は
鳴りません



設定された呼出回数のもと、
本商品が自動受信します。
着信音は電話のときの着信音
と変えることができます
(☎ 131ページ)。着信音が
鳴っている間に、受話器を取
ると通話もできます。
本商品が自動受信するまで
の呼出回数（ファクス時応答
回数）は変更できます
(☎ 130ページ)。

■ 設定される番号について

電話用番号とファクス用番号に分ける場合は、必ず最初の電話番号（契約者回線番号）を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号（ダイヤルイン追加番号）に設定することをおすすめします。

電話用番号	最初の番号（契約者回線番号）
ファクス用番号	追加された番号 （ダイヤルイン追加番号）

また、親機と子機で電話番号を分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録することをおすすめします。

親機用番号	最初の番号（契約者回線番号）
子機用番号	追加された番号 （ダイヤルイン追加番号）
2台目以降の子機 番号	どちらでも可

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
- 他の電話機などとブランチ式（並列）接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）をお使いの場合は、ご利用になれません。
- 他のサービスとの併用については、当社の窓口へご確認ください。
- ISDN回線のときは、TA（ターミナルアダプター）の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

モデムダイヤルインサービスを利用するには

●[モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]

当社と契約する（有料）

サービス開始の
連絡を待つ

本商品の設定をする（ 下記）

必ずサービスの開始後に行ってください。

モデムダイヤルインサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

TEL：局番なしの

116（通話料金無料）

受付時間

NTT 東日本：9：00～21：00

NTT 西日本：9：00～17：00

土・日・祝も受付（年末・年始は除く）

■モデムダイヤルインサービスを設定する

必ずサービスの開始後に行ってください。

- ① ^{メニュー} を押す
- ② [着信音と誰からコール] →
[ダイヤルインの設定] → [ダイヤルイン機能]
の順に選ぶ
- ③ [使用する] または [使用しない] を選び、
 をタッチする
- ④ ^{停止} を押す

ダイヤルイン番号を登録する

ダイヤルイン番号を設定する前に必ずモデムダイヤルインサービスの設定を[使用する]にしてください（129ページ）。

1 ^{メニュー} を押す

2 [着信音と誰からコール] →
[ダイヤルインの設定] →
[番号登録] の順に選ぶ

3 番号の登録先を選ぶ

- [TEL1～5]（電話用） → 4へ
- [ファクス]（ファクス専用） → 5へ



4 登録したい親機、または子機の
組み合わせを選ぶ

01	親機	07	子機1～4
02	子機1	08	親機、子機1
03	子機2	09	親機、子機2
04	子機3	10	親機、子機3
05	子機4	11	親機、子機4
06	親機、 子機1～4		

5 ダイヤルイン番号（最大20ケタ）
を入力し、**決定** をタッチする

- ダイヤルイン番号は、市外局番から入力してください。

6 ^{停止} を押す

■ 設定内容を消去するには

- ① ^{メニュー} を押す
- ② [着信音と誰からコール] →
[ダイヤルインの設定] →
[番号消去] の順に選ぶ
- ③ 消去したい項目を選ぶ
- ④ [消去する] を選び、**決定** をタッチする
- ⑤ ^{停止} を押す

■ 設定内容を表示するには

- ① ^{メニュー} を押す
- ② [着信音と誰からコール] →
[ダイヤルインの設定] → [設定内容表示] の
順に選び、**決定** をタッチする
- ③ 確認が終わったら ^{停止} を押す

■ ファクス時応答回数を設定する

追加された番号にかかってきたとき、本商品が自動受信するまでの呼出回数を設定します。必ずモデムダイヤルインサービスの設定を[使用する]にしてください（129ページ）。

- ① ^{メニュー} を押す
- ② [着信音と誰からコール] →
[ダイヤルインの設定] →
[ファクス時応答回数] の順に選ぶ
- ③ **+** **-** をタッチして応答回数を選ぶ
- ④ **決定** をタッチする
- ⑤ ^{停止} を押す

親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（☎ 155～158ページ）との併用はできません。ご使用になるときは、「誰からコール」の設定を「使用しない」にしてください（☎ 156ページ）。

1 を押す

2 [着信音と誰からコール] → [ダイヤルインの設定] → [ダイヤルイン着信音] の順に選ぶ

3 着信音を設定したい登録先 （[TEL2] ～[TEL5] または [ファクス]）を選ぶ



- [TEL1] に登録した番号の着信音は、親機に設定されている音です。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください（☎ 47ページ）。

4 設定したい着信音を選び、 をタッチする

- 鳴り分けできる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです（☎ 47ページ）。

5 を押す

■ ダイヤルイン機能を設定したときは

着信時にどの電話番号（TEL1～5）に着信しているのかが表示されます。ただし、[ファクス]にかかってきたときや、「デカ文字着信」（☎ 198ページ）を「使用する」に設定しているときは表示されません。

親機：

（「デカ文字着信」を「使用しない」に設定しているとき）

子機

090XXXXXXXX TEL2

03xxxxxxxx
(((TEL2)))

子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。子機では、[TEL2～5] の番号専用の着信音を設定することができます。

ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（☎ 155～158ページ）との併用はできません。ご使用になるときは、「誰からコール」の設定を「使用しない」にしてください（☎ 156ページ）。

1  を押し、 で
[着信鳴り分け] を選ぶ

2  を押し、 で
[ダイヤルイン] を選ぶ

公衆電話
表示圏外
ダイヤルイン

3  を押し、 で [TEL2鳴り
分け] ～ [TEL5鳴り分け] から
着信音を設定したい登録先を選ぶ

- [TEL1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください（☎ 49ページ）

4  を押し、 で着信音を選ぶ

ジ ャ ム ノ ハ ティ
ジ ュ ピ タ ー
解除

- 鳴り分けできる着信音は、電話がかかってくるときに鳴る着信音と同じです（☎ 49ページ）。
- 鳴り分けを解除するときは、 で [解除] を選んでください（「ピピッ」と鳴ります）。

5  を押す

● お知らせ ●

- TEL1 ～ 5 に登録したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません。ただし、電話のとりつぎ（☎ 58～62ページ）を行ったときは、通話することができます。
- ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードの「ファクス専用」ではなく、ダイヤルインの「ファクス」を設定することをおすすめします。
- ナンバー・ディスプレイを契約しているときに、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分け（☎ 162ページ）を設定した場合、それらの鳴り分けが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。
- 親機と子機などで内線通話中に、別の子機に設定されているダイヤルイン番号へ着信があった場合、内線通話中の親機と子機の着信音が鳴り、登録した子機からは着信音は鳴りません。登録した子機に着信音を鳴りたいときは、内線通話を終了してください。
- TEL1～5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着信音は鳴りません。
- 親機でコピーや印刷をしているときに、子機に設定されているダイヤルイン番号に着信があった場合、親機で着信音が鳴り、登録した子機からは着信音が鳴りません。コピーや印刷が終了すると、登録した子機からも着信音が鳴ります。

着信音や動作音を鳴らさないようにする（おやすみモード）

就寝中や電話/ファクスの動作音が気になるときなど、着信音などを鳴らさないように設定ができます（おやすみモード）。

- タイマーを設定して、毎日同じ時刻におやすみモードが設定・解除されるようにすることもできます。
- 特定の番号からの電話／ファクスのみ、着信音を鳴らすことができるので、例えばお子様がひとりでお留守番されているときでも、安心してご両親からの電話だけに出ることができる、といった使いかたができます（選んで着信 135ページ）。

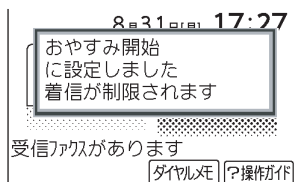
特定の番号からの電話/ファクスのみ、着信音を鳴らすためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

おやすみモードに設定したときは

- 親機・子機・ドアホンの着信音が鳴りません（内線の着信音は鳴ります）。
- 「選んで着信」に登録した番号以外からの着信に留守応答します。
- キータッチ音やファクス/コピー終了音は鳴りません。
- メモリー受信の場合、記録紙がセットされていても、「選んで着信」に登録した番号以外から受信したファクスは自動で印刷されません（おやすみモードを解除すると、自動で印刷します）。記録紙受信では、おやすみモードのときも受信したファクスを自動で印刷します。

手動でおやすみモードに設定する

- 1** 待受画面を表示して、 を3秒以上押し続ける



- おやすみモードに設定され、ディスプレイに おやすみモード が表示されます。

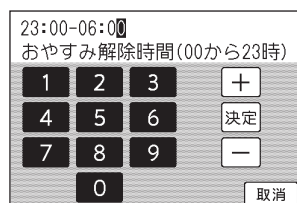
◆以下の操作でも設定できます。

- ①  を押す
- ② [着信音と誰からコール] ⇒ [おやすみ設定] ⇒ [おやすみ] ⇒ [おやすみ開始] の順に選び、 をタッチする

毎日同じ時刻に、自動でおやすみモードに設定する

毎日同じ時刻におやすみモードが働くように設定できます。日付や曜日の指定はできません。

- 1**  を押す
- 2** [着信音と誰からコール] ⇒ [おやすみ設定] ⇒ [おやすみ] ⇒ [タイマー設定] の順に選ぶ
- 3** 開始時刻と終了時刻（4ケタ、24時間制）を入力する



- 4** 画面の表示を確認して  をタッチする

- 開始時刻になると、ディスプレイに おやすみモード が表示されます。
- 開始時刻と終了時刻を同じ時刻にすると、常におやすみモードになります。

おやすみモード設定中に待受画面を表示して、

 を3秒以上押し続けます。

①  を押す

[おやすみ解除] の順に選び、**決定** を
タッチする

① を押す

の順に選び、**決定** をタッチする

③ 確認が終わったら  を押す

相手の方には…

本商品では…

着信音や応答メッセージは流れません。また、メモリー受信に設定しているときは、ファクスを受信しても自動的に印刷されないため、印刷による音も鳴りません（記録紙受信に設定しているときは印刷します）。

ファクスの受信モードをメモリー受信に設定しているときは、おやすみモードを解除したときに、自動で印刷が開始されます。記録紙がない場合は、エラー音が鳴ります。

留守
📶 が点滅します。再生の操作 (👉 84ページ)

で内容を確認してください。

- おやすみモード設定中は、節電状態にはなりません
(バックライトは消灯しますが、ディスプレイ表示は
消えません)。

子機を増設する

● ● ● 増設する子機について ● ● ●

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大4台までです。
P-268SDwはあと2台まで、P-268SDiはあと3台まで増設できます。
- 増設できる子機は2.4Gデジタルコードレス電話機「S3」です（P.194ページ）。
他の子機は増設できませんのでご注意ください（2009年10月現在）。
- 2.4Gデジタルコードレス電話機「S3」の機能は付属の子機と同等です。
- ご購入の際は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください。
- 子機を増設については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

不在時の着信をお知らせする

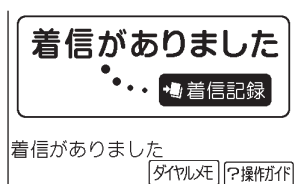
留守中などにかかってきた電話※¹やドアホン着信※²をかんたんに確認することができます。

※1：ナンバー・ディスプレイをご契約のときは、相手の方の名前や電話番号が表示されます（着信記録
159～160ページ）。

※2：本商品をドアホンに接続しているときのみ、表示されます（👉148～149ページ）。

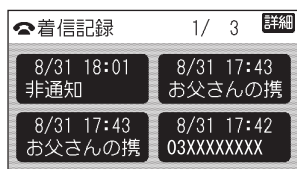
親機で不在時の着信を確認する

1 不在着信があると、ディスプレイに「着信がありました」と表示される（着信通知）



2 着信記録 をタッチする

3 着信記録を確認する



4 確認が終わったら を押す

- 着信記録を確認すると、[着信がありました] の表示が消えます。

■ 着信通知を表示させないようにするには

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [着信通知] →
[使用しない] の順に選び、 をタッチする
- ③  を押す

■子機の不在着信について

子機では着信があったことをディスプレイに表示しませんが、着信記録 (📞 160ページ) は記録されます。

なお、子機ではドアホン着信の着信記録は残りません。また、不在、受信ファクスなど、着信の種類は記録されません。

■ 関連操作

- 着信記録を消す
親機: 159ページ 子機: 160ページ
- 着信記録を使って電話をかける (ナンバー・ディスプレイの契約が必要)
親機: 161ページ 子機: 161ページ
- 親機の着信記録を電話帳に登録する (ナンバー・ディスプレイの契約が必要)
親機: 65 ページ 子機: 69 ページ
- 親機の着信記録のリストを印刷する (116 ページ)

●お知らせ

- 着信記録は、親機と子機で別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、[非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] [お断り番号]を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を作った場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。そのため、子機で電話に出られなかったときも、親機のディスプレイに「着信がありました」と表示されます。

電話番号のメモを取る（ダイヤルメモ）

親機での通話中などに、ダイヤルボタンで電話番号のメモを取ることができます（最大4件）。番号案内でアナウンスされる電話番号を聞きながら、直接親機に電話番号を保存するといった使いかたができます。ダイヤルメモに登録した番号には、かんたんに電話をかけることができます。また、ダイヤルメモから電話帳やお断り番号に登録することもできます。

親機で通話中にダイヤルメモを取る

1 通話中に「ダイヤルメモ」をタッチする

- 「ダイヤルメモ」が表示されていないときは、「簡単」をタッチしてください。

2 登録先をタッチする



- 「登録できます」と表示されている登録先に新しいダイヤルメモを登録できます。

3 番号を入力する



4 「決定」をタッチする

- 入力した番号がダイヤルメモとして登録されます。

■ 待受画面からダイヤルメモを取るには

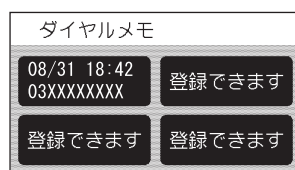
- ① 待受画面で「ダイヤルメモ」をタッチする
- ② 登録先をタッチする
「登録できます」と表示されている登録先に新しいダイヤルメモを登録できます。
- ③ 番号を入力する
- ④ 「決定」をタッチする
入力した番号がダイヤルメモとして登録されます。

ダイヤルメモから電話をかける

1 待受画面で「ダイヤルメモ」をタッチする



2 登録先の一覧画面で、電話をかけたいダイヤルメモをタッチする



3 受話器を取る

- ダイヤルメモの番号に電話がかかります。

■ 保存したダイヤルメモを修正するには

- ① 登録先の一覧画面で、修正したいダイヤルメモをタッチする
- ② 「修正」をタッチする
- ③ 番号を修正する
「取消」をタッチすると、入力した数字を末尾から順に消去できます。
- ④ 「決定」をタッチする

■ 保存したメモを消去するには

- ① 登録先の一覧画面で、消去したいダイヤルメモをタッチする
- ② 「消去」を2回タッチする

ダイヤルメモの番号を電話帳に登録する

1 登録先の一覧画面で、電話帳に登録したいダイヤルメモをタッチする

2 **新規登録** をタッチする

3 **[電話帳へ登録]** をタッチする

●この画面が表示されてから、約1分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

4 名前を入力して電話帳に登録する

●番号にはダイヤルメモの番号が入力されています。

■関連操作

- 親機の電話帳を消去する（☎ 65ページ）
- お断り番号を消去する（☎ 164ページ）

ダイヤルメモの番号をお断り番号に登録する

1 登録先の一覧画面で、お断り番号に登録したいダイヤルメモをタッチする

2 **新規登録** をタッチする

3 **[着信お断り番号へ登録]** をタッチする

●この画面が表示されてから、約1分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

4 **決定** をタッチし、**[はい]** をタッチする

●ダイヤルメモの番号がお断り番号に登録されます。

●お知らせ●

- お断り番号に登録されていると、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。

画面に手書きしてメモを取る（ちょっとメモ）

親機での通話中などに、画面を使ってメモを取ることができます（最大4件）。保存したメモをファクスで送信したり、印刷したりすることもできます。

親機で通話中にメモを取る

1 通話中に **ダイヤルメモ** → **ちょっとメモ** の順にタッチする

- **ダイヤルメモ** が表示されていないときは、**簡単** をタッチしてください。

2 登録先をタッチする

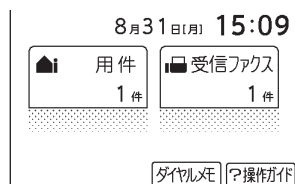


- **[登録できます]** と表示されている登録先に新しいメモを登録できます。

3 メモを取る（下記）

待受画面からメモを取る

1 待受画面で **ダイヤルメモ** → **ちょっとメモ** の順にタッチする



2 登録先をタッチする

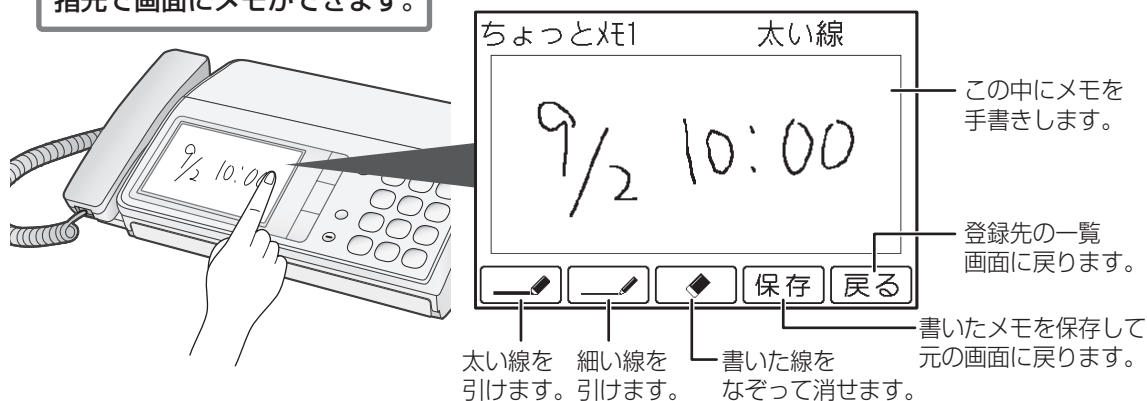


- **[登録できます]** と表示されている登録先に新しいメモを登録できます。

3 メモを取る（下記）

ちょっとメモの使いかた

指先で画面にメモができます。



●お知らせ●

- ペンなどの先端のとがったもの、硬いもの、爪を使って書かないでください。液晶ディスプレイに傷が付くことがあります。

SDカードを本商品に取り付けると、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（ 119ページ）。SDカードに録音できるメモは1件につき最大約60分間まで、録音件数はすべての録音を合わせて最大1200件です（60分×1200件保存することはできません）。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。

●詳細メニュー（ 79～80ページ）で [メモ] → [メモ録音] の順にタッチして録音を始めることもできます。

5 受話器を戻す

- 留守**
- メモを録音すると、 が点滅します。
 - 日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

●メモ録音をしているときは、子機で電話をかけたり、内線通話をしたりすることはできません。

さくしん

通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

「戻って録音」は、約1分／3分／15分前（変更可能）から「戻って録音」の操作をするまでの通話内容を、さかのぼって録音する機能です。お買い求め時は[15分]に設定されています。

しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使いかたもできます。録音できる件数は、1回の通話につき1件です。

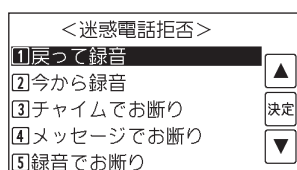
通話が終わったあとで再生することもできます。

親機で「戻って録音」をする

1 通話中に **迷惑電話** をタッチする

- キータッチ音を[あり]に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので相手の方には録音を始めたことがわかりません。

2 [戻って録音] を選び、**決定** をタッチする



- 通話していた内容が保存されます。

3 録音を通話中に再生するときは、



を押す

4 詳細メニュー（☎79～80ページ）になっていないときは、**詳細** をタッチする

5 [再生] をタッチする

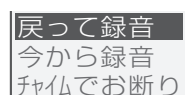
- 「戻って録音」で録音した内容が再生されます。
- 再生をやめるときは  を押します。

子機で「戻って録音」をする

1 通話中に **メニュー/決定** を押す

- キータッチ音が鳴るように設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音を始めたことがわかりません。

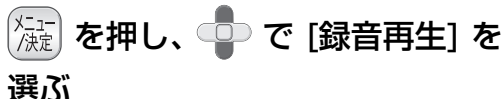
2 で [戻って録音] を選ぶ



3 **メニュー/決定** を押す

- 通話していた内容が保存されます。

4 録音を通話中に再生するときは、



5 **メニュー/決定** を押す

- 「戻って録音」した内容が再生されます。
- 再生をやめるときは  を押します。

●お知らせ●●●●●●●●●●

- 通話中に「今から録音」をしたときは、同じ通話で「戻って録音」はできません。
- 子機で「戻って録音」をしたあと、その通話中に「戻って録音」を再生するとき、「早聞き再生」「10秒戻し再生」「30秒送り再生」は働きません。
- 内線通話（☎57ページ）は録音できません。
- 「戻って録音」をすると、一度でメモリーがいっぱいになることがあります。

■通話終了後、「戻って録音」を再生するときは

通話が終わるとメモリーに保存され、未再生録音として保存されます。再生の方法は、84～85ページをご覧ください。

■「戻って録音」の仕組みについて

本商品では、常に通話内容を、一時的に録音しています。「戻って録音」は、この一時的に録音された内容を使用します。

一時的に録音している内容は、通話が終わると自動的に消去されますが、「戻って録音」すると、メモリーに保存するので消えません。

■通話内容を相手に聞かせて、自動的にお断りするときは

「録音でお断り」をお使いください（☎55～56ページ）。ただし、録音時間は15秒前からになります。また、通話内容は保存されません。

■「戻って録音」で録音できる時間を変更するときは

はじめは [15 分] に設定されています。

- ① ^{メニュー}  を押し、 を4回押す
- ② [留守番電話関連の設定] → [戻って録音時間] の順に選ぶ
- ③ [1 分] [3 分] [15 分] のいずれかを選び、
 をタッチする
- ④ ^{停止}  を押す

親機をもっと便利に使う

キーロック

親機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。親機のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどの誤動作を防止できます。

キーロックを設定する

待受画面で  を [キーロックを設定しました] と表示されるまで押し続ける

- キーロックを解除するまで、電話を受ける以外の操作はできません。
- キーロック中はディスプレイに  キーロック と表示されます。
- キーロックは親機と子機で個別に設定します。親機でキーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する

待受画面に  キーロック と表示されているときに、
 を [キーロックを解除しました] と表示されるまで押し続ける

液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を調整することができます。

- ①  を押す
- ② [はじめの設定] → [液晶濃度調整] の順に選ぶ
- ③   をタッチして濃度を調整し、
 をタッチする



- ④  を押す

ダイヤルライト

親機のダイヤルライト点灯の有無を設定できます。

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [ダイヤルライト] を選ぶ
- ③ [使用する] または [使用しない] を選び、 をタッチする
- ④  を押す

子機をもっと便利に使う

子機を使いやすく設定できる機能項目です。システム設定メニュー（待受画面で  →  で [システム設定] →  ）から設定できます。

 で項目を選択、 で決定して操作してください。

キータッチ音出力

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチ音）の有無を設定できます。

日時登録
キータッチ音出力
クイック通話

設定項目：[解除] または [設定]

工場出荷時の設定：[設定]

クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。

クイック通話
使用者表示
液晶濃度調整

設定項目：[解除] または [設定]

工場出荷時の設定：[解除]

液晶濃度調整

液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

クイック通話
使用者表示
液晶濃度調整

設定項目：16段階の濃度（ で調整）

工場出荷時の設定：9段階目

ダイヤルライト点灯

子機を充電器から取ったときなどの、ダイヤルライト点灯の有無を設定できます。

使用者表示
液晶濃度調整
ダイヤルライト点灯

設定項目：[解除] または [設定]

工場出荷時の設定：[設定]

電波サポート

子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。ただし、連続通話時間が変わります（[自動]：最大約4～6時間、[解除]：最大約6時間、[設定]：最大約4時間）。

液晶濃度調整
ダイヤルライト点灯
電波サポート

設定項目：[自動] [解除] [設定]

工場出荷時の設定：[自動]（電波状況が悪いとき、自動的に電波サポートを行います）

キーロック

子機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。子機のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどの誤動作を防止できます。

キーロックを設定する

待受画面で  を [キーロック 設定しました] と表示されるまで押し続ける（3秒以上）

- キーロックを解除するまで、電話を受ける以外の操作はできません。
- キーロックは親機と子機で個別に設定します。子機でキーロックを設定しても、親機やほかの子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する

キーロックを設定しているときに、 を [キーロック 解除しました] と表示されるまで押し続ける

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまめなときは

ご参考に

さくいん

ドアホンと話す（ドアホン通話）

ドアホンボックスやドアホンを取り付けると、親機や子機でドアホン通話することができます。

ドアホンは最大2台まで接続することができます。

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話することができます。

ドアホンの取り付け工事について、詳しくはお買い求めになった販売店または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

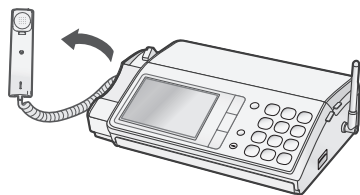
ドアホンの着信音について

ドアホン1とドアホン2からの着信音は鳴りかたが違います。

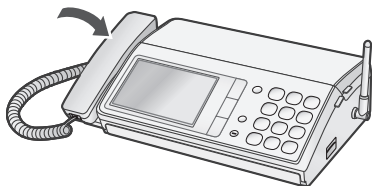
親機	ドアホン1	ピン ポン
	ドアホン2	ピン ポン ピン ポン
子機	ドアホン1	ビロビロビロビロ ビロビロビロビロ
	ドアホン2	ビロリロ ビロリロ

親機でドアホンと話す

1 着信音が鳴ったら受話器を取る



2 通話が終わったら受話器を戻す



■ 着信音が鳴ったあと、30秒以内にしないと

着信音が鳴ったあと、そのままにしておくと、30秒後にドアホンは切れます。

■ 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

- ① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
ドアホン通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

■ 親機でドアホン通話中にもう1台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう1台のドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が「ピンポン」と聞こえたときは **1あ** を、「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは **2か** を押す
- ② **1あ** または **2か** を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

■ 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に **保留** をタッチする
電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
- ② 電話に戻るときは、**保留解除** をタッチする
ドアホン通話は切れます。

■ 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に受話器を戻す
内線通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示部に表示させるサービスです。ご利用には、当社とのご契約が必要です（有料）。ナンバー・ディスプレイサービスを使うことで、本商品の「誰からコール」や「着信鳴り分け」機能などをご利用いただけます。

ナンバー・ディスプレイを契約すると…

○電話がかかってくると、相手の方の電話番号をディスプレイに表示します。



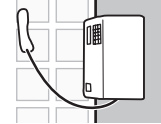
電話帳に登録している相手の方からの電話のときは、登録した名前と番号を表示します。名前を表示させたいときは、親機と子機、それぞれの電話帳に登録してください（☎64、68ページ）。また、電話番号は、市外局番から登録してください。市外局番を省略すると、電話帳の名前が表示されないことがあります。

例）親機と子機の両方に「お父さんの携帯」の名前で電話帳に登録した相手の方からの電話

親 機		子 機
お父さんの携帯 090XXXXXXXX	お父さんの携 帯	お父さんの携 帯 (((着信)))

デカ文字着信（☎198
ページ）設定時

○相手の方の電話番号がわからないときは、以下のように表示します。

	親 機	子 機
非通知 相手の方が自分の電話番号を通知しないで かけてきた場合	非通知	-非通知- (((着信)))
公衆電話から 	公衆電話	-公衆電話- (((着信)))
表示圏外から 相手の方が番号通知ができない地域や回線 からかけてきた場合 （例：国際電話、船舶電話、新幹線電話、 VoIP 電話など）	表示圏外	-表示圏外- (((着信)))
情報が受信できない 	外線着信	(((着信)))

151

ナンバー・ディスプレイを活用する

本商品では、ナンバー・ディスプレイサービスを使って、以下の機能を利用できます。

着信記録



あとから、相手の番号を確認できます（☎ 159 ～ 161 ページ）。

名前の表示

電話帳に登録している方から電話がかかってきたとき、登録している名前を表示します。

お父さんの携帯
090XXXXXXX

迷惑電話お断り

登録した番号や、非通知の電話などを受けないように設定できます（☎ 163 ～ 164 ページ）。

相手側

この電話はお受けすることはできません…



ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号を活用して…



着信鳴り分け

「電話帳に登録した相手」「非通知」「公衆電話」「表示圏外」の着信音を鳴り分けできます（☎ 162 ページ）。



同時に使用できません

選んで着信

登録した番号からの電話だけ受ける設定にすることができます（☎ 133 ～ 135 ページ）。

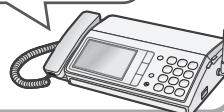


例：
「お母さんの携帯電話」を登録しておくと、お母さんからの電話のときだけ、着信音が鳴ります。

誰からコール

相手の方の情報を、音声でお知らせできます（☎ 155 ～ 158 ページ）。

〇〇さんからです…



その他のサービス

キャッチホン・ディスプレイ（☎ 154 ページ）やネーム・ディスプレイ（☎ 153 ページ）のサービスを受けることができます。

キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイのご契約が必要になります（有料）。

キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができる当社のサービスです。キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができる当社のサービスです。
ご利用には**当社との契約（有料）**が必要です。ご希望の方は、局番なしの116番へお申し込みください。

キャッチホンを利用する（親機）

1 通話中に着信音が聞こえたら をタッチする

-  が表示されていないときは、 をタッチしてください。

2 元の通話に戻るときはもう一度 をタッチする

キャッチホンを利用する（子機）

1 通話中に着信音が聞こえたら を押す

2 元の通話に戻るときはもう一度 を押す

■ キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは
キャッチホンの切替時間を変えることができます
（キャッチホン切替時間  198ページ）。

■ キャッチホン・ディスプレイの設定をする

ご利用には**当社との契約（有料）**が必要です。ご希望の方は、局番なしの116番へお申し込みください。

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用のときは、必ず設定を[使用する]にしてください（はじめは、[使用しない]に設定されています）。電話を受けられないことがあります。また、ナンバー・ディスプレイが[使用する]になっていることを確認してください（ 151ページ）。

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [キャッチホン] → [キャッチホン・ディスプレイ] の順に選ぶ
- ③ [使用する] または [使用しない] を選び、 をタッチする
- ④  を押す

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- キャッチホンをご利用の際は、フックスイッチを押さずにキャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、受信操作のあと受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。
- キャッチホンでの通話中は、迷惑電話拒否機能（ 55～56ページ）は働きません。
- キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示例（ 150ページ）をご覧ください。
- キャッチホン・ディスプレイの着信記録は、子機で受けたものは親機・子機の両方に、親機で受けたものは親機のみに残ります。

着信を音声でお知らせする（誰からコール／誰あてコール／どこからコール）

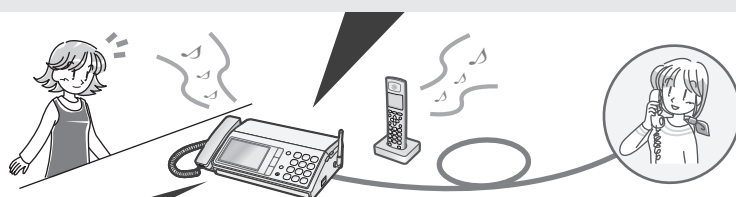
電話がかかってきたとき、相手の電話番号から自動的に判断し、親機の電話帳に登録した相手の名前や電話が誰からなのか／誰あてなのかや、どこからかかってきているのかなどの情報を、親機と子機の音声でお知らせします。最初は「使用する」に設定されています。

ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、お買い求め時は「どこからコール」を使用する設定になっています（電話がかかってくると、地名や電話の種類をお知らせします）。[使用しない] にするときは、157ページをご覧ください。

誰からコール／誰あてコール

電話帳に登録している相手の方からの電話

	「読み」が発声できる	「読み」が発声できない
「誰あてコール」 に登録している (例：オネエサン)	「お姉さんあてに〇〇（登録している 名前）さんからです」 または 「お姉さんあてに〇〇からです」※1、※2、※3	「お姉さんあてにお電話です」※3
「誰あてコール」 に登録していない	「〇〇さんからです」 または 「〇〇からです」※1、※2	「お電話です」



どこからコール

電話帳に登録されていない相手の方からの電話

市外局番から都道府県 を判断できる電話	「△△（都道府県名） からです」※4
携帯電話	「携帯電話からです」
PHS	「PHSからです」

その他

自分の番号を通知して いない相手からの電話	「非通知です」
公衆電話	「公衆です」
番号通知できない地域 や回線からの電話	「圏外です」

音声お知らせなし

- ・ ナンバー・ディスプレイを設定していないときの電話
- ・ 誰からコールを「使用しない」に設定しているときの電話
- ・ 電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、地域番号帯登録（☎ 157ページ）で「発声しない」に登録されている地域からの電話
- ・ 電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、市外局番から地名を判断できない場所からかけている電話 ※4



- ※1 親機の電話帳に登録されている名前を音声でお知らせします。子機の電話帳にのみ登録されている名前はお知らせしません。
- ※2 「誰からコール」での発声のしかたは、おしゃべり電話帳と同じです。アクセントの位置を変更したいときは、67ページをご覧ください。
- ※3 「誰あてコール」でお知らせする名前は、相手の方の電話番号を親機に登録、修正するときに選んだ名前です。名前を変更したいときは、「誰あてコール設定」で変更してください（☎ 156ページ）。
- ※4 同じ市外局番で複数の都府県にまたがっているときも、あらかじめ割り振られている電話番号であると認識すると正しい都道府県名を発声します。ただし、新しい市外局番が増えたときなど、正しい都道府県名を発声しない場合があります。地名の発声のしかたを変更したり、発声しないようにしたいときは、地域番号帯登録（☎ 157～158ページ）を変更してください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまだったときは

ご参考に
さくいん

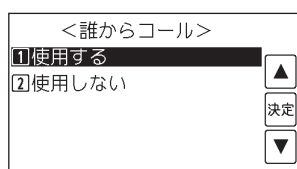
誰からコールの使用設定をする

誰からコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は [使用する] に設定されています。

1  を押す

2 [着信音と誰からコール] ⇒
[誰からコール設定] ⇒
[誰からコール] の順に選ぶ

3 [使用する] または [使用しない]
を選んで  をタッチする



- [使用する] を選んだとき → 4 へ
- [使用しない] を選んだとき → 5 へ

- 誰からコールを [使用しない] に設定すると、誰あてコール、どこからコールも解除されます。
- どこからコールのみを解除する場合は、157 ページをご覧ください。

4 以下は着信鳴り分け設定時のみ表示されます。
表示されないときは 5 へ

[誰からコールを使用すると鳴り分け設定が無効になります。よろしいですか？] と表示されたら、**[はい]** を選んで  をタッチする

- 着信鳴り分けをそのまま使用するとき、**[いいえ]** を選んで  をタッチしてください。誰からコールは設定されません。

5  を押す

■ 誰あてコールでお知らせする名前を登録するときは

誰あてコールでお知らせする名前を9つまで登録できます。お買い求め時は 以下の①～⑥が登録されています（変更することもできます）。⑦～⑨に追加で登録できます。

工場出荷時に登録されている誰あてコールの名前	
①	オトウサン
②	オカアサン
③	オニイサン
④	オネエサン
⑤	オジイサン
⑥	オバアサン
⑦	(空白)
⑧	(空白)
⑨	(空白)

①  を押す

② [着信音と誰からコール] →
[誰からコール設定] → [誰あてコール] の
順に選ぶ

③ 名前の登録先を選ぶ

登録済みの登録先を選ぶと名前の変更になります。変更すると、その名前で誰あてコールを登録しているすべての電話帳の発声が変更されます。

④ 名前（最大半角20文字）を入力し、 を
タッチする（☎ 70～72ページ）

⑤  を押す

■ 誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更するときは

- ①  を押す
- ② [着信音と誰からコール] → [誰からコール設定] → [誰あてコール] の順に選ぶ
- ③ アクセントを変えたい名前を選ぶ
- ④ **再生** をタッチする
現在設定されているアクセントで名前が発声されます。
- ⑤ 名前を発声してから3分以内にダイヤルボタンでアクセントを調整する

 ~ 	ボタンに対応した1文字目から8文字目の各文字にアクセントが付きます。
	アクセントが自動的に設定されます。
	平坦なアクセントが自動的に設定されます。

- ⑥  を押す

■ 誰あてコールを使用するには

電話帳の登録、または修正時に、音声でお知らせする名前を選んでください（☎64ページ）。また、誰からコールを[使用する]に設定してください（☎156ページ）。

■ 誰あてコールを鳴らさないように設定するには

登録されている電話帳を個別に修正して、誰あての着信か選ぶ画面で[特定しない]に設定してください（☎64ページ）。一括ですべて鳴らさないように設定することはできません。

■ どこからコールの使用設定をする

どこからコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は[使用する]に設定されています。

どこからコールを使用するときは、誰からコールを[使用する]に設定しておいてください（☎156ページ）。

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [どこからコール] の順に選ぶ
- ③ [使用する] または [使用しない] を選んで **決定** をタッチする
- ④  を押す

■ どこからコールで発声する地名や発声のしかたを市外局番ごとに変更する（地域番号帯登録）

どこからコールで発声する地名を、市外局番ごとに変更することができます。市外局番と地名が合っていないときなどに変更してください。また、「携帯電話」、「PHS」や「発声しない」に設定することもできます。登録できる番号は、最大30件です。

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [地域番号帯登録] の順に選ぶ
- ③ **新規登録** をタッチする
- ④ 発声のしかたを変更したい市外局番を入力し、**決定** をタッチする
- ⑤ 発声のしかたを選んで **決定** をタッチする
[00：発声しない]
[1～47：47都道府県名]
[48：携帯電話]
[49：PHS]
- ⑥  を押す

着信を音声でお知らせする（誰からコール／誰あてコール／どこからコール）

■登録した地域番号を消去する

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [地域番号帯登録] の順に選ぶ
- ③ 消去したい地域番号を選ぶ
- ④  を2回タッチする
- ⑤  を押す

■登録した地域番号を確認する

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [地域番号帯登録] の順に選ぶ
- ③ 画面をスクロールさせて確認する
- ④  を押す

■登録した地域番号を修正するには

消去してから、新しく登録してください。

●お知らせ●●●●●●●●●●

- 誰からコールと誰あてコールでは、電話帳の「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声しないことがあります。
- 発声の確かめかた
誰からコールの場合：電話帳で電話をかけるときに確認してください。
誰あてコールの場合：「誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更するときは」（P.157ページ）の手順1～4の操作をして確かめてください。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールの音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信音の種類を変更していても、固有の着信音で鳴ります。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信鳴り分けは使用できません。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、ダイヤルイン鳴り分けは使用できません。ただし、次のときは、ダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音が鳴ります。
 - ・ ナンバー・ディスプレイを設定していないとき
 - ・ 誰からコール、誰あてコールの場合は、電話帳に登録されていない相手の方からの電話
- 内線通話中やドアホン通話中での電話や、キャッチホンでは、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは動きません。
- コピー中は誰からコール、誰あてコール、どこからコールは動きません（通常の着信音が鳴ります）。コピーが終了すると、誰からコールが動きます。
- どこからコールで地域番号帯を登録すると、指定した市外局番から始まる電話番号からの電話は都道府県名を発声しない設定にすることもできますので、自宅の市外局番等を登録しておけば、近所の方からの電話は都道府県名を発声しなくなります。

着信記録（着信履歴）を見る

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

着信記録として保存された番号を確認することができます。

保存できる着信記録は最大20件までです。20件を超えると、古い着信記録から消去されます。

親機の着信記録を見る

1  を押す

2 [着信記録] をタッチする

●着信記録が表示されます。

3 着信記録を確認する

着信記録		1 / 3	詳細
8/31 18:01	8/31 17:43		
非通知	お父さんの携		
8/31 17:43	8/31 17:42		
お父さんの携	03XXXXXXXX		

●着信した日時と番号（電話帳に登録した番号のときは名前）を確認できます。

4 確認が終わったら  を押す

■着信記録を詳しく見る

 を押したあと詳細メニュー（☎ 79～80ページ）にすると、着信記録の内容を詳しく見ることができます。**[表示切替]** をタッチすることで1件表示と一覧表示を切り替えられます。

1件表示

お父さんの携		簡単
090XXXXXXXX		決定
8/31 17:43		決定

一覧表示

<着信記録>		1 / 4件	簡単
8/31 17:43	お父さんの携		
8/30 16:52	090XXXXXXXX		
8/30 10:11	非通知		
8/28 13:01	お父さんの携		

- キャッチホン（☎ 154 ページ）で電話がかかってきたときは、電話に出られなくてもアイコンは表示されません。
- ドアホンからの呼び出しがあったときは、[ドアホン1] または [ドアホン2] と表示されます。

■アイコンについて

詳細メニューで表示されるアイコンは以下の3種類です。

不在 : 電話やファクス、ドアホン着信に出られなかった相手の方に表示されます。

FAX専用 : ファクスの受信モードを[ファクス専用]（☎ 196ページ）に設定しているときに、電話やファクスをかけてきた相手の方に表示されます。

 : お断り設定（☎ 163～164ページ）に設定している相手の方からの電話やファクスのときに表示されます。

■親機の着信記録を消すときは

1件だけ消す

- ①  を押す
- ② 詳細メニュー（☎ 79～80ページ）になっていないときは、**[詳細]** をタッチする
- ③ [着信記録] をタッチする
- ④ 消去したい番号を選ぶ
- ⑤ **[消去]** をタッチする

⑥ [消去する] を選んで **[決定]** をタッチする

⑦  を押す

すべて消す

- ①  を押す
- ② [各種全消去] → [着信記録] → [消去する] の順に選び、**[決定]** をタッチする

■関連操作

- 親機の着信記録を使って電話をかける（☎ 161 ページ）
- 親機の着信記録を電話帳に登録する（☎ 65 ページ）
- 親機の着信記録のリストを印刷する（☎ 116 ページ）

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまごまとしたときは

ご参考に

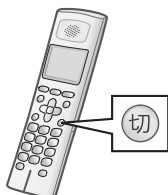
さくしん

子機の着信記録を見る

- 1  を押し、 で確認したい番号を選ぶ

●相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

- 2 確認が終わったら  を押す



■ 子機の着信記録を消すときは

1件ずつ消す

- ①  を押し、 で消去したい番号を選ぶ
- ②  を押し、 で [1件消去] を選ぶ
- ③  を2回押す

すべて消す

- ①  を押し、 で [全消去] を選ぶ
- ②  を押し、 で [着信記録] を選ぶ
- ③  を2回押す

■ 関連操作

- 子機の着信記録を使って電話をかける
( 161 ページ)
- 子機の着信記録を電話帳に登録する
( 69 ページ)

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

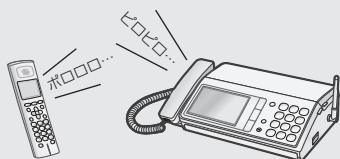
- 着信記録は、親機と子機で別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、[非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] [お断り番号] を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を作った場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。

親機、子機が別々に「電話帳に登録している方」、「非通知」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 150ページ）、「公衆電話」、「表示圏外」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 150ページ）の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。はじめは、親機・子機とも設定されていません。着信鳴り分けは、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（155～158ページ）との併用はできません。



着信鳴り分けを設定したとき

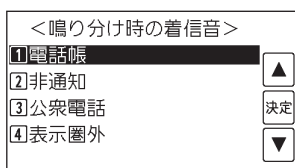
着信鳴り分けを設定すると、着信の種類に合わせて下記の操作で設定した着信音がかかります。それ以外の方からかかってきたときは、あらかじめ設定した着信音（47、49ページ）、またはダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音（131ページ）がかかります。

親機の鳴り分けを設定する

1 **メニュー** を押す

2 **[着信音と誰からコール] ⇒ [鳴り分け時の着信音]** の順に選ぶ

3 鳴り分けする着信の種類を
[電話帳] [非通知] [公衆電話]
[表示圏外] から選ぶ



4 鳴り分け用の着信音を選び、**決定** をタッチする

●設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです（47ページ）。着信鳴り分けを解除するときは [なし] を選びます。

○誰からコール設定時は確認メッセージが表示されます。表示されないときは 6へ

5 [鳴り分け設定を使用すると誰からコールが無効になります。よろしいですか？] と表示されたら、[はい] を選んで **決定** をタッチする

●誰からコールをそのまま使用するとき、[いいえ] を選んで **決定** をタッチしてください。着信鳴り分けは設定されません。

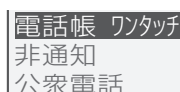
6 **停止** を押す

子機の鳴り分けを設定する

親機で「誰からコール」（155～158ページ）を設定しているときは、着信鳴り分けは動きません。ご使用になりたいときは、親機の操作で「誰からコール」を [使用しない] に設定してください（156ページ）。

1 **メニュー/決定** を押し、**+** で
[着信鳴り分け] を選ぶ

2 **メニュー/決定** を押し、**+** で [電話帳 ワンタッチ] [非通知] [公衆電話] [表示圏外] のいずれかを選ぶ



●[ダイヤルイン] については、132ページをご覧ください。

3 **メニュー/決定** を押し、**+** で着信音を選ぶ

●設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです（49ページ）。

●着信鳴り分けを解除するときは [解除] を選んでください（「ピピッ」と鳴ります）。

4 **メニュー/決定** を押す

●お知らせ●●●●●●●●●●

●かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

●ダイヤルイン鳴り分け（131ページ）と同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を拒否する（着信お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

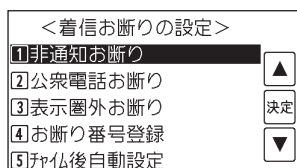
「非通知の電話」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 150ページ）「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 150ページ）に対して着信音を鳴らさず、お断りのメッセージを流すことができます。
お買い求め時は設定されていません。

非通知／公衆電話／表示圏外お断り

1  を押す

2 [着信お断りの設定] を選ぶ

3 設定するお断りの種類を [非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] から選ぶ



●[非通知お断り] に設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直してください」と3回流れて電話が切れます。

●[公衆電話お断り]、[表示圏外お断り]に設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

4 [なし] または [お断り] を選び、

 をタッチする

5  を押す

●設定すると、ディスプレイに  お断り と表示されます。

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- お断りの設定をした相手からの電話は、緊急の要件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。
- お断り設定をした相手からの電話は、親機にのみ着信記録が残ります。また、その相手の番号には  のマークが表示されます（159ページ）。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

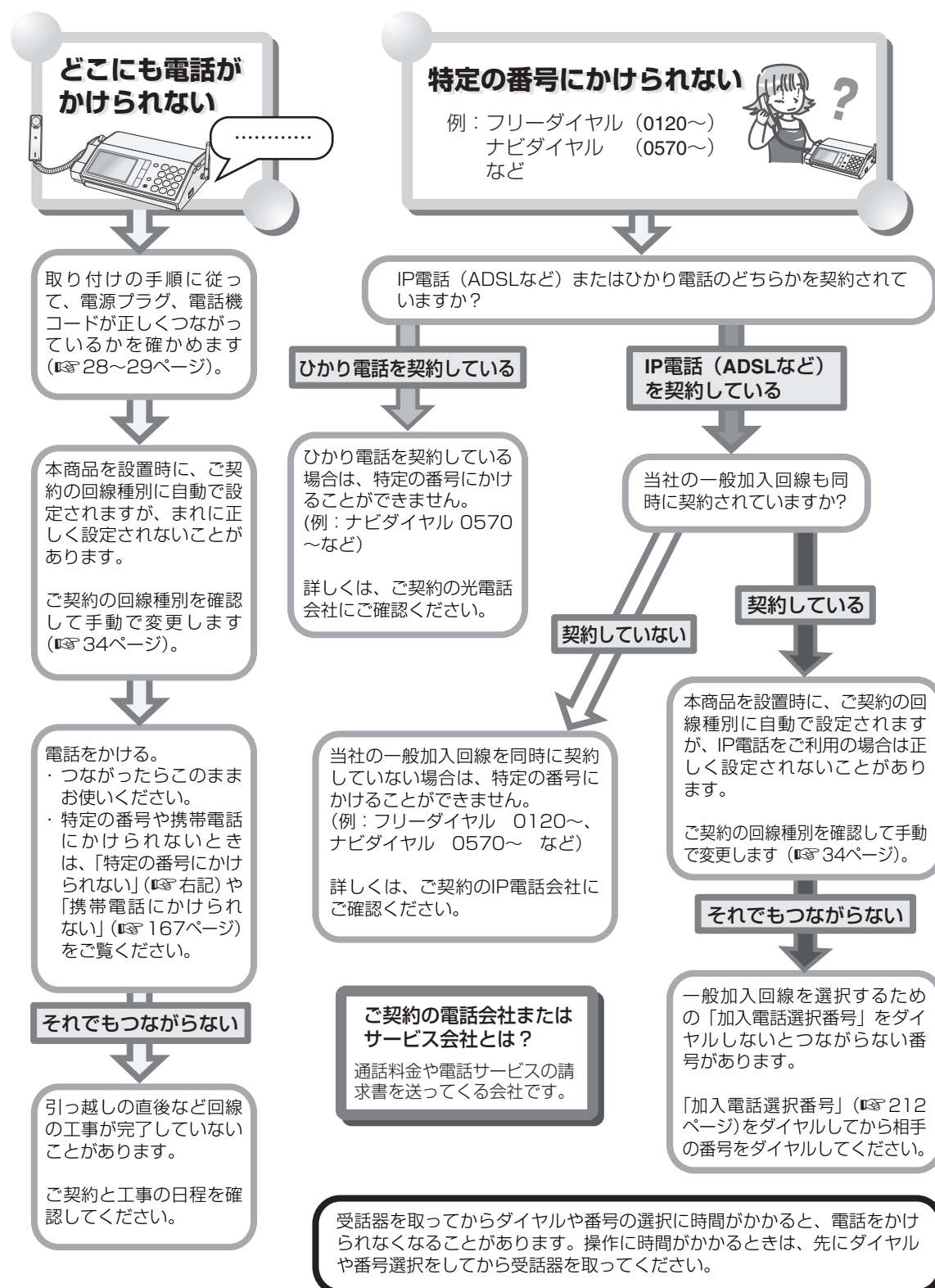
ナンバー・ディスプレイ

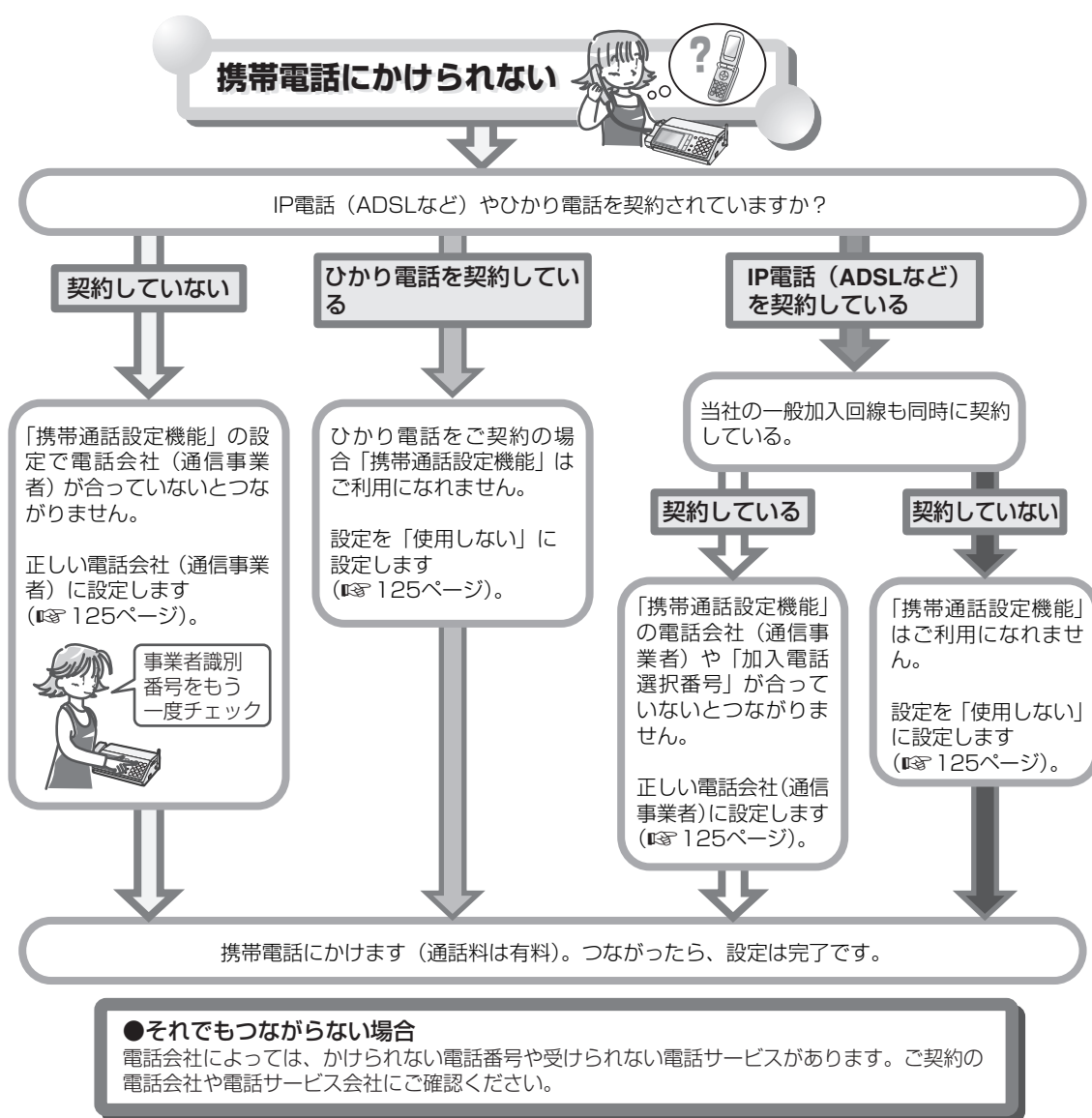
こまごまとしたときは

ご参考に

さくいん

電話がかけられない





■ 回線種別とは…

回線の種類のことです。ダイヤル回線とプッシュ回線があります。本商品の設定がご契約の回線と合っていない場合、電話がかけられないことがあります。

■ 回線種別の自動設定について

本商品では、電話機コードを回線につなぐと、回線種別が自動的に設定されます。ただし、ご使用の状況によっては正しく設定されないことがあります。

電話がかけられない場合は、ご契約内容を確認し、設定が合っていないければ手動で変更してください（☎ 34ページ）。

■ IP電話とは

IP電話では、インターネットの技術によって通信します。IPとは、internet protocol（インターネットプロトコル）の略です。従来とは異なる仕組みで通信するため、回線種別設定に関係なくつながります。

ただし、フリーダイヤル（0120）などの番号にかけるときは当社の一般加入電話回線を使うため、回線種別設定がご契約の種別と合わないにつながりません（ひかり電話を除く）。フリーダイヤルのほかにも、一部の電話番号にかけられない場合があります。かけられない電話番号は、ご契約のIP電話会社にご確認ください。

ファクスを送れない

ファクスを送れない



まず、ここを確認してください

- 原稿は正しくセットされていますか？
☎ 92ページ
- 原稿送りローラーは正しく取り付けられていますか？
⇒ 正しく取り付けます。
☎ 183ページ
- 相手の方が非通知着信を拒否に設定していませんか？
⇒ 相手の方の番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

それでもファクスを送れないときは

- 相手の方のファクスが記録紙切れなどで受信できる状態になっていないかもしれません。
⇒ 相手の方に確認してください。

受話器を取ってからファクスを送るときは、ダイヤルや番号の選択に時間がかかると、ファクスを送れなくなることがあります。操作に時間がかかる場合は、先にダイヤルや番号選択をしてから受話器を取ってください。

ファクスを送ったが…

ファクス送信

相手の方の記録紙に
印刷されない

- 原稿は正しくセットされていますか？
⇒ 送る面を裏向きにセットします。
☎ 92ページ

相手の方に届いた
画像が悪い

- 原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）が汚れていませんか？
⇒ 汚れをふき取ります。
☎ 182～183ページ

ファクスを受けられない／着信音が鳴らない

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さへいん

ファクスを受けられない



メモリーがいっぱいになっていませんか？

いっぱいになっている

いっぱいになっていない

- ファクス受信方法の設定が「記録紙受信」になっていませんか？
⇒ 記録紙をセットしてから、もう一度送信してもらいます。
☎ 112ページ
- 留守設定などで、応答メッセージを流してファクスを受けるときは、「応答メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがあります。
⇒ それぞれの待ち時間の設定を長くしてください。
☎ 196ページ

- メモリー受信データを印刷／消去します。
☎ 110、113ページ
- 不要な録音を消去します。
☎ 84～85ページ
- SDカードを利用すると、保存できる容量を増やすことができます。
☎ 117～119ページ

それでもファクスを受けられない

- 写真原稿などを受信すると、受信中にメモリーがいっぱいになる場合があります（受信データはメモリーに残っています）。このようなときは、ファクス受信方法の設定を「記録紙受信」にして記録紙をセットしてください。
☎ 196ページ

着信音が鳴らない



親機の着信音が鳴らない

親機も子機も
着信音が鳴らない

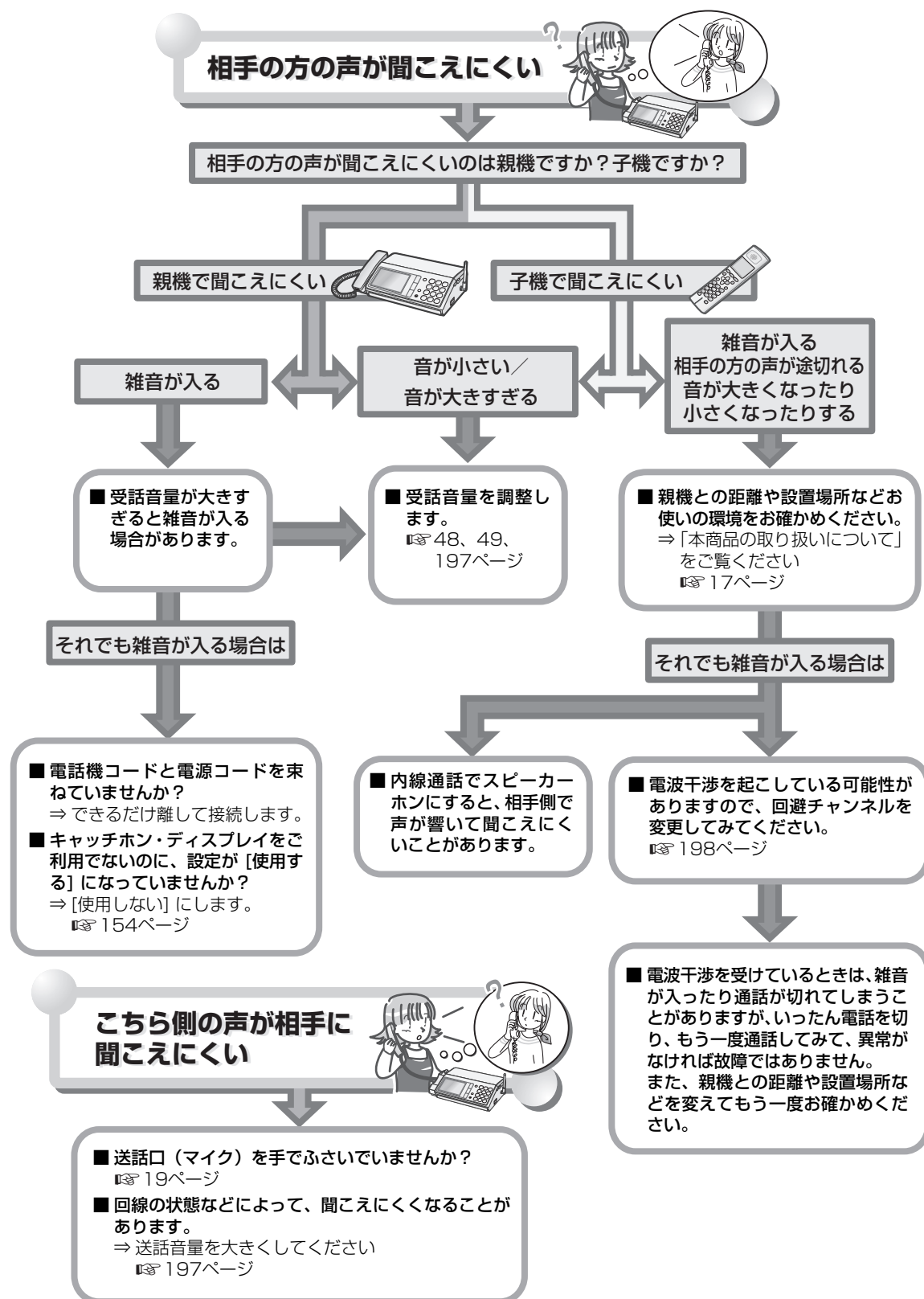
子機の着信音が鳴らない

- 着信音を「切」にしていませんか？
⇒ 着信音を大きくします。
☎ 47ページ

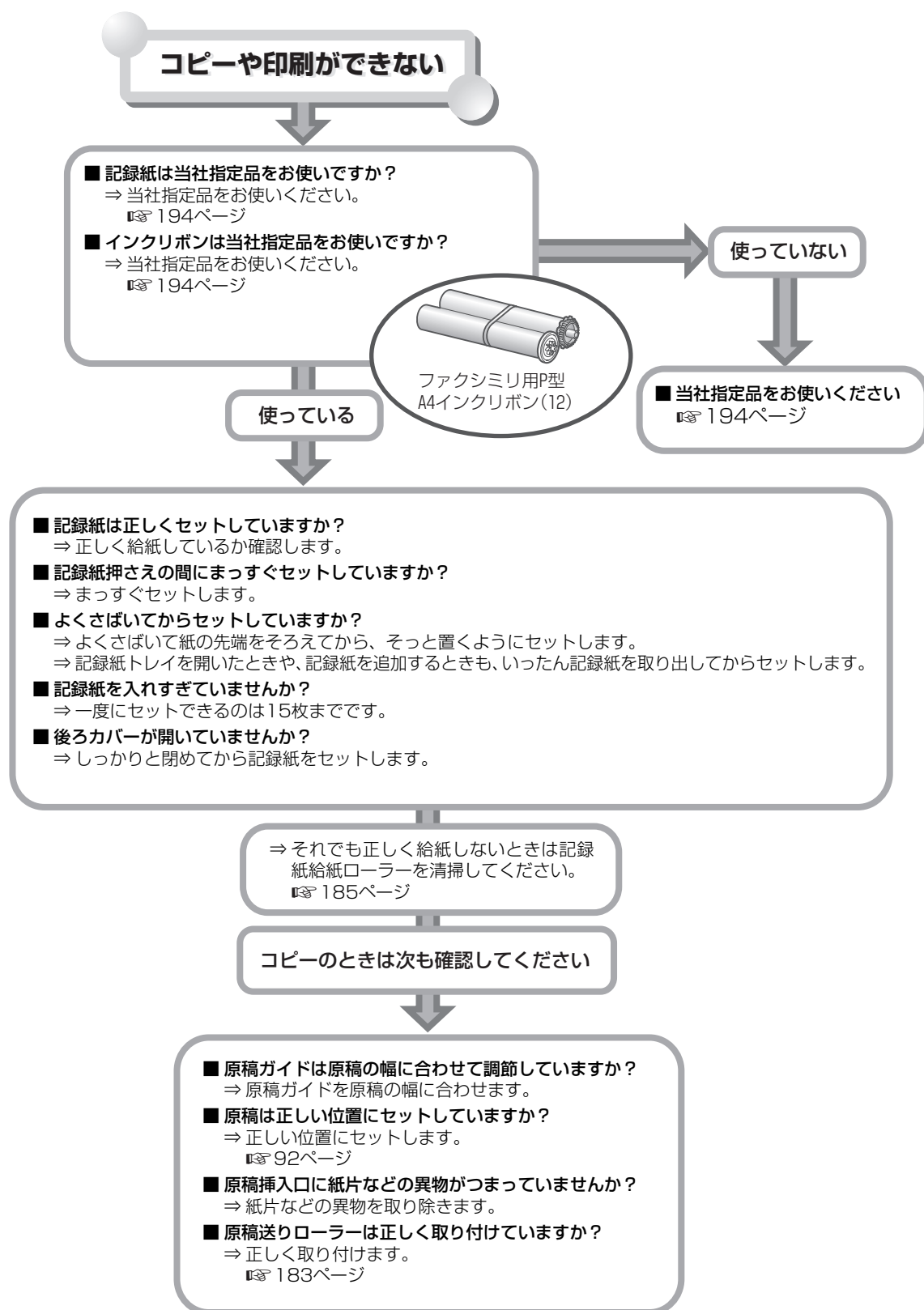
- 着信音を「切」にしていませんか？
⇒ 着信音を大きくします。 ☎ 48ページ
- 親機がコピー中、印刷中ではありませんか？
⇒ コピーや印刷が終わらないと子機は使用できません。

- 受信モードを「ファクス優先」または「ファクス専用」に設定していませんか？
⇒ [設定しない] に設定します。 ☎ 196ページ
- おやすみモードに設定していませんか？
⇒ 設定を解除します。 ☎ 134ページ
- 各種お断りを設定していませんか？
⇒ お断りを使用しない設定にします。 ☎ 163～164ページ
- モデムダイヤルインサービスを契約しているときは、特定の親機または子機のみ着信する設定にすると、親機または他の子機では着信音が鳴りません
⇒ 「ダイヤルイン番号を登録する」の設定で、着信音を鳴らす親機または子機を正しく設定します。 ☎ 130ページ

相手の声が聞こえにくい



コピーや印刷ができない



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

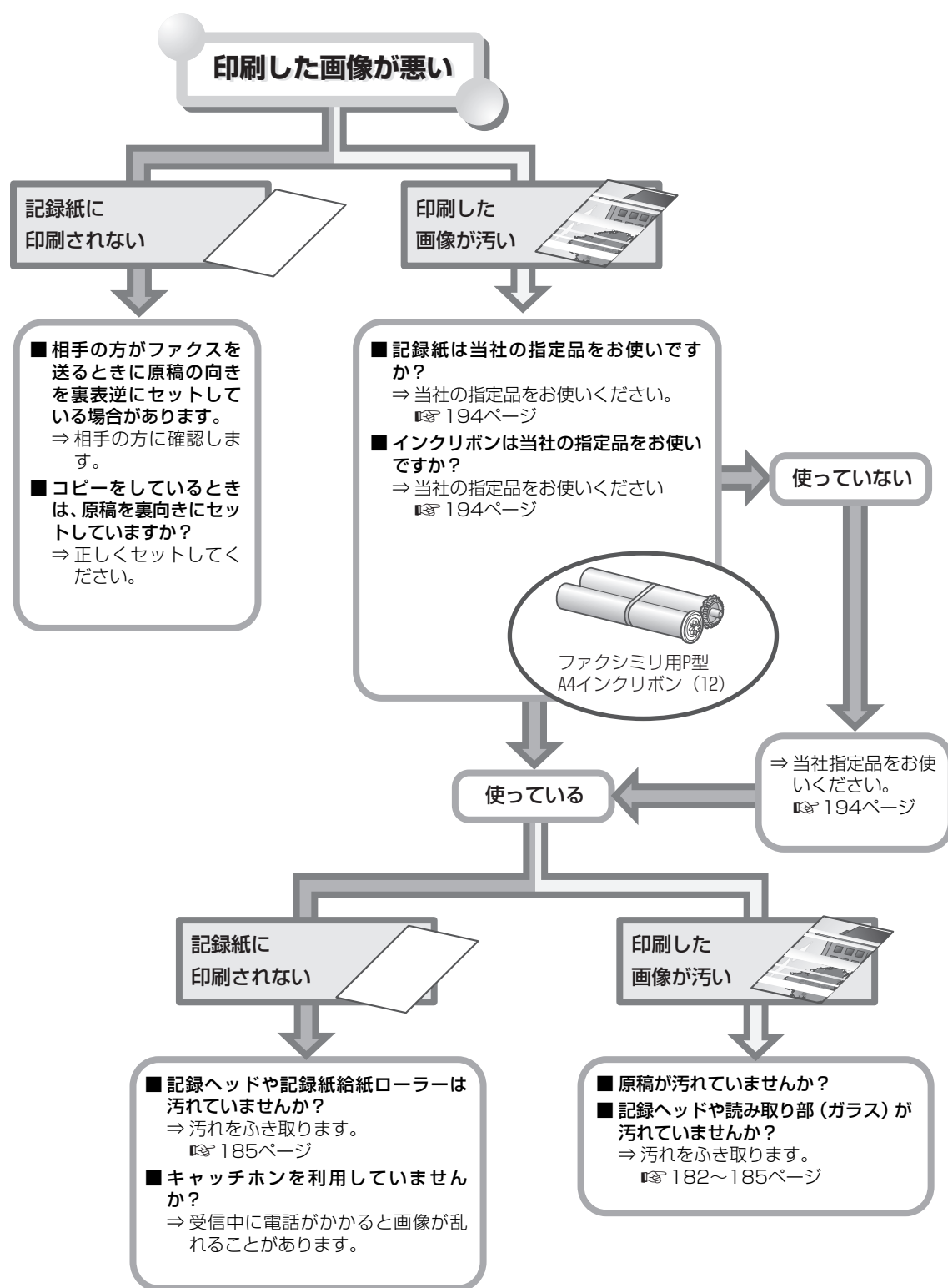
ナンバーディスプレイ

こまだったときは

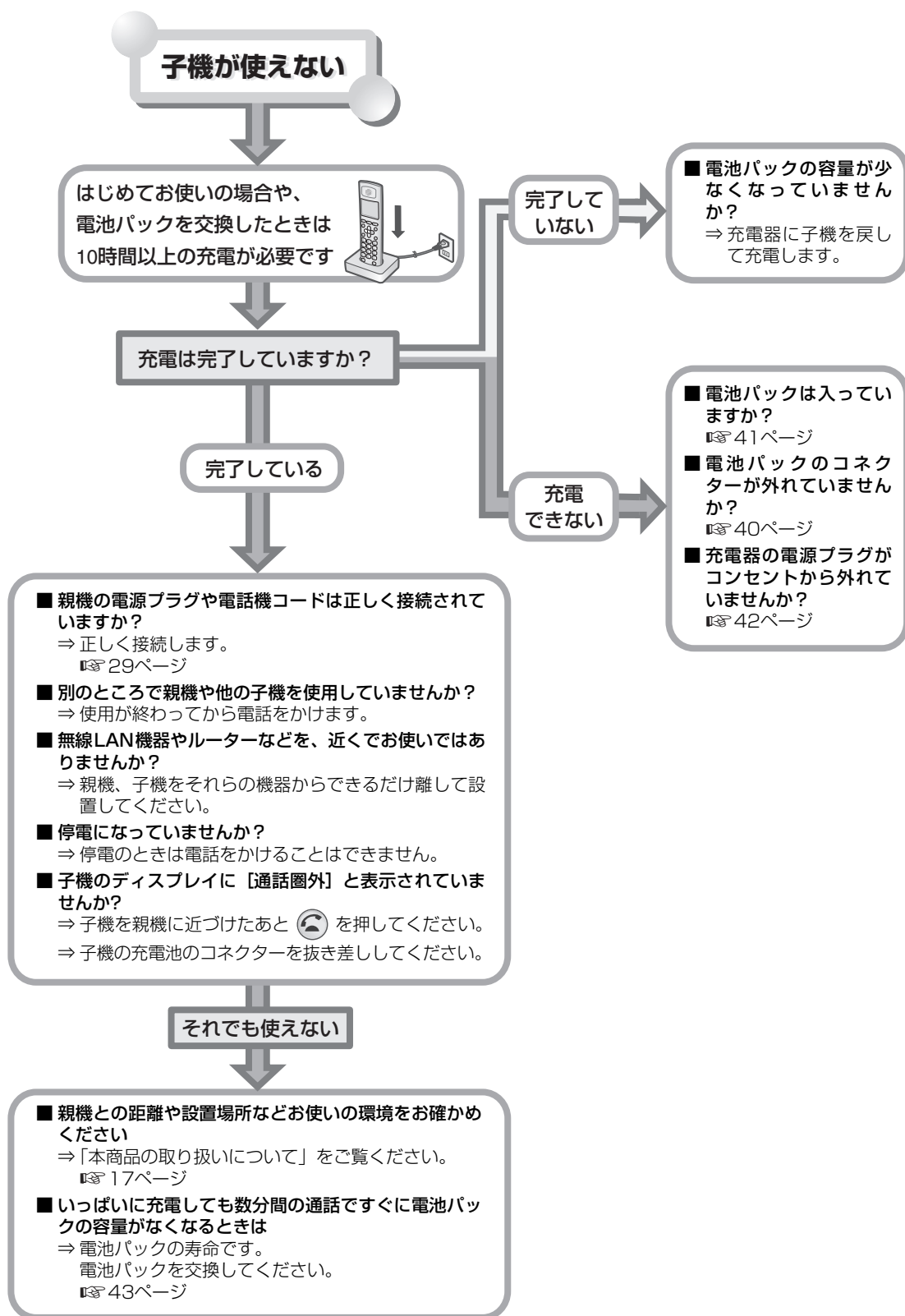
ご参考に

さくしん

印刷した画像が汚い



子機が使えない



留守モードが正しく働かない

留守モードが正しく働かない

留守に設定できますか？

設定できない

設定できる

正しく用件の録音や
ファクス受信はできますか？

できない

できる

正しく働かない動作は何ですか？

録音した応答メッセージ
が流れない

■ 応答メッセージは正しく録音
されていますか？

⇒ 応答メッセージを正しく録
音します。

☎ 88ページ

⇒ メモリーがなくなると自動
的に固定メッセージに切り
替わります。

☎ 87ページ

■ おやすみモードに設定してい
ませんか？

⇒ おやすみモードに設定して
いないか確認します。

☎ 133～134ページ

■ お声聴機能を[なし]に設定
していませんか？

⇒ [あり] に設定します。

☎ 196ページ

リモート操作ができない

■ 留守設定にしていますか？

⇒ 留守設定にしてい
ない
と外出先からリモート
操作できません(在宅時
応答回数、ファクス自動
受信、ファクス優先のい
ずれかを設定している
ときは、留守設定してい
なくてもリモート操作
できます)。

■ 暗証番号を登録していま
すか？

⇒ 暗証番号を登録してい
ない
と外出先からリ
モート操作できません。

留守モードを解除しても
ボタンが点滅している

■ 未再生の録音がありませ
んか？

⇒ 未再生の録音をすべて
再生すると消灯します。

☎ 84～85ページ

■ メモリーがいっぱいになっていま
せんか？

⇒ メモリー受信データを印刷／消去
します。

☎ 110、113ページ

⇒ 不要な録音を消去します。

☎ 84～85ページ

■ SDカードを利用すると、保存できる容
量を増やすことができます。

☎ 117～119ページ

■ 着信するまでの回数が長いとファクス
受信できないことがあります。

⇒ 着信音の回数を現在の回数より少な
くします。

☎ 91ページ

■ 相手の声が小さいときや、用件が短い
ときは、途中で途切れたり録音されないこ
とがあります。

SDカードが使えない

SDカードを認識しない

SDカードはしっかりと
セットされていますか？

セットしていない

⇒ SDカードは表裏を確認したうえで、しっかりと奥まで差し込んでください。
☎ 119ページ

セットしている

使用可能なSDカードを
お使いですか？

使用していない

⇒ 使用可能なSDカードをご使用ください。
☎ 117ページ
⇒ マルチメディアカードは使用できません。

使用している

もう一度SDカードを
抜き差ししてください

それでも認識しない

⇒ SDカードや本商品の読み込み部が故障している可能性があります。

SDカードに保存できない

SDカードのロックが
入っていませんか？

入っている

⇒ ロックを解除してから、本商品にセットしてお使いください。
☎ 117ページ

入っていない

SDカードの容量がいっぱい
になっていませんか？

いっぱい

⇒ 本商品やパソコンなどでデータを消去してください。
☎ 84、110ページ

空きがある

録音データが1200件になっていませんか？
または受信ファクスデータが1200件
になっていませんか？

なっている

■ 録音データは1200件、受信ファクスデータは1200件を超えて保存することはできません。
⇒ 不要なデータは消去してください。
☎ 84、110ページ

SDカードの読み込みに 時間がかかる

⇒ SDカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

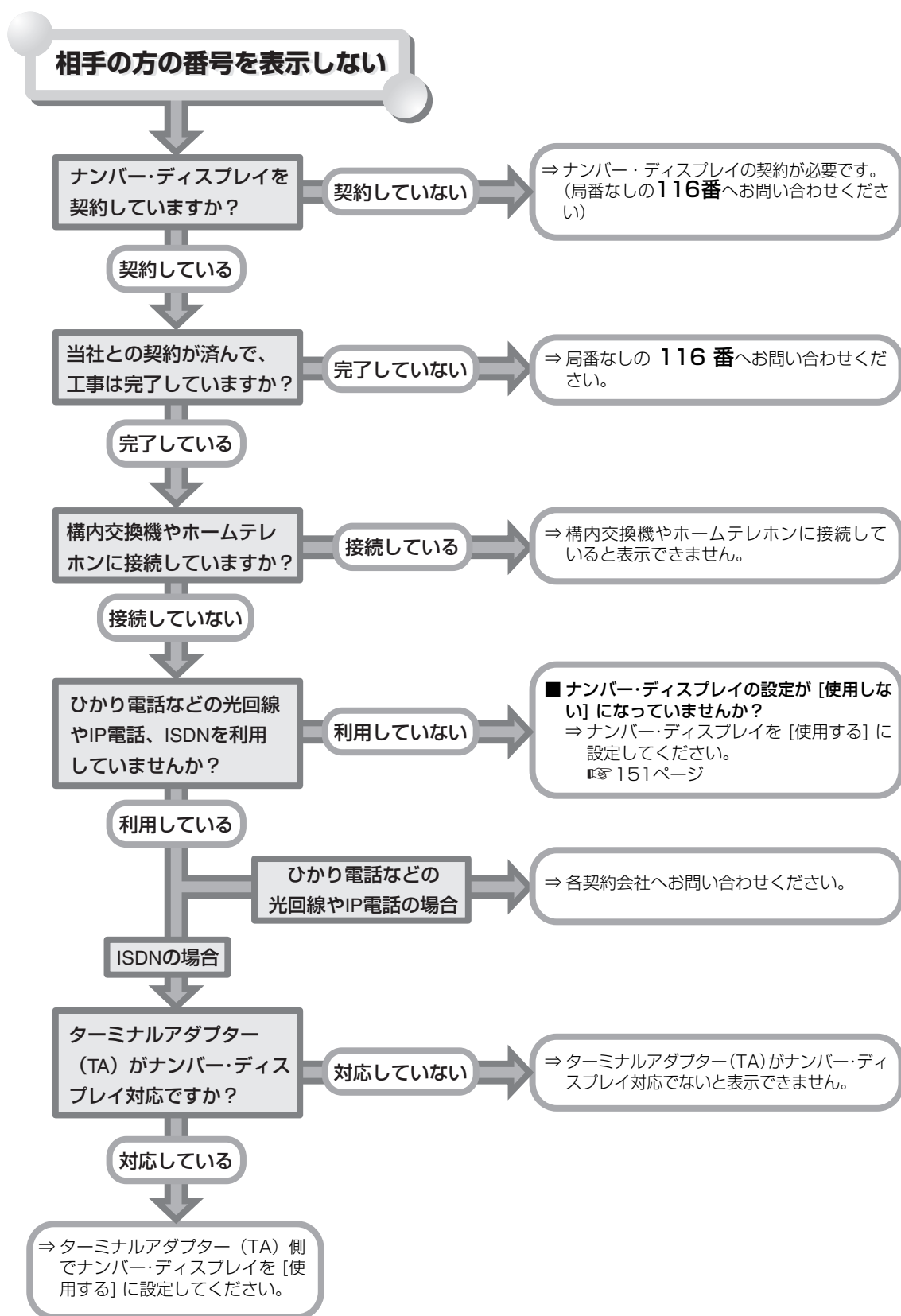
ナンバーディスプレイ

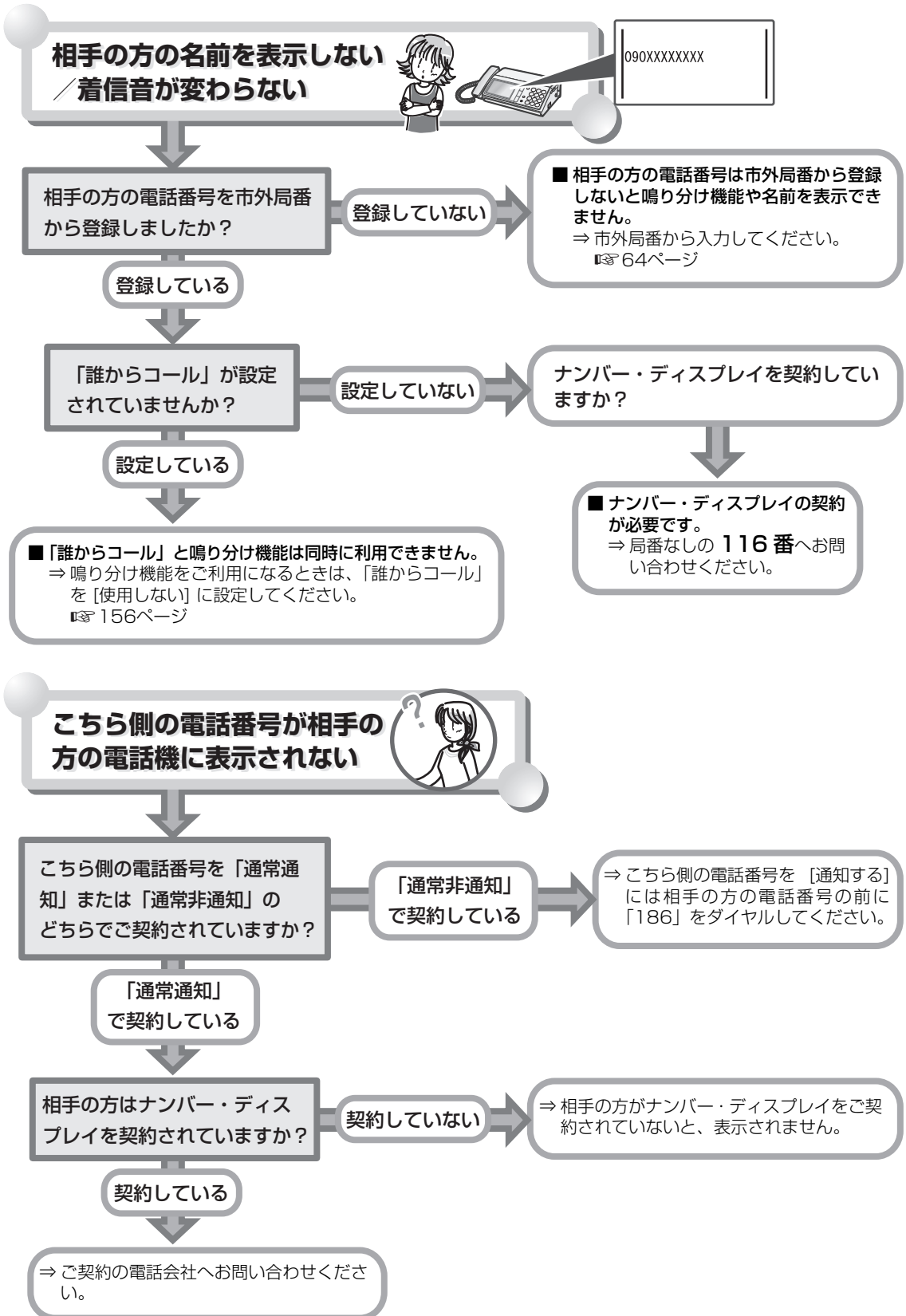
こまったときは

ご参考に

さくいん

ナンバー・ディスプレイが使えない





ADSLやひかり電話をご契約の方へ

ひかり電話などの光回線を利用していると…

ナンバー・ディスプレイやダイヤルインサービスが動作しない

⇒ ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。

IP電話／ADSLを利用していると…

ファクスの送受信ができない
電話やファクスを使っていないのに「外線使用中」などの表示が出る
ナンバー・ディスプレイが動作しない
電話の音が聞こえにくい・雑音が入る
受話器を取ると「キーン」という音が出る

■ スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。
また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。
⇒ 改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。

⇒ それでも改善されないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

ISDNを利用していると…

受話器を取ると「キーン」という音が出る
音がワンワン響く
音が大きすぎる

■ ターミナルアダプターの送話・受話音量を調節してください。

⇒ それでも改善しないときは、ターミナルアダプターのメーカーへお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイが動作しない

■ ターミナルアダプターの設定が必要です。
⇒ ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

その他 こまったときは

正しく操作しても動かない
／動作がおかしい

■ 電話機コードや電源プラグが外れていませんか？
⇒ 電話機コード、電源プラグをしっかりと接続します。

■ 電源を入れ直したり、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。
☎ 193ページ

⇒ それでも改善されないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

おしゃべり電話帳、誰からコール、誰あてコール、どこからコールの音声聞き取りにくい

■ 親機のスピーカー音量を調整できます。
☎ 48ページ

■ 誰からコールや誰あてコールの場合、アクセントを変更できます。
☎ 67、157ページ

■ 音声合成システムで作った音なので、人の声に比べると聞き取りにくいことがあります。

登録していた日時が
自動的に変更される

■ 親機の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。
⇒ 親機の日時登録を正しく設定します。
☎ 44ページ

■ 親機の日時登録を転送したくないときは。
⇒ 時計バックアップを「使用しない」に設定してください。
☎ 198ページ

■ 親機の日時登録が間違っている場合、親機の日時登録が優先されます。

タッチパネルが反応しない
／タッチした項目とは違う項目が反応する

⇒ タッチパネル調整を行ってください。
☎ 181ページ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくしん

その他 こまったときは

○こまったときは

通話中などに、突然 ファクス受信する	■ 声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。 ⇒ 何度も続けて起こるときは、おまかせ受信を [なし] に設定します (197ページ)。
インクリボンが なくなった	■ 印刷やコピーができません。 ⇒ インクリボンをお買い求めください。 ■ インクリボン (ギヤ付きタイプ) は、必ず当社指定品をお使いください。 ⇒ ファクシミリ用P型A4インクリボン (12)
各種サービスを 受けられない	■ ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。 ⇒ 各契約会社にお問い合わせください。
ディスプレイに何も 表示されない	■ 省電力モードになっていませんか？ ⇒ 約3分間、何も操作をしないと、節電のためにディスプレイの表示が消えます。 いずれかのボタンを押すと、再びディスプレイが表示されます。

○停電になったときは

電話機	● 親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ● 子機を使用することはできません。 ● 各種サービスは動きません。 ● ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 ● 通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	● 留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ● 外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。 ● 停電になっても、録音内容は消えません。
ファクス	● 停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ● 送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。 受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。 ● メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。 ● 紙がつまった場合は、186～188ページをご覧ください。用紙を取り除いてから再度操作してください。
コピー	● 停電中は、コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	● 電話帳などに登録されている内容は消えません。 ● 日付・時刻の設定は消えてしまいます。 子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを [使用する] に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます (198ページ)。 転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください (44ページ)。

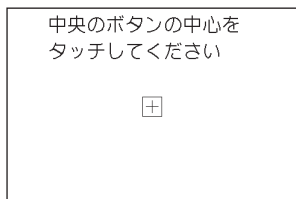
タッチに正しく反応しないときは

タッチに反応しない、タッチした項目とは違う項目が選択されるなど、タッチパネルが正常に反応しないときは、以下の操作で調整します。

1 ^{メニュー}  を押し、**#**  を4回押す

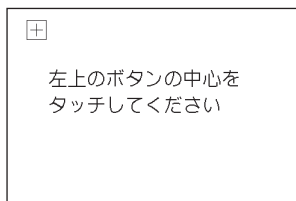
2 **8** ^や  を押す

3 表示される十字マークの中心をタッチする



●正しくタッチすると次へ進みます。

4 画面表示に従って、左上、左下、右下、右上でも、それぞれ同じようにタッチする



5 [完了しました] と表示されたら

^{停止}
 を押す

●以上の操作を行ってもタッチパネルが正常に反応しないときは、十字マークの中心を正しくタッチできていなかった可能性があります。手順**1**からやり直してください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくしん

記録紙に白や黒の線が入るときは

コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。こんなときは、読み取り部を清掃してください。

また、読み取り部を清掃しても線が消えないときは、記録ヘッド手前のリボンガイド部を清掃してください（P.185ページ）。

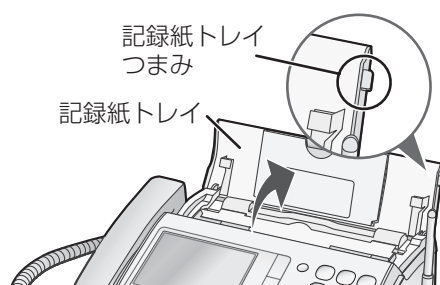


警告

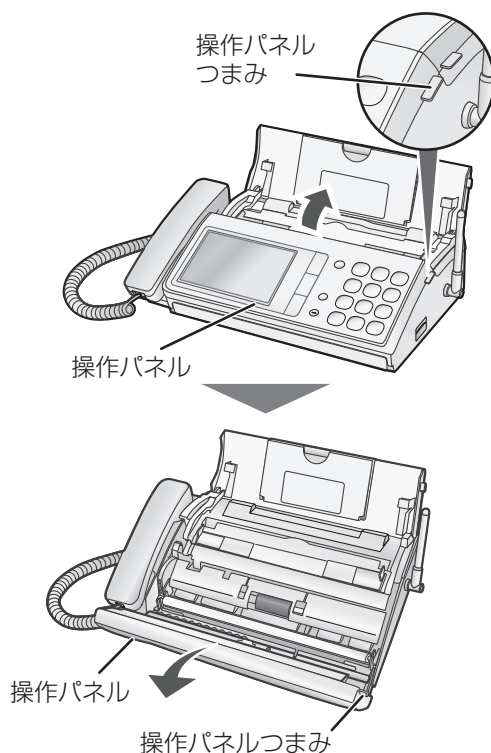
点検・清掃（お手入れ）は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）始めてください。また、水滴がついたときは、乾いた布でふき取ってください。感電・やけどの原因となることがあります。

読み取り部を清掃する

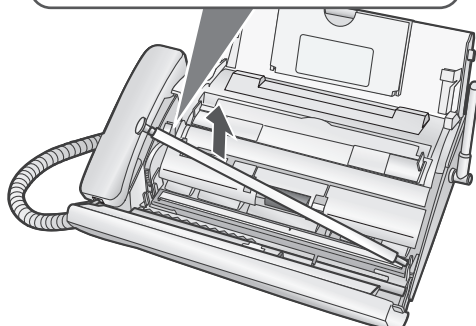
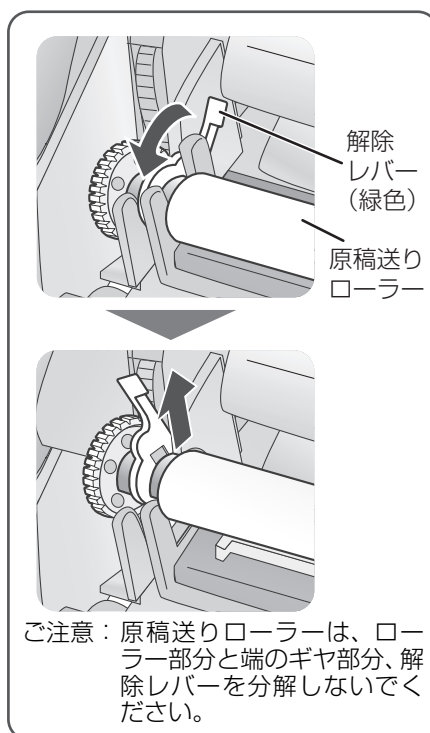
- 1** 記録紙トレイツまみを持って、記録紙トレイを後ろに起こす



- 2** 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす

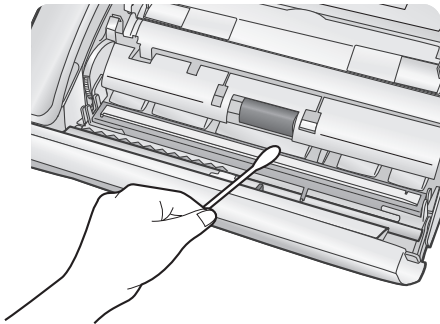


- 3** 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる



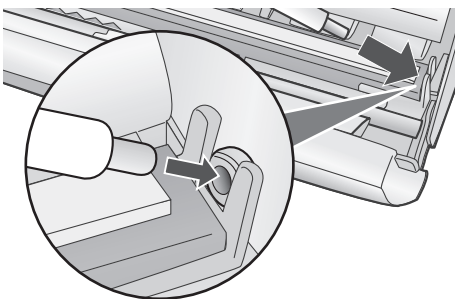
次ページへ

4 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく



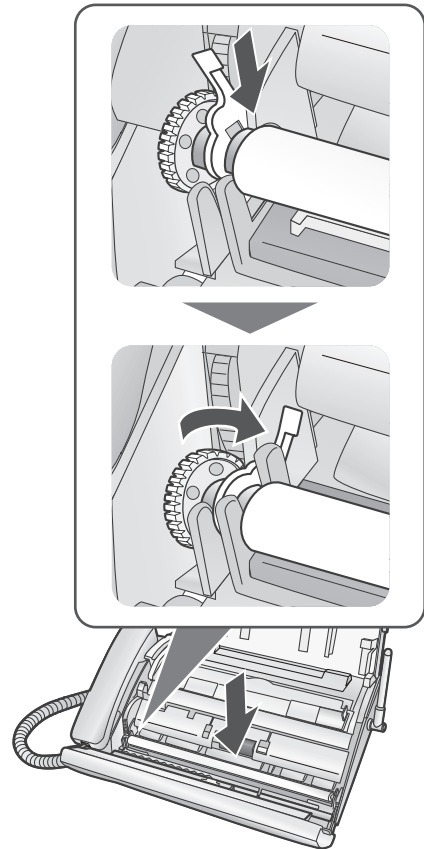
●ガラス面の汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。そのあと、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

5 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む

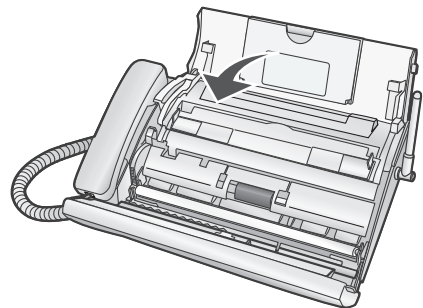


原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。
また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。

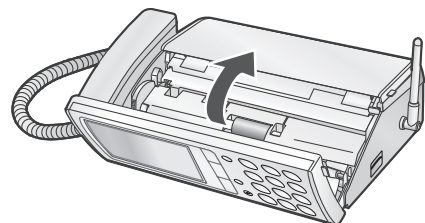
6 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



7 記録紙トレイを閉める



8 操作パネルを閉める



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくしん

お手入れのしかた



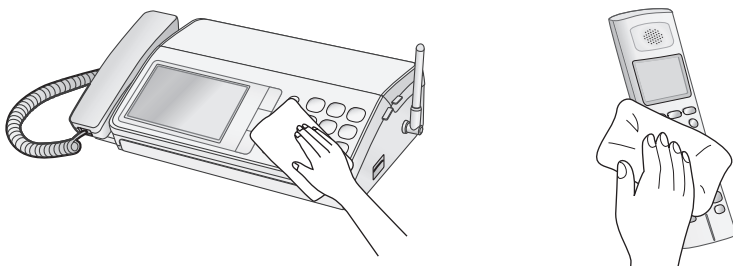
本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電や、変色・変形・変質・故障の原因となることがあります。

誤って操作しないように、清掃の前にキーロックを設定してください（親機 146ページ／子機 147ページ）。

親機や子機を清掃する

お手入れには、乾いた柔らかい布（眼鏡ふきなど）をお使いください。

汚れがひどいときは、水にひたしてよくしぼった布で清掃してください。そのあと、水分が残らないように、乾いた布でからぶきしてください。



液晶ディスプレイ（タッチパネル）を清掃する

液晶ディスプレイ（タッチパネル）に指紋などが付いたときは、乾いた柔らかい布（眼鏡ふきなど）で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。



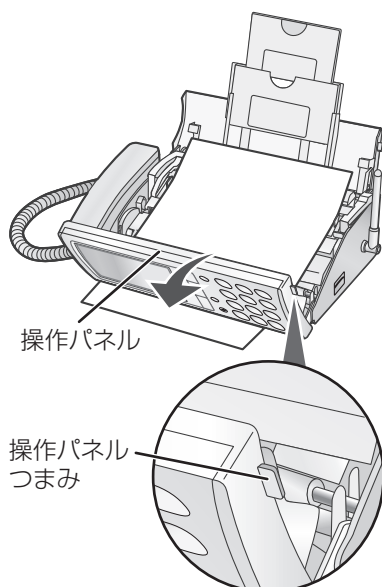
原稿や記録紙がつまったときは

原稿がつまったときは

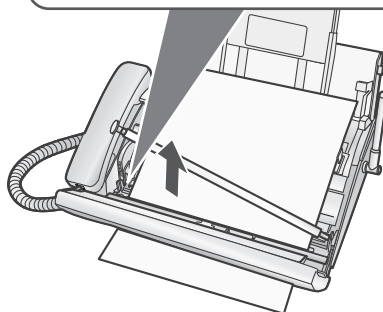
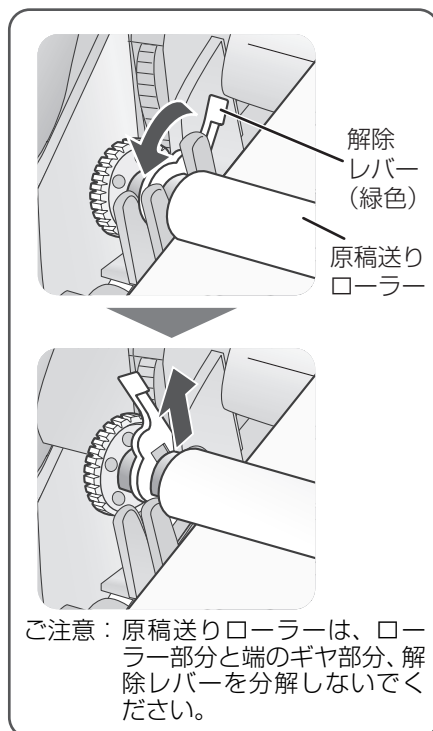
原稿がつまったときは、まず  →  の順に押して原稿を排出してください。排出されないときは、次の手順で取り除いてください。

記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを起こす

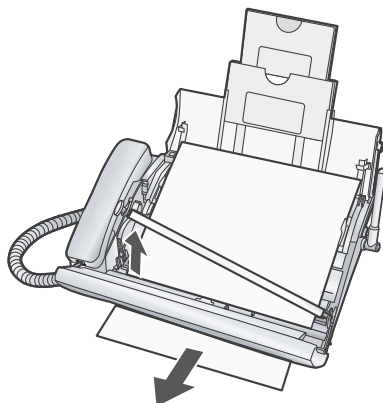


2 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる



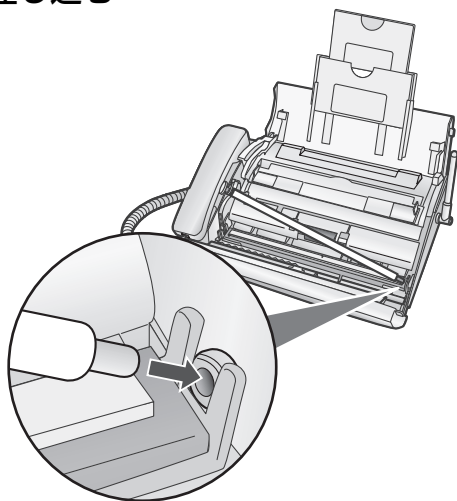
次ページへ

3 つまった原稿を取り除く



- つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。無理に引っ張ると、破れることがあります。また、故障の原因になります。
- 万一破れてしまったときは、本体の中に破れた紙が残らないように注意深く取り除いてください。

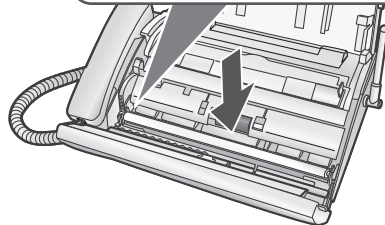
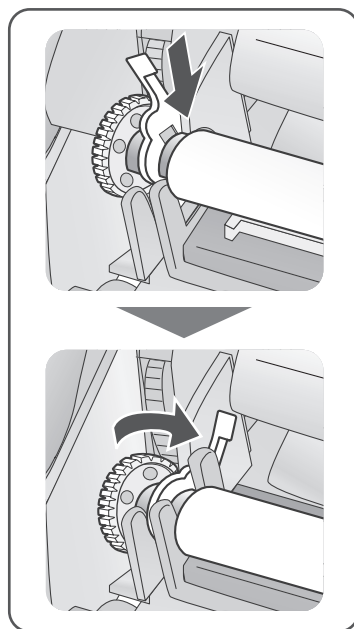
4 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む



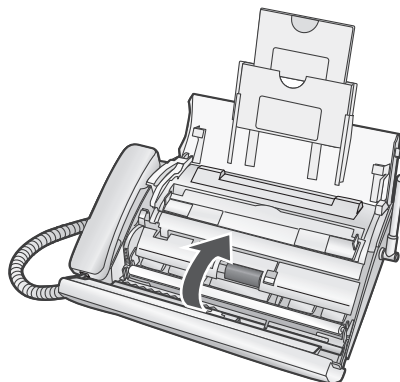
原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。

また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。

5 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



6 操作パネルを閉める



- 記録紙や原稿をセットしてください (P.92、112ページ)。

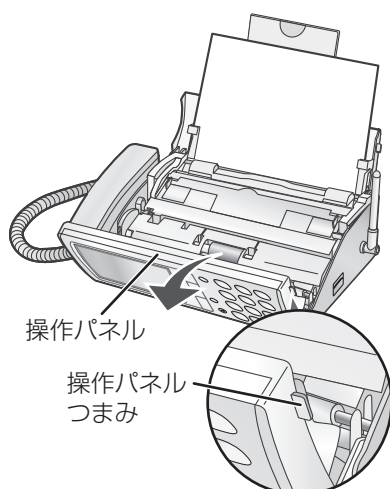
記録紙がつまったときは

記録紙がつまったときは次の手順で取り除いてください。

印刷の途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。

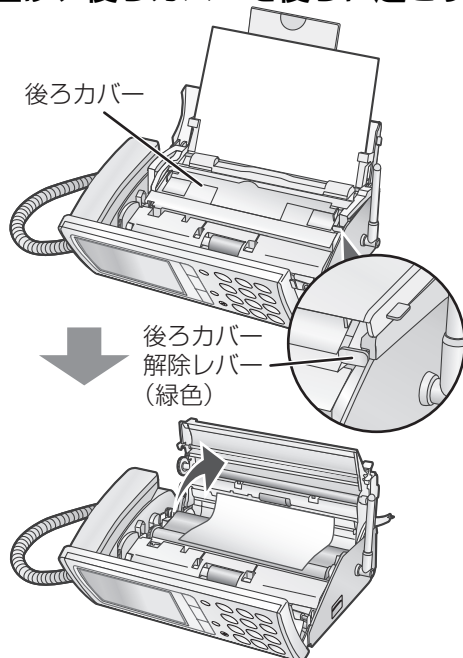
そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボンを交換してください（☎37～38ページ）。

1 操作パネルつまみを持って、 操作パネルを起す

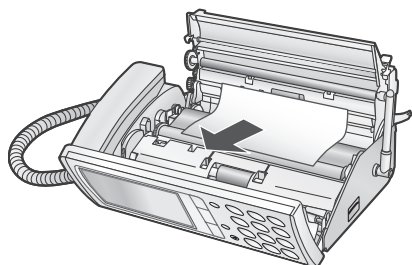


- 記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作します。

2 後ろカバー解除レバーを押し 上げ、後ろカバーを後ろに起こす

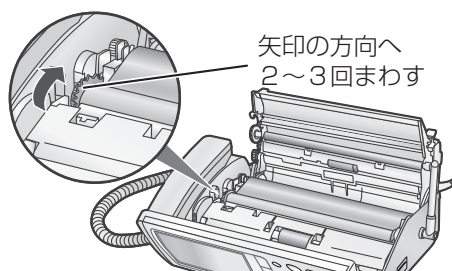


3 つまった記録紙を取り除く

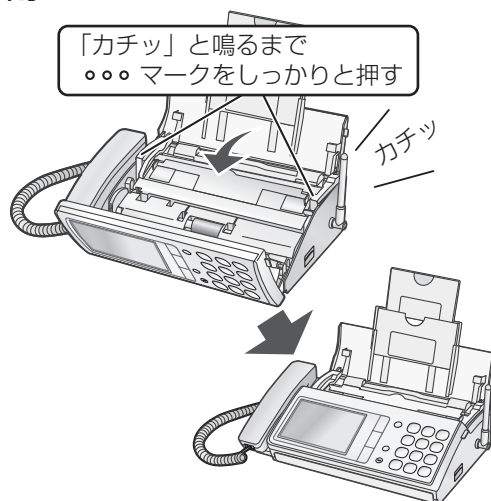


- 操作パネルや後ろカバーを閉じたまま、つまった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
- 記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に取り除いてください。

4 インクリボンのたるみを取る



5 後ろカバー、操作パネルの順に 閉める



- 記録紙をセットしてください（☎112ページ）。

エラー表示／エラー音について

この部分に、お知らせやエラーメッセージを表示します。



- エラーメッセージに「操作ガイド」の表示がある場合は、**？操作ガイド** をタッチして対応を表示できます。
- お知らせやエラーメッセージが1行を超えるときは、1行ずつ交互に表示されます。

お知らせ／エラー表示（親機を使っているとき）

	表示／エラー音	対応	参照ページ
あ 行	インクリボン切れのため ファクスを中断しました 操作ガイド	●インクリボンを交換します。 ●緑色のギヤをまわして、インクリボンのたるみを取ります。	37～38 35～37
	インクリボンがありません 交換してください 操作ガイド		
	後ろカバーが開いています 閉めてください 操作ガイド	●後ろカバーを閉め直します。	37
	応答がありません 操作ガイド	●「親機でお話してからファクスを送る」の方法で送信してください。	92～93
か 行	外線自動応答中	●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。	—
	記録紙切れのため ファクスを中断しました 操作ガイド	●記録紙がないときはセットします。セットしているときは、正しくセットされているかを確認してください。	112
	記録紙がつまりました 取り除いてください 操作ガイド	●つまった記録紙を取り除きます。 ●記録紙が正しくセットされているかを確認してください。	188 112
	記録紙づまりのため ファクスを中断しました 操作ガイド		
	原稿がつまっています 取り除いてください 操作ガイド	●メニュー → 0 わ と順に押すと、原稿が自動的に排出されます。 ●それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します。	94 186～187
	子機を確認ください	●子機が使用できない状態（電池切れ／電波が届かないなど）になっていないか確認してください。	—
	子機使用中 また、「ツーツー」という音が聞こえる	●子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。	—

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくしん

	表示／エラー音	対応	参照ページ
か 行	子機を増設します	●親機が子機増設登録モードになっています。「停止ボタン」を押して終了してください。 子機を増設は担当者が実施いたします。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	—
		●子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。	—
さ 行	受信ファクスがあります [ファクス]を押す	●メモリー受信したデータを、印刷してください。 ●「見てからプリント」で確認して、不要なら消去してください。	113 110
た 行	着信がありました	●留守中などにかかってきた電話やファクス、ドアホン着信などがあります。[着信記録]をタッチして確認してください。	137
	通信エラー（1～15） また、「通信エラーが ありました。」と聞こえる	●相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます（1～15の番号は、当社のサービス担当が通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、局番なしの113番までご連絡ください）。	—
は 行	ファクス受信メモリー一杯です 不要なファクスを消去 操作ガイド	●メモリー受信した内容を印刷または消去します。 ●不要な録音メッセージを消去します。	110、113 84～85
	プリンタが高温です プリンタが高温のため ファクスを中断しました	●長時間連続して印刷やコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなることがあります。しばらくお待ちください。	—
ま 行	未再生録音があります [留守]を押す	●未再生の留守録音があります。再生してください。	82、85
ら 行	録音があります [用件]を押す	●未再生の録音があります。再生してください。	84～85
	録音メモリー一杯です 不要な録音を消去 操作ガイド	●不要な録音メッセージを消去します。	84～85

SDカードを使用しているとき

表示／エラー音		対応	参照ページ
SD カードが入って いません	▶	●SDカードが入っていません。 ●SDカードが正しく取り付けられていません。	－ 119
SD カードを読み 込めません	▶	●SDカード内に読み込むデータがありません。	－
SD カードが書き込み 禁止になっています	▶	●SDカードの書き込み禁止スイッチがロックされてい ます。	117
メモリーフルです	▶	●SDカードの容量がいっぱいです。	－

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

さくいん

子機を使っているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
親機検索中	●親機や増設子機が使用中です。 ●親機の電源プラグを接続してください。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。	— 29 17 —
外線使用中	●親機が使用中です。親機の使用が終わるまでお待ちください。	—
子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる	●雑音の少ないところでご使用ください。 ●無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください。	— 198
新着あり	●未再生の留守録音があります。親機または子機を操作して、再生してください。	—
自動応答中	●留守モードなどで、応答メッセージが流れて自動応答しています。	84～85
受信 FAX あり	●メモリー受信したデータを印刷してください。	113
通話圏外	●親機の電源プラグを接続してください。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 ● を押すと表示が消えて使えるようになることがあります。	29 17 — —
「ピーピー」	●親機や増設子機が使用中です。 ●親機の電源プラグを接続してください。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。	— 29 17 —
「ピピピピ」	●名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超えています。	—
「ピピッ……ピピッ……」	●充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。 ●長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい電池パックと交換してください。	42 194

故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

- ・ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
- ・ボタンがまったく効かない。 ・電話帳リストなどを印刷するとデータが乱れている。
- ・コピーなど、印刷ができない状態が続く。 ・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試ください。また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります（電話帳以外初期化、電話帳消去、登録初期化 195 ページ）。

子機のボタンが効かないとき

■子機の充電電池のコネクターを抜き差しする
子機の充電電池のコネクターを抜いて、もう一度接続してみてください（194 ページ）。

- 子機の日付・時刻の設定は消えます。
親機が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップの設定が「使用する」のとき 198 ページ）。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

その他の場合

タッチパネルが正しく反応しないときは、181 ページをご覧ください。

■親機を再起動する

ボタンが効かないといった状態になったときは、親機を再起動してください。

- ①  を約 15 秒以上押したままにする
 - ② ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示されたら  から指を離す
- 自動的に再起動が行われます。
 - 再起動しても、登録した内容は消えません。
 -  を約 15 秒以上押したままにしても再起動しない場合は、電源を入れ直してください（195 下記）。

再起動しても症状が改善されないときは、下記をご覧ください。

■電源を入れ直してみる

親機を再起動しても改善されないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。

- 親機の日付・時刻の設定は消えます。
子機が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップの設定が「使用する」のとき 198 ページ）。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

左の操作をしても症状が改善されないときは次の操作（強制リセット）を行ってください。
【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、すべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】

- この操作を行う前に、必要な録音データやファクスデータ、電話帳のデータなどをSDカードに保存しておくことをおすすめします（121～122 ページ）。

■親機を強制リセットする

- ① 電源プラグを電源コンセントから抜く
 - ②  と  を同時に押したまま、電源プラグを電源コンセントに差し込む
 - ③ ディスプレイに「メモリークリア中」と表示されたら、 と  から指を離す
- 強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳 2 件分が復活します。
 - 電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください（30～31 ページ）。
 - 強制リセットをすると、日付・時刻の設定のあと、自動的に回線種別を設定します。
電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約 20 秒）が終わってからにしてください。

強制リセットを行っても症状の改善が見られない場合、または症状が再三発生する場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店へお申し付けください。

別売品／消耗品

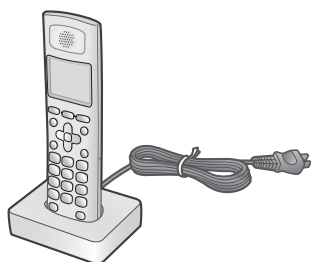
別売品／消耗品として、次のものを用意しています。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。本商品を長い間安心してお使いいただくためにも、当社指定品をお使いください。指定品以外の記録紙やインクリボンを使用されると印刷がかすれたり、薄く印刷されたりすることがあります。

別売品

■増設用コードレス電話機

2.4Gデジタルコードレス電話機「S3」

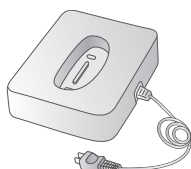
コードレス電話機は、P-268SDwにはもう2台加えて最大4台まで、P-268SDにはもう3台加えて最大4台まで使うことができます。増設用のコードレス電話機には、充電器と電池パックなどがセットされています。



■充電器

●充電器

2.4G デジタルコードレス電話機「S3」充電器



■ドアホン

ドアホンは2台まで接続することができます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンが使用できます。

■ドアホンボックス

U-ドアホンボックス

消耗品

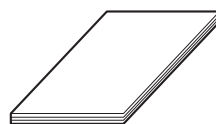
消耗品については、**パーツサービスセンタ**

(☎ 0120-86-8289) またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■記録紙

ファクシミリ用P形A4記録紙 (2)

A4サイズ (100枚1組)



記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の NTTFAXP-268SDw/P-268SD用記録紙以外はご使用にならないでください。

シャープ製ファクシミリ用普通紙 A4サイズ (250枚1組) もお使いになれます。

型番：PP110MA4

■インクリボン

ファクシミリ用P型A4インクリボン (12) (約33m)

シャープ製インクリボン (約33m) もお使いになれます。

型番：UX-NR8G (1本)

：UX-NR8GW (2本1組)

■2.4G デジタルコードレス電話機用電池パック

電池パック-107



登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。ただし、SDカードのデータは消去されません。

登録データ初期化をすると登録・設定した内容のほかに、留守録などの録音、メモリー受信データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。

——— 本商品を廃棄、譲渡などするときは ———

お客様の個人情報流出による被害を防ぐために、親機の「電話帳以外初期化」と「電話帳消去」、子機の「登録初期化」の操作を行って、本商品に記録したデータを消去することをおすすめします。親機のデータは、「強制リセット」（P.193ページ）で一括して消去することもできます。また、ご使用のSDカードを廃棄するときは、データを完全に消去して、それぞれの地域のルールに従って分別廃棄してください。

■ 親機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外初期化）

- ① を押し、 を4回押す
 - ② [電話帳以外初期化] を選ぶ
 - ③ [する] を選び、 をタッチする
 - ④ を押す
- 電話帳の内容、誰あてコール設定、日付・時刻の設定を除いて、工場出荷時の設定に戻ります。

■ 親機の電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳消去）

電話帳がすべて消えます。誰あてコール設定は工場出荷時の設定に戻ります。操作の前に、電話帳のデータをSDカードに保存しておくことをおすすめします（P.122ページ）。

- ① を押す
- ② [各種全消去] → [電話帳] → [消去する] の順に選び、 をタッチする

■ 子機の登録や設定の内容をすべて工場出荷時に戻す（登録初期化）

- ① を押し、 で [システム設定] を選ぶ
 - ② を押し、 で [登録初期化] を選ぶ
-
- ③ を押し、 で [全ての登録] を選ぶ
 - ④ を2回押す
- 子機の登録内容がすべて工場出荷時の設定に戻ります。

■ 子機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外）

- ① を押し、 で [システム設定] を選ぶ
- ② を押し、 で [登録初期化] を選ぶ
- ③ を押し、 で [電話帳以外] を選ぶ
- ④ を2回押す

■ 子機の電話帳に登録した内容をすべて消去するには（P.68ページ）

● お知らせ ●

- 親機登録データ初期化をしたあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。
- 本商品で SD カードのデータを完全に消去することはできません。パソコンなどを利用してデータを完全に消去するか、SDカードを物理的に破壊してデータの読み出しができないようにすることをおすすめします。

特別設定について

使用状況に応じて、以下の項目を親機で設定できます。

特別設定メニューは、を押したあと、を4回押して呼び出します。

設定項目	設定の内容
[留守番電話関連の設定] → [応答メッセージ待ち時間]	留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。 [1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒] のいずれかを選びます（工場出荷時は [4 秒]）。
[留守番電話関連の設定] → [発信音待ち時間]	応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。 [1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒] のいずれかを選びます（工場出荷時は [4 秒]）。
[留守番電話関連の設定] → [お声拝聴]	留守番電話設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。 [あり] または [なし] を選びます（工場出荷時は [あり]）。
[留守番電話関連の設定] → [留守録音時間]	留守録の録音時間を設定できます。 [30 秒] [1 分] [2 分] のいずれかを選びます（工場出荷時は [30 秒]）。
[留守番電話関連の設定] → [戻って録音時間]	145ページをご覧ください。
[ファクス関連の設定] → [ファクス受信方法]	ファクスの受信方法を、[見てからプリント] [メモリー受信] [記録紙受信] のいずれかに設定できます（工場出荷時は [見てからプリント]）。 [見てからプリント]： 受信した内容を親機のメモリーまたはSDカードに記録し、印刷する前にディスプレイで確認することができます。 [メモリー受信]： 受信した内容を親機のメモリーまたはSDカードに記録してから、自動的に印刷します。 記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データは親機のメモリーまたはSDカードに保存されています。 [記録紙受信]： 受信した内容を、直接記録紙に印刷します。 記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。 受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。 ただし2枚に分かれて印刷されることがあります。
[ファクス関連の設定] → [受信モード] → [ファクス優先]	ファクス優先とは、いったん着信したあと、電話かファクスかを本商品が自動的に判断する機能です。 ファクスなら着信音を鳴らさずに受信し、電話なら着信音を鳴らします。 ファクスを受信することが多い方におすすめの機能ですが、電話の場合は、こちらが不在でも相手側では2回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。 そのため、電話を受けることが多い方にはおすすめできません。 ファクス優先に設定するときは、4～25回の着信音回数を設定します。 ●ファクス優先は、留守番電話を設定しているときは動作しません。 留守番電話を解除すると、再びファクス優先が働きます。 ●ファクス優先に設定すると、ディスプレイに ファクス優先 と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。 ●ファクス優先に設定していると、親機の着信音は [電話ベル音] になります。 また、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。 設定時に [ファクス関連の設定] → [受信モード] → [設定しない] の順に選んで  をタッチすると解除できます。
[ファクス関連の設定] → [受信モード] → [ファクス専用]	ファクス専用とは、すべての着信で、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。 自動着信したときから、相手の方に通話料金がかかります。 ファクス専用に設定すると、電話を受けることはできませんのでご注意ください（電話をかけることはできます）。 ●ファクス専用は、留守番電話を設定しているときは動作しません。 留守番電話を解除すると、再びファクス専用が働きます。 ●ファクス専用に設定すると、ディスプレイに ファクス専用 と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。 ●ファクス専用に設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。 着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話できます。 ●ファクス専用に設定していると、相手の方の受話口に「ピー…ヒョロロ」という音が鳴ります。 設定時に [ファクス関連の設定] → [受信モード] → [設定しない] の順に選んで  をタッチすると解除できます。

特別設定メニューは、を押したあと、を4回押して呼び出します。

設定項目	設定の内容
[ファクス関連の設定] → [在宅時応答回数]	電話に出られなかったとき、留守設定をしなくても相手先に応答メッセージを流すように設定できます。[回数選択] または [無制限呼出] の設定があり、応答メッセージを流すように設定するときは、[回数選択] を選んで着信音の回数を設定します（設定した回数の着信音が鳴り終わると相手先にメッセージを流します）。自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。 [無制限呼出]（工場出荷時設定）にすると、応答メッセージは流れず、相手が電話を切るまで着信音が鳴り続けます。 応答メッセージの内容： 「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください」 ●着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、本商品が自動受信しないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、自動的にファクスを受けたいときは、着信音の回数を6回以下に設定してください。
[ファクス関連の設定] → [おまかせ受信]	相手先からファクスが自動送信されているとき（「ポー・ポー・ポー…」と聞こえるとき）、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。[あり] または [なし] を選びます（工場出荷時は [あり]）。
[ファクス関連の設定] → [縮小受信]	ファクスを印字したときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約93%に縮小して印刷する機能の設定ができます。[あり] または [なし] を選びます（工場出荷時は [あり]）。 [なし] に設定すると、相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは2枚に分かれて印刷されることがあります。また、白紙が1枚出てくることがあります。
[ファクス関連の設定] → [発信音検出]	電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本商品が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。自動送信がうまくできないときは、この設定を [なし] にするか、受話器を取って送信してください。[あり] または [なし] を選びます（工場出荷時は [あり]）。
[音関連の設定] → [親機送話音量切替]	親機での通話時に相手先へ送出される音量を切り替えられます。[小] [標準] [大] のいずれかを選びます（工場出荷時は [標準]）。
[音関連の設定] → [子機送話音量切替]	子機での通話時に相手先へ送出される音量を切り替えられます。[小] [標準] [大] のいずれかを選びます（工場出荷時は [標準]）。
[音関連の設定] → [子機受話音量切替]	子機での通話時に相手先から聞こえる音量を切り替えられます。[小] [標準] [大] のいずれかを選びます（工場出荷時は [標準]）。 ●通話中に子機の操作で受話音量を切り替えることもできます（  49ページ）。
[音関連の設定] → [子機受話音質切替]	すべての子機の受話音質を一度に調整できます。[低い] [標準] [高い] のいずれかを選びます（工場出荷時は [標準]）。 ●使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」（  49ページ）をご覧ください。
[音関連の設定] → [スピーカー音量]	48ページをご覧ください。
[音関連の設定] → [キータッチ音の設定] → [キータッチ音]	親機のボタンを押したときに鳴る音（キータッチ音）の有無を設定できます。[あり] または [なし] を選びます（工場出荷時設定は [あり]）。
[音関連の設定] → [キータッチ音の設定] → [キータッチ音の音色]	キータッチ音の音色の種類を設定できます。[効果音] または [ブザー] を選びます（工場出荷時は [ブザー]）。 上記 [スピーカー音量] を大きくしてお使いの方は、[ブザー] を選ぶことをおすすめします。
[音関連の設定] → [キータッチ音の設定] → [効果音の音量]	上記 [効果音] の音量を設定できます。[小] [標準] [大] のいずれかを選びます（工場出荷時は [標準]）。

特別設定について

特別設定メニューは、を押したあと、を4回押して呼び出します。

設定項目	設定の内容
[電話関連の設定] → [ナンバー・ディスプレイ]	ナンバー・ディスプレイ機能の利用設定ができます。[使用する] または [使用しない] のいずれかを選んでください（工場出荷時は [使用する]）。 ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは、[使用する] に設定します。構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは [使用しない] に設定します。
[電話関連の設定] → [キャッチホン] → [キャッチホン・ディスプレイ]	154ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [キャッチホン] → [キャッチホン切替時間]	キャッチホン利用時に回線を開放する時間を設定できます。[0.4秒] [0.6秒] [0.8秒] のいずれかを選びます（工場出荷時は [0.8秒]）。 交換機の種類などによっては、キャッチホン利用時に電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、短い時間に設定します。
[電話関連の設定] → [着信らくらく番号登録]	165ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [どこからコール]	157ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [地域番号帯登録]	157ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [着信通知]	137ページをご覧ください。
[電話関連の設定] → [デカ文字着信]	電話着信時のディスプレイの文字を大きくする設定ができます。[使用する] または [使用しない] を選びます（工場出荷時は [使用する]）。
[回避チャンネル設定]	回避する電波のチャンネルを設定できます。他の電化製品（無線LANなど）の電波干渉などによって通話に雑音が入るとき、設定を変更すると改善されることがあります。他の電化製品（無線LANなど）が使用しているチャンネルを選んでください。[チャンネル1] [チャンネル6] [チャンネル11] のいずれかを選びます（工場出荷時は [チャンネル6]）。 無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。
[時計機能] → [時計バックアップ]	親機と子機いずれかの日時設定が消えたときに、もう一方から自動的に日時設定を転送する機能を設定できます。日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは転送できません。[使用する] または [使用しない] を選びます（工場出荷時は [使用する]）。
[時計機能] → [子機へ時計送信]	親機に登録されている日時を子機に転送します。あらかじめ親機の日時を登録しておいてください。子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。 ●時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。
[時計機能] → [子機から時計受信]	子機1に登録されている日時を親機に転送します。あらかじめ子機1の日時を登録しておいてください。ただし、子機1が使用範囲外にあるなどで転送できないときは、子機2から転送します。すべての子機が転送できない状態にあるときは、転送せずに終了します。
[ダイヤルライト]	146ページをご覧ください。
[タッチパネル調整]	181ページをご覧ください。
[電話帳以外初期化]	195ページをご覧ください。

[illegible]

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

形名	P-268SDw / P-268SD 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線、 Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	MH・MR・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM *1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8ドット/mm （普通字、小さな字、精細、写真） 副：3.85本/mm（普通字） 7.7本/mm（小さな字、写真） 15.4本/mm（精細）*2
記録方式	熱転写記録方式
表示装置 （縦×横）	4.9型（約66mm×約105mm） モノクロHVGA液晶ディスプレイ *3 バックライト付、漢字表記
通信速度	14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約9秒 *4
中間調伝送	有り（64階調）
記録紙 サイズ	A4サイズ
最大記録 有効幅	205mm
最大送信 原稿幅	210mm
読み取り 有効幅	205mm
受信 メモリー	A4標準原稿 約52枚（普通字モード 時）*5

■ コードレス部（子機）

充電完了 時間	約10時間
使用可能時間 （充電完了後）	待受時：約200時間 *6 通話時：最大約6時間 *7
表示装置 （縦×横）	1.8型（約28mm×約35mm） 液晶ディスプレイ *3 漢字3行+ピクト
増設可能子機	2.4Gデジタルコードレス電話機「S3」

■ 電話部

	親機	子機
ダイヤル 形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号 種別	DP信号（10PPS / 20PPS） ／PB信号（DTMF）	
呼び出し 方式	トーンリンガー（着信音）呼び出し ／（音量切替式）	
電話帳の 件数	100人分 （32桁以内） ×1番号	100人分 （24桁以内） ×1番号
再ダイヤル の記憶件数	20件	10件

■ SDカード

対応カード 種類	SDメモリーカード、 miniSDカード *8、 microSDカード *8 （最大2GB） SDHCメモリーカード、 miniSDHCカード *8、 microSDHCカード *8 （最大32GB）
-------------	---

- *1 本商品で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリに限られます。（カラーの送受信はできません）
- *2 ITU-T（国際規格）準拠
- *3 ビューエリアのサイズです。
- *4 A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本/mm）で高速モード（14400 bit / s）、ECM モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
- *5 受信原稿によっては、1 枚の受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。
- *6 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
- *7 「電波サポート」を [設定] にした場合は、子機の連続通話時間が最大約 4 時間になります。また、[自動] にした場合は、最大約 4 ～ 6 時間になります。
- *8 本商品で使用するときは、SD カードアダプターが必要です。

■ 留守録部

自作応答メッセージ	1 件
用件録音時間	約15分（自作応答メッセージ1件、メモリー受信データ、ちょっとメモ含む）（本体メモリー設定時） 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。

■ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法	約296（幅）× 約190（奥行） × 約88（高さ）mm 受話器、突起部、アンテナを除く 約296（幅）× 約256（奥行） × 約279（高さ）mm 記録紙トレイ伸長時 突起部、 アンテナを除く	約49（幅）× 約28（奥行） × 約176（高さ）mm	約93（幅）× 約76（奥行） × 約27（高さ）mm
質量	約 2.3kg 受話器、インクリボンを含む	約145g 電池パック含む	約132g
電源	AC100V±10V 50/60Hz	DC3.6V、600mAh （ニッケル水素電池）*9	入力：AC100V±10V 50/60Hz
消費電力 （100VAC）	約0.6W （ディスプレイ非表示の待機時） 約90W（動作時最大）	約0.6W（待機時） 約0.9W（急速充電時）	
直流抵抗	186Ω	—	—
静電容量	1.0μF以下	—	—
使用環境	温度 5℃～35℃ 相対湿度 45%～85%RH		

* 9 電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済み電池につきましては、当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

登録／設定早見表

登録／設定項目一覧表（親機）

メニュー

○を押したあと、登録・設定の項目を選ぶことができます。項目の先頭に表示されている数字をダイヤルボタンで押して選ぶこともできます。

太字で表記されている「選択内容」の項目（**[ダイヤル回線 (20PPS)]** など）は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

はじめの設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
1あ 1あ	日付・時刻 日付と時刻を登録できます。	—	44
1あ 2か	発信元番号（あなたの番号） ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録／消去できます。	—	45
1あ 3さ	発信元名（あなたの名前） ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録／消去できます。	—	45
1あ 4た	回線種別選択 電話回線の種別を設定できます。	・ブッシュ回線（トーン） ・ [ダイヤル回線 (20 PPS)] ・ダイヤル回線 (10 PPS) ・自動設定	34
1あ 5な	液晶濃度調整 液晶ディスプレイの濃度を調整できます。	・8段階 （初期設定は 4段階目 ）	146
1あ 6は 1あ	携帯通話設定 携帯通話 携帯通話設定機能の設定ができます。	・ [NTT東日本0036] または [NTT西日本0039] ・その他事業者 ・使用しない	125
1あ 6は 2か	携帯通話設定 携帯番号帯登録 携帯通話設定機能の利用対象となる電話番号の頭4ケタを登録／消去できます。	—	126
1あ 6は 3さ	携帯通話設定 設定内容表示 携帯通話設定機能の設定内容を表示できます。	—	126

着信音と誰からコール

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
2か 1あ	親機着信音量 親機の着信音量を選択できます。	・5段階の音量と「切」 （初期設定は 3段階目 ）	47
2か 2か	親機着信音選択 親機の着信音を設定できます。	・ [電話ベル音] ・鳥の声 ・電子音 ・パツハのインベンション ・ジュ・ト・ブ ・シンフォニー 40番 ・はにゅうの宿 ・メヌエット ・セレナーデ	47

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまめなときは

ご参考に
さくせん

2か 3さ 1あ	おやすみ設定 おやすみ おやすみモードの設定ができます。	・ [おやすみ解除] ・ おやすみ開始 ・ タイマー設定	133
2か 3さ 2か	おやすみ設定 選んで着信番号登録 おやすみモード設定中でも着信させる電話番号を登録できます。	—	135
2か 3さ 3さ	おやすみ設定 設定内容表示 おやすみモードの設定内容を表示できます。	—	134
2か 4た 1あ	誰からコール設定 誰からコール 着信があったとき、誰からの電話か音声でお知らせする機能の設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	156
2か 4た 2か	誰からコール設定 誰あてコール 誰あてコールでお知らせする名前を登録できます。	—	157
2か 5な 1あ	鳴り分け時の着信音 電話帳 電話帳に登録された相手先に対する着信音を設定ができます。	・ 電話ベル音 ・ 鳥の声 ・ 電子音	162
2か 5な 2か	鳴り分け時の着信音 非通知 非通知着信に対する着信音を設定できます。	・ バッハのインベンション ・ ジュ・ト・ブ	162
2か 5な 3さ	鳴り分け時の着信音 公衆電話 公衆電話からの着信に対する着信音を設定できます。	・ シンフォニー 40番 ・ はにゅうの宿 ・ メヌエット	162
2か 5な 4た	鳴り分け時の着信音 表示圏外 表示圏外からの着信に対する着信音を設定できます。	・ セレナーデ ・ [なし]	162
2か 6は 1あ	ダイヤルインの設定 番号登録 ダイヤルインに追加する番号を登録できます。	—	130
2か 6は 2か	ダイヤルインの設定 番号消去 ダイヤルインに追加した番号を消去できます。	—	130
2か 6は 3さ	ダイヤルインの設定 ダイヤルイン機能 ダイヤルイン機能の設定ができます。	・ 使用する ・ [使用しない]	129
2か 6は 4た	ダイヤルインの設定 ファクス時応答回数 ダイヤルインのファクス切替までの着信音の回数を設定できます。	・ [0] ・ 2～6回	130
2か 6は 5な	ダイヤルインの設定 ダイヤルイン着信音 ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定できます。	[TEL2] ～ [TEL5]、 [ファクス] の各項目に対して ・ 電話ベル音 ・ 鳥の声 ・ 電子音 ・ バッハのインベンション ・ ジュ・ト・ブ ・ シンフォニー 40番 ・ はにゅうの宿 ・ メヌエット ・ セレナーデ ・ [なし]	131
2か 6は 6は	ダイヤルインの設定 設定内容表示 ダイヤルインの設定内容を表示できます。	—	130

電話帳の設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
③さ ①あ	電話帳新規登録 親機の電話帳に登録できます。	—	64
③さ ②か	ワンタッチダイヤル登録 親機のワンタッチダイヤルに登録／消去できます。	—	76
③さ ③さ	子機転送 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	—	78
③さ ④た	おしゃべり電話帳 電話帳を音声でお知らせする機能の設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	66

留守番電話の設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
④た ①あ	用件録音全消去 録音している用件をすべて消去できます。	—	84
④た ②か	留守時応答回数 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	・ 1～25回 ([4回])	91
④た ③さ	応答メッセージ 応答メッセージの種類を選択できます。	・ 固定メッセージ1 ・ [固定メッセージ2] ・ 自作メッセージ	88
④た ④た ①あ	外出先での操作 リモート暗証番号 リモート操作の暗証番号を設定できます。	—	89
④た ④た ②か	外出先での操作 トールセーバー トールセーバー機能を設定できます。	・ 使用する ・ [使用しない]	91

着信お断りの設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑤な ①あ	非通知お断り 「非通知お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	163
⑤な ②か	公衆電話お断り 「公衆電話お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	163
⑤な ③さ	表示圏外お断り 「表示圏外お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	163
⑤な ④た	お断り番号登録 「お断り番号」に登録できます。	—	164
⑤な ⑤な	チャイム後自動設定 「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする／しないの設定ができます。	・ しない ・ [する]	56

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまとした

ご参考

さくせん

ファクスの受け方

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
6は	ファクス自動受信 ファクス自動受信をする／しないの設定と、自動受信をするときの着信音の回数を設定できます。	・[自動受信しない] ・自動受信する	104

メモリー残量の表示

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
7ま	メモリー残量の表示 ファクス受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。	[メモリー残量 100%] [ファクス 残り 30件] [録音 残り 30件]	100

各種全消去

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
8や 1あ	用件録音 留守番電話などの録音データをすべて消去できます。	—	84
8や 2か	再ダイヤル 再ダイヤルの電話番号をすべて消去できます。	—	54
8や 3さ	着信記録 着信記録をすべて消去できます。	—	159
8や 4た	受信ファクス メモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	—	110
8や 5な	確認済受信ファクス 確認済みのメモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	—	110
8や 6は	お断り番号 登録したお断り番号をすべて消去できます。	—	164
8や 7ま	選んで着信番号 選んで着信番号をすべて消去できます。	—	135
8や 8や	電話帳 登録した電話帳をすべて消去できます。	—	195

印刷

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
9 _ら 1 _あ	メニュー設定（最大6枚） 親機の登録設定の一覧を印刷できます。	—	116
9 _ら 2 _か	着信記録 着信記録の一覧を印刷できます。	—	116
9 _ら 3 _さ	電話帳 電話帳に登録されている相手先の一覧を印刷できます。	—	116
9 _ら 4 _た	お断り番号 お断りに登録されている番号の一覧を印刷できます。	—	116

原稿の排出

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
0 _わ	原稿の排出 セットしている原稿を排出できます。	—	94

特別設定項目一覧表（親機）

メニュー
○ → **#** を4回押したあと、登録・設定の項目を選ぶことができます。項目の先頭に表示されている数字をダイヤルボタンで押して選ぶこともできます。

太字で表記されている「選択内容」の項目（**[4 秒]** など）は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

留守番電話関連の設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
1 _あ 1 _あ	応答メッセージ待ち時間 応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。	・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ [4 秒] ・ 8 秒	196
1 _あ 2 _か	発信音待ち時間 応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。	・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ [4 秒] ・ 8 秒	196
1 _あ 3 _さ	お声拝聴 留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する設定ができます。	・ [あり] ・ なし	196
1 _あ 4 _た	留守録音時間 留守録の録音時間を設定できます。	・ [30 秒] ・ 1 分 ・ 2 分	196
1 _あ 5 _な	戻って録音時間 戻って録音の録音時間を設定できます。	・ 1 分 ・ 3 分 ・ [15 分]	145

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまだったときは

ご参考に

さくせん

ファクス関連の設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
(2)か (1)あ	ファクス受信方法 ファクスの受信方法を設定できます。	・ [見てからプリント] ・ メモリー受信 ・ 記録紙受信	196
(2)か (2)か	受信モード お使いの状況に合わせて、ファクスの受信モードを設定できます。	・ ファクス優先 ・ ファクス専用 ・ [設定しない]	196
(2)か (3)さ	在宅時応答回数 留守設定せずにファクスを自動受信するときの着信音回数を設定できます。	・ 回数選択 ・ [無制限呼出]	197
(2)か (4)た	おまかせ受信 相手の方がファクスを送信したときの音が聞こえると、自動でファクス受信に切り替える設定ができます。	・ [あり] ・ なし	197
(2)か (5)な	縮小受信 ファクスを印刷するときに、日時を印刷するために自動でファクスを縮小して印刷の設定ができます。	・ [あり] ・ なし	197
(2)か (6)は	発信音検出 ファクスを自動送信するときに、「ツー」という発信音を検出してから送信の設定ができます。	・ [あり] ・ なし	197

音関連の設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
(3)さ (1)あ	親機送話音量切替 親機の送話音量を変更できます。	・ 小 ・ [標準] ・ 大	197
(3)さ (2)か	子機送話音量切替 子機の送話音量を変更できます。	・ 小 ・ [標準] ・ 大	197
(3)さ (3)さ	子機受話音量切替 子機の受話音量を変更できます。	・ 小 ・ [標準] ・ 大	197
(3)さ (4)た	子機受話音質切替 子機の受話音質を変更できます。	・ 低い ・ [標準] ・ 高い	197
(3)さ (5)な	スピーカー音量 親機のスピーカー音量を設定できます。	・ 5段階の音量 (初期設定は3段階目)	48
(3)さ (6)は (1)あ	キータッチ音の設定 キータッチ音 キータッチ音のあり／なしを設定できます。	・ [あり] ・ なし	197
(3)さ (6)は (2)か	キータッチ音の設定 キータッチ音の音色 キータッチ音の種類を設定できます。	・ 効果音 ・ [ブザー]	197
(3)さ (6)は (3)さ	キータッチ音の設定 効果音の音量 キータッチ音に [効果音] を設定しているときに、その音量を設定できます。	・ 小 ・ [標準] ・ 大	197

電話関連の設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
4た 1あ	ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイを使用する／しないの設定 ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	151
4た 2か 1あ	キャッチホン キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイを使用する／しないの 設定ができます。	・ 使用する ・ [使用しない]	154
4た 2か 2か	キャッチホン キャッチホン切替時間 キャッチホンの操作で電話が切れてしまうときな ど、キャッチホンの切替時間を変更できます。	・ 0.4秒 ・ 0.6秒 ・ [0.8秒]	198
4た 3さ	着信らくらく番号登録 着信した相手先の番号を、電話帳やお断り番号に登 録できる機能のあり／なしを設定できます。	・ [使用する] ・ 使用しない	165
4た 4た 1あ	どこからコール設定 どこからコール どこからコールの設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	157
4た 4た 2か	どこからコール設定 地域番号帯登録 地域番号の登録や消去ができます。	—	157
4た 5な	着信通知 着信通知を使用する／使用しないを設定できます。	・ [使用する] ・ 使用しない	137
4た 6は	デカ文字着信 着信時の文字の大きさを変更できます。	・ [使用する] ・ 使用しない	198

回避チャンネル設定

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
5な	回避チャンネル設定 子機の通話品質の改善のために、回避するチャン ネルを設定できます。	・ チャンネル1 ・ [チャンネル6] ・ チャンネル11	198

時計機能

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
6は 1あ	時計バックアップ 時計転送を使用する／しないの設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	198
6は 2か	子機へ時計送信 親機の日時設定を子機へ送信（転送）できます。	—	198
6は 3さ	子機から時計受信 子機の日時設定を受信（転送）できます。	—	198

ダイヤルライト

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
7ま	ダイヤルライト 電話をかけるときなどにダイヤルボタンを点灯さ せる機能の設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	146

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまごまときは

ご参考にご覧ください

ご参考にご覧ください

タッチパネル調整

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
8や	タッチパネル調整 タッチパネルの調整ができます。	—	181

電話帳以外初期化

ダイヤルボタンでの操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
9ら	電話帳以外初期化 電話帳を除くすべての設定を工場出荷状態に戻すことができます。	—	195

機能項目一覧表（子機）

 を押したあと、登録・設定できる項目の一覧です。

機能名		機能の説明	参照ページ
留守番電話	用件再生	録音されている内容を再生できます。	85
	留守設定切替	留守番電話を設定できます。	83
	録音全消去	留守録メッセージをすべて消去できます。	85
電話帳	電話帳登録	子機の電話帳に登録できます。	68
	ワンタッチ登録	子機のワンタッチダイヤルに登録できます。	77
	電話帳全転送	電話帳を親機や別の子機に転送できます。	78
着信音量		着信音の大きさを変更できます。	48
着信音色		着信音の種類を変更できます。	49
着信鳴り分け		着信鳴り分け機能の設定ができます。	132、 162
システム設定	日時登録	日付・時刻を登録できます。	44
	キータッチ音出力	ボタン操作音の設定ができます。	147
	クイック通話	クイック通話の設定ができます。	147
	使用者表示	子機の使用者名を登録できます。	46
	液晶濃度調整	液晶の濃度を調整できます。	147
	ダイヤルライト点灯	ダイヤルライトを点灯させるかどうかの設定ができます。	147
	電波サポート	電波サポートの設定ができます。	147
	登録初期化	登録・設定した内容をすべて工場出荷時の状態に戻すことができます。	195
全消去	再ダイヤル	再ダイヤルをすべて消去できます。	54
	着信記録	着信記録をすべて消去できます。	160
	電話帳	電話帳をすべて消去できます。	68
	ワンタッチ	ワンタッチ登録をすべて消去できます。	77

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまとした

ご参考

さくいん

用語集

本商品を使ううえで、知っておいた方がよい用語を説明しています。

回線種別

一般回線（加入電話回線）の種類を表します。「10PPS」「20PPS」のダイヤル回線と、プッシュ回線（「トーン」）があります。本商品の設定と回線種別が合っていないと、電話をかけることができません。わからない場合は、ご利用の電話会社にご確認ください。

【補足】

IP 電話などをお使いの場合でも、フリーダイヤル（0120～）にかけるときなど、一時的に一般回線を使うことがあります。そのとき、本商品の設定が合っていないと電話がかけられません。

携帯通話設定機能

ご家庭の電話から携帯電話にかけるとき、おトクな料金でかけられる機能です。電話会社の固定電話発・携帯電話着の割引サービスを利用します。

携帯通話設定機能を利用する設定にすると、携帯電話に電話をかけるとき、NTT東日本の「0036」、NTT西日本の「0039」など、各電話会社の事業者識別番号を携帯電話番号の前に自動的に付けて発信します。

【ご注意】

「ひかり電話」をご利用のときは、サービスを利用することができません。

事業者識別番号

電話をかけるときに利用する電話会社（通信事業者）を選ぶために、電話番号の前に付ける番号です。

携帯通話設定機能を利用する設定にすると、通話のときに携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信します。事業者識別番号は、ご契約の電話会社にご確認ください。

加入電話選択番号

IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合、一時的に一般回線（加入電話回線）で電話をかけたいときに、電話番号の前に付ける番号です。

加入電話選択番号は、ご契約の電話会社にご確認ください。

キャッチホン

通話中に他の方から電話がかかってきたとき、かけてきた方とお話できる当社の有料サービスです。先にお話していた方との通話は保留状態になります。ご利用には当社との契約が必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイ

電話に出る前に、かけてきた相手の電話番号が表示される当社の有料サービスです。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスでご利用できます。

本商品はナンバー・ディスプレイに対応していますので、当社と契約したあとでご利用できます（有料）。本商品には、ナンバー・ディスプレイのサービスを使う「着信鳴り分け」、「誰からコール」などの機能があります。

【補足】

他の電話会社でも、同様のサービスを提供している場合があります。詳しくはご契約の電話会社にご確認ください。

通知／非通知

ナンバー・ディスプレイで使われる言葉です。電話をかけるとき、相手の電話やファクスに電話番号を表示させることを「通知」、表示させないことを「非通知」と呼んでいます。

当社とご契約によって、電話番号を「常に通知する」か「常に非通知」か選べます。

また、1通話だけ「通知」または「非通知」にすることができます。（☎下記 184／186）

184／186

電話の通知／非通知を1通話だけ変えたいときに使う番号です。

電話番号を「常に通知する」のご契約のとき、相手の電話番号の前に「184」を付けてダイヤルすれば、その通話だけ「非通知」になります。逆に、電話番号を「常に非通知」のご契約のとき、相手の電話番号の前に「186」を付けてダイヤルすれば、その通話だけ「通知」になります。

キャッチホン・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。通話中に電話がかかってきたとき、ディスプレイに「新しくかけてきた方の電話番号」が表示されます。キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスでご利用できます。

通話中に他の方から着信があった場合、電話番号を確認してから、通話を切り替えるかどうかの判断をすることができます。

ご利用には、当社とのナンバー・ディスプレイとキャッチホンなどの契約が必要です（有料）。

ネーム・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話をかけてきた相手の方の発信者名（「会社名」や「名前」）がディスプレイに表示されます。※1

ご利用には、当社とのナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約が必要です（有料）。

※1 相手の方が当社の契約者回線から発信し、かつ相手の方が発信電話番号と発信者名を通知する通話のみ、発信者名が表示されます。

リモート操作手順カード

外出先から録音メッセージを聞きたいとき（リモート操作 89ページ）は、下記の手順カードを切り取ってお使いください。

✂

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	① ① #
	録音内容をすべて消す	① ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

✂

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	① ① #
	録音内容をすべて消す	① ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

✂

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	① ① #
	録音内容をすべて消す	① ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまとした

参考

さくせん

〈いろいろなりモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→○○○○
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。
4. **①Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③Ⓜ③Ⓜ
	次の用件を聞く	④Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤Ⓜ
	本体メモリー設定時 早聞きや遅聞きをする (押すたびに「早聞き」→「遅聞き」→ 「通常の再生」→…)	①Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨Ⓜ

〈いろいろなりモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→○○○○
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。
4. **①Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③Ⓜ③Ⓜ
	次の用件を聞く	④Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤Ⓜ
	本体メモリー設定時 早聞きや遅聞きをする (押すたびに「早聞き」→「遅聞き」→ 「通常の再生」→…)	①Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨Ⓜ

〈いろいろなりモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→○○○○
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。
4. **①Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③Ⓜ③Ⓜ
	次の用件を聞く	④Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤Ⓜ
	本体メモリー設定時 早聞きや遅聞きをする (押すたびに「早聞き」→「遅聞き」→ 「通常の再生」→…)	①Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨Ⓜ

【アルファベット・数字】

ADSL (エーディーエスエル)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	178
F ネット (ファクシミリ通信網サービス)	111
IP 電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	178
携帯通話設定機能の設定	125
ISDN (アイエスディーエヌ)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	178
PBX (構内交換機)	29
SD カード	
SD カードが使えない	175
SD カードにデータを保存する	121 ~ 122
使用できる SD カード	117
取り付けかた	119
Q&A (こまったときは)	166 ~ 193
1OPPS	34
2OPPS	34
3 者通話	58 ~ 61

【あ】

アクセントを変更する	
おしゃべり電話帳	67
誰あてコール	157
アドレス帳 電話帳	
アフターサービス	219
今から録音	143
インクリボン	
インクリボンのご購入は	194
インクリボンを交換する	37 ~ 38
使用済みのインクリボンを捨てる時は	38
印刷	
お断り番号	116
着信記録	116
電話帳	116
メニュー設定 (最大 6 枚)	116
メモリー受信したファクスを印刷する	113
液晶ディスプレイ	24 ~ 25
液晶濃度調整	146、147
エラー表示	189 ~ 192
選んで着信	135
応答メッセージ	
応答メッセージの内容を確認する	88
自分で応答メッセージを録音する	88
自分で録音した応答メッセージを消去する	88
応答メッセージ待ち時間	196
お声拝聴 (留守設定)	196
お断り 着信お断り	
お断り番号登録	164
おしゃべり電話帳	66
お手入れ	184 ~ 185
おまかせ受信	101、197
おまかせ送信	94
お待たせ (保留)	52
親機から子機へとりつぐ	58 ~ 59
親機から子機を呼び出してお話しする	57
親機送話音量切替	197
親機着信音選択	47
おやすみモード	133 ~ 134
オリジナルメッセージ (自作メッセージ)	87 ~ 88

音質	49、197
音声お知らせ機能	
おしゃべり電話帳	66
操作ガイド	39
誰あてコール	156
誰からコール	156
どこからコール	157
オンフックダイヤル	52
音量	
親機の受話音量を変える	48
親機のスピーカー音量を変える	48
子機の受話音量を変える	49、197
子機のスピーカー音量を変える	49
こちらの声が相手に聞こえにくいときは	197
着信音の音量	47、48

【か】

回線種別	
回線を手動で設定する	34
電話がつながらないときは	166 ~ 167
用語集	212
回避チャンネル設定	198
外部メモリーファクス受信	119
外部メモリー録音対応	119
各種全消去	
選んで着信番号	135
お断り番号	164
確認済受信ファクス	110
再ダイヤル	54
受信ファクス	110
着信記録	159
電話帳	195
用件録音	84
画質を選ぶ	96
加入電話選択番号 (携帯通話設定機能)	125、212
紙づまり	186 ~ 188
画面	24 ~ 25
キータッチ音 (キータッチトーン)	147、197
キーロック	146
キャッチホン	154、212
キャッチホン・ディスプレイ	154、212
キャッチホン切替時間	198
強制リセット	193
記録紙	
記録紙がつまったらときは	188
記録紙に白や黒の線が入るときは	182 ~ 183
記録紙をセットする	112
記録紙受信	100、196
クイック通話	147
区点コード	199 ~ 200
クリア	
強制リセット	193
電話帳以外初期化	195
電話帳消去	195
登録初期化	195
携帯通話設定機能	
携帯番号帯登録	126
使用/解除する	125
設定内容表示	126
用語集	212
携帯番号帯登録 (携帯通話設定機能)	126
消す 消去する	

原稿

原稿がつまったときは	186 ~ 187
原稿の排出	94
原稿をセットする	92
セットできる原稿のサイズ	97
公衆電話お断り	163
構内交換機 (PBX)	29
子機から親機へとりつぐ	60 ~ 61
子機から親機を呼び出してお話しする	57
子機から時計受信	198
子機受話音質切替	197
子機受話音量切替	197
子機送話音量切替	197
子機転送	78
子機へ時計送信	198
故障かな?と思ったときは	193
コピー	115
こまったときは (こんなときは)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	178
SD カードが使えない	175
相手の声が聞こえにくい	170
印刷した画像が汚い	172
エラー表示/エラー音について	189 ~ 192
お手入れのしかた	184
記録紙に白や黒の線が入るときは	182 ~ 183
原稿や記録紙がつまったときは	186 ~ 188
子機が使えない	173
故障かな?と思ったときは	193
コピーや印刷ができない	171
その他 こまったときは	179 ~ 180
タッチに正しく反応しないときは	181
着信音が鳴らない	169
電話がかかけられない	166 ~ 167
ナンバー・ディスプレイが使えない	176 ~ 177
ファクスを受けられない	169
ファクスを送れない	168
留守モードが正しく働かない	174

【さ】

再起動	193
再生	
10 秒戻し再生	86
30 秒送り再生	86
今から録音を再生する	84 ~ 85
遅聞き再生をする	86
伝言メモを再生する	142
早聞き再生をする	86
戻って録音を再生する	84 ~ 85
留守設定を解除して再生する (親機)	82
録音内容を再生する (親機・子機)	84 ~ 85
録音を通話中に再生する	85
再ダイヤル	
再ダイヤルの記録を消去する	54
再ダイヤルの記録を電話帳に登録する	65、69
電話をかけ直す	54
ファクスを送る	95
在宅時応答回数	197
事業者識別番号 (携帯通話設定機能)	125、212
時刻設定	44
自作メッセージ	87 ~ 88

自動受信 (ファクス)

自動的にファクスを受ける	103
着信音を鳴らさずに受ける	133、196
留守設定にする	81
自分の電話番号と名前を登録する (親機)	45
修正	
電話帳 (親機)	65
電話帳 (子機)	68
充電	
充電時間	42
電池パックの交換	43
電池パックの寿命	43
電池パックのリサイクル	43
修理	219
縮小受信	100、197
受信する (ファクス)	98 ~ 104
受信モード	
ファクス専用	196
ファクス優先	196
受話音量	48 ~ 49
受話通話 (スピーカー受話)	52
仕様	201 ~ 202
消去する	
お断り番号を消去する	164
自作メッセージを消去する	88
着信記録を消去する	159、160
電話帳登録データを消去する	65、68、195
メモリー受信したファクスを消去する	110
留守録用件を消去する	84 ~ 85
録音内容を消去する (今から録音・戻って録音・メモ録音・留守録音)	84 ~ 85
ワンタッチダイヤルの登録を消去する	76
譲渡するときは	195
消耗品	194
初期化する	195
スキャン	120
スピーカー	21、23
スピーカー音量	48 ~ 49
スピーカー受話 (受話通話)	52
スピーカーホン通話	52 ~ 53
清掃する	182 ~ 185
セキュリティ機能	
今から録音	143
おやすみモード (選んで着信)	135
迷惑電話拒否機能 (お断り)	163 ~ 164
戻って録音	144
設置スペース	28
操作ガイド	39
掃除 (清掃) する	182 ~ 185
送信する (ファクス)	92 ~ 97
増設子機	136
増設する	136
相談窓口	219
送話音量	197

【た】

ダイヤルインの設定

設定内容表示	130
ダイヤルイン機能	129
ダイヤルイン着信音	131
番号消去	130
番号登録	130
ファクス時応答回数	130

ダイヤルメモ	138 ~ 139
--------	-----------

ダイヤルライト	22 ~ 23、146 ~ 147
---------	-------------------

タッチパネル	19、24、181
--------	-----------

誰あてコール	155 ~ 157
--------	-----------

誰あてコール設定	157
----------	-----

誰からコール	155 ~ 158
--------	-----------

地域番号帯設定（どこからコール）	157
------------------	-----

チャイム後自動設定	56
-----------	----

チャイムでお断り	56
----------	----

着信お断り	
-------	--

公衆電話からの電話をお断り	163
---------------	-----

特定の相手の方からの電話をお断り	164
------------------	-----

非通知からの電話をお断り	163
--------------	-----

表示圏外からの電話をお断り	163
---------------	-----

着信音	
-----	--

着信音の音量を調整する	47、48
-------------	-------

着信音の回数を変える	91、104
------------	--------

着信音の種類を変える	47、49
------------	-------

着信鳴り分け時の着信音を変える	162
-----------------	-----

着信拒否 着信お断り	
------------	--

着信記録	
------	--

着信記録を確認する	159 ~ 160
-----------	-----------

電話帳に登録する	65、69
----------	-------

電話をかける	161
--------	-----

ファクスを送る	161
---------	-----

着信通知	137
------	-----

着信鳴り分け	162
--------	-----

着信メロディ 着信音	
------------	--

着信らくらく番号登録	165
------------	-----

着信履歴 着信記録	
-----------	--

ちょっとメモ	140
--------	-----

通知	212
----	-----

通話音質	49
------	----

通話時間（子機）	42
----------	----

通話中再生	85
-------	----

通話中のお待たせ	52
----------	----

使う人の名前を登録する（子機）	46
-----------------	----

ディスプレイ（液晶ディスプレイ）	24 ~ 25
------------------	---------

停電時の動作	180
--------	-----

デカ文字着信	198
--------	-----

伝言メモ	142
------	-----

電波サポート	52、147
--------	--------

転送	
----	--

電話帳の転送	78
--------	----

電話をとりつぐ	58 ~ 62
---------	---------

点滅	
----	--

ファクスボタン	105
---------	-----

留守ボタン	82
-------	----

電話がかけられないときは	166 ~ 167
--------------	-----------

電話帳

SDカードにバックアップを取る	122
-----------------	-----

相手先を検索する	74、79
----------	-------

親機の電話帳を子機に転送する	78
----------------	----

子機の電話帳を親機に転送する	78
----------------	----

再ダイヤルを登録する	65、69
------------	-------

修正する	65、68
------	-------

消去する	65、68、195
------	-----------

電話帳新規登録	64
---------	----

電話帳で電話をかける	51、74 ~ 75
------------	------------

電話帳でファクスを送る	95
-------------	----

電話帳に登録する	64、68
----------	-------

電話帳の一覧を印刷する	116
-------------	-----

登録した内容を確認する	79
-------------	----

電話帳以外初期化	195
----------	-----

電話を受ける	53
--------	----

電話をかける	
--------	--

再ダイヤルで電話をかける	51、54
--------------	-------

着信記録で電話をかける	161
-------------	-----

電話帳で電話をかける	51、74
------------	-------

電話をとりつぐ	58 ~ 62
---------	---------

ドアホン通話	148 ~ 149
--------	-----------

登録	
----	--

親機の電話帳	64
--------	----

子機の電話帳	68
--------	----

登録初期化	195
-------	-----

登録／設定早見表	203 ~ 211
----------	-----------

トールセーバー	91
---------	----

トーン（プッシュ回線）	34
-------------	----

トーン信号（プッシュ信号）	52
---------------	----

特定の番号をお断りする	
-------------	--

お断りする番号を登録	164
------------	-----

登録したお断り番号を消す	164
--------------	-----

特別設定	196 ~ 198
------	-----------

時計	44
----	----

時計バックアップ（時計転送）	198
----------------	-----

どこからコール	155 ~ 158
---------	-----------

とりつぎ転送	58 ~ 62
--------	---------

【な】

内線通話	57
------	----

鳴り分け時の着信音	
-----------	--

公衆電話鳴り分け	162
----------	-----

ダイヤルイン鳴り分け	131 ~ 132
------------	-----------

電話帳鳴り分け	162
---------	-----

非通知鳴り分け	162
---------	-----

表示圏外鳴り分け	162
----------	-----

ナンバー・ディスプレイ	150、212
-------------	---------

日時設定	44
------	----

ニッケル水素電池	43
----------	----

入力（文字）	70 ~ 73
--------	---------

ネーム・ディスプレイ	153、212
------------	---------

濃度を選ぶ	146、147
-------	---------

【は】

廃棄するとき	195
バックアップ	
受信ファクスデータ	121
電話帳	122
録音データ	121
発信音検出	197
発信音待ち時間	196
発信元番号（あなたの番号）	45
発信元名（あなたの名前）	45
ひかり電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	178
ビジネスホン	29
非通知	150、163、212
非通知お断り	163
日付・時刻設定	44
ひとり転送	62
表示	24～25
表示圏外お断り	163
ファクス自動受信	103
ファクス受信方法	
記録紙受信	100、196
メモリー受信	100、196
ファクス専用	196
ファクスそのまま転送	109
ファクス優先	196
ファクスを受信する	98～102
ファクスを送信する	92～97
不在着信	137
付属品	16
普通紙	194
ブッシュ回線（トーン）	34
ブッシュ信号（トーン信号）	52
ブランチ接続（並列接続）	29
ふりがな（読み）	64
プリント  印刷	
並列接続	29
別売品	194
変更	
電話帳（親機）	65
電話帳（子機）	68
傍受（ぼうじゅ）	18
ポーズ（待ち時間）	65
ホームテレホン	29
保証	219
ボタンの名前	22～23
保留	52

【ま】

待受画面	24～25
見たままプリント	114
見てからプリント	
自動スクロール	106
消去する	110
ダイレクトジャンプ	107
表示する	105
迷惑電話拒否機能（迷惑電話お断り）	55～56
メッセージでお断り	56
メニュー設定リスト	116

メモリー残量表示	84、100
メモリー受信	100、113、196
メモリー受信したファクスを印刷する	113
メモリー受信枚数	100
メモ録音	142
文字入力	70～73
モデムダイヤルインサービス	128～132
戻って録音	144～145
戻って録音時間	145

【や】

読み	64
読み取り範囲	97
用件録音全消去	84、85
用語集	212

【ら】

リサイクル（ニッケル水素電池）	43
リスト	
お断り番号のリストを印刷する	116
着信記録のリストを印刷する	116
電話帳のリストを印刷する	116
メニュー設定のリストを印刷する	116
リセット（強制的に初期状態にする）	193
リダイヤル（再ダイヤル）	51、54
リモート操作	
リモート暗証番号	89
リモート操作を行う	89
留守時応答回数	91
留守番電話	81～82
留守録音時間	196
録音する	
通話中の会話を録音する	143
伝言メモを録音する	142
留守録設定時の応答メッセージを録音する	88
録音でお断り	56
録音を聞く	84～85
録音を消去する	84～85

【わ】

ワンタッチダイヤル	
ワンタッチダイヤルで電話をかける	76～77
ワンタッチダイヤル登録	76～77

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障に関するお問い合わせ

故障した場合のお問い合わせは局番なしの「113」（無料）へご連絡ください。（24 時間 年中無休）
※携帯電話・PHS からは「0120-444-113」（無料）にてお受けしております。
※17:00～翌日 9:00 までは、録音にて受付しており順次に対応いたします。
※故障修理等の対応時間は 9:00～17:00 となります。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの 114 番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービスの料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：



0120-970413（03-5667-7100 ※）

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

受付時間 9:00～17:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：



0120-248995

（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間 9:00～17:00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

- NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：



0120-970413 (03-5667-7100 ※)

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

受付時間 9:00～17:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

- NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

☎0120-248995

（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間 9:00～17:00

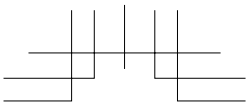
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

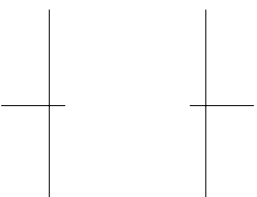
© 2009 NTTEAST・NTTWEST



本 3079-2(2011.05)
G3-〈P-268SDw/P-268SD〉-FAX トリセツ
Printed in Malaysia
TINSJ4704XHTA



NTT FAX P-2685Dw/P-2685D



取扱説明書

NTT

